

年 報

27年度

取手北相馬保健医療センター医師会病院

# 御挨拶

取手北相馬保健医療センター医師会病院  
病院長 鈴木 武樹

平成 27 年度会報が完成しました。ご一読いただけましたら幸いです。

取手北相馬保健医療センター医師会病院は、設立以来地域住民のため健康増進、疾病予防（健診事業）、疾病治療（病院事業）に尽くしてきました。病院理念として HEART（優しさ、効率的、向学心、地域性、信頼性）を掲げて、取手市医師会の会員の先生と親密な連携を図り地域住民の皆様にとりお役に立ち、なくてはならない病院を目指し職員一同努力しています。

当院の特色としては、一に母体となる組織が公益社団法人取手市医師会であることより公益性、透明性の求められる組織であること、二に地域医療支援病院であり医師会会員と共に地域住民に寄り添った医療の提供が求められること、三に院内に「筑波大学附属病院取手地域臨床教育ステーション」が設置されていて、大学の高度先進医療から取手市医師会の在宅ネットワークまで手厚く隙間のない医療の提供をしていることが挙げられます。これらの特色を 3 本の柱として病院を運営しています。

今年の当院の新たな試みとしては、試験期間の終了に伴い 2 月 1 日より南 3 階病棟に「地域包括ケア病棟」40 床を開棟します。急性期の治療は、従来通り行いますが、急性期の治療が終了しても退院困難なケースや、在宅ケアを行っていて軽症ではあるが入院加療が必要な場合などが対象になります。県内でも有数の高齢化率の増加を認める当地域にとり、必ず住民の方々のニーズに応えられるものになると確信しています。また 4 月より日本大学より総合内科医が就任されます。高齢者にしばしば見受けられる多種疾患合併患者に対する全人的治療を行っていきます。プライマリーケア、緩和ケア、在宅ケア、救急医療を担当します。さらに 5 月より当院として待望の消化器内科専門医が就任します。消化器外科と共に「取手市医師会消化器センター」を開設し消化管の内視鏡的処置、鏡視下手術等、より質の高い医療の提供を図って行きます。

母体である取手市医師会が 4 月より病院前の旧取手市保健センター跡地に「取手市医師会館」を開設します。会館内には、病時、病後保育も行う認可保育園、調剤薬局、コンビニエンスストアも開設されます。患者様、ご家族様のみならず職員のためにも環境整備になることと考えています。

以上当院は、常に地域から必要とされる医療の提供を目指し運営していく所存です。皆様からの忌憚のないご意見、ご指導お待ちしておりますので宜しくお願いします。



# 病 院 理 念

当院は、次のことを心に刻み医療に励みます。頭文字を結ぶと Heart（心・優しさ）で、地域医療における私たちの心の理念です。

H — 優しさに溢れた医療（Hospitality）

E — 迅速で効率的な医療（Efficient）

A — 向学心に満ちた医療（Academic）

R — 充実した地域医療（Regional）

T — 信頼感のある医療（Trustful）

優しく効率的で向学心に満ちた地域医療で信頼を得ることを目指します。

## 基本方針

地域における医療機能分担を重視し、病診連携・病病連携を最重視し医療連携を推進します。

急性期病院を中心に地域にねざした医療を目指します。

入院治療を中心とし、高度な医療を提供します。

地域医療支援病院として、24時間二次救急医療の充実に努めます。

職員の向学心を醸成し、優れた医療の提供に努めます。

# 患者さんの権利章典

取手北相馬保健医療センター医師会病院は、WMA リスボン宣言に則り以下に記載する患者の権利を擁護、保障します。

## 1. 良質の医療を受ける権利

すべての人は、差別なしに適切な医療を受ける権利を有する。

患者は、常にその最善の利益に即して治療を受けるものとする。

供給を限られた特定の治療に関して、それを必要とする患者間で選択を行わなければならない場合は、そのような患者はすべて治療を受けるための公平な選択手続きを受ける権利がある。

患者は、医療を継続して受ける権利を有する。

## 2. 選択の自由の権利

患者は、医師、医療機関を自由に選択し、また変更する権利を有する。

患者はいかなる治療段階においても、他の医師の意見を求める権利を有する。

## 3. 自己決定の権利

患者は、自分自身に関わる自由な決定を行うための自己決定の権利を有する。

判断能力のある成人患者は、いかなる診断上の手続きないし治療に対しても同意を与えるかまた差し控える権利を有する。患者は自分自身の決定を行ううえで必要とされる情報を得る権利を有する。

患者は医学研究あるいは医学教育に参加することを拒絶する権利を有する。

## 4. 意識のない患者

患者が意識不明かその他の理由で意思を表明できない場合は、法律上の権限を有する代理人から、可能な限りインフォームド・コンセントを得なければならない。

法律上の権限を有する代理人がおらず、患者に対する医学的侵襲が緊急に必要とされる場合は、患者の同意があるものと推定する。

## 5. 患者の意思に反する処置

患者の意思に反する診断上の処置あるいは治療は、特別に法律が定めるか医の倫理の諸原則に合致する場合には、例外的な事例としてのみ行うことができる。

## 6. 情報に関する権利

患者は、いかなる医療上の記録であろうとそこに記載されている自己の情報を受ける権利を有し、また症状について医学的事実を含む健康状態に関して十分な説明を受ける権利を有する。しかし第三者についての機密情報は、その者の同意なくしては与えてはならない。

例外的に、情報が患者自身の生命あるいは健康に著しい恐れがあると信ずるべき十分な理由がある場合は、その情報を患者に与えてはならない。

患者は、他人の生命の保護に必要とされていない場合に限り、その明確な要求に基づき情報を知らされない権利を有する。

## 7. 守秘義務に対する権利

患者の健康状態、症状、診断、予後及び治療について個人を特定しうる情報ならびにその他個人のすべての情報は、患者の死後も秘密が守られなければならない。

秘密情報は、患者が明確な同意を与えるか、あるいは法律に明確に規定されている場合に限り開示することができる。

個人を特定しうるあらゆる患者のデータは保護されなければならない。

## 8. 尊厳に対する権利

患者は、その文化宗教および価値観を尊重されるように、その尊厳とプライバシーを守る権利を有する。

患者は、人間的な緩和ケアを受ける権利を有する。



# 病 院 概 要 と 沿 革





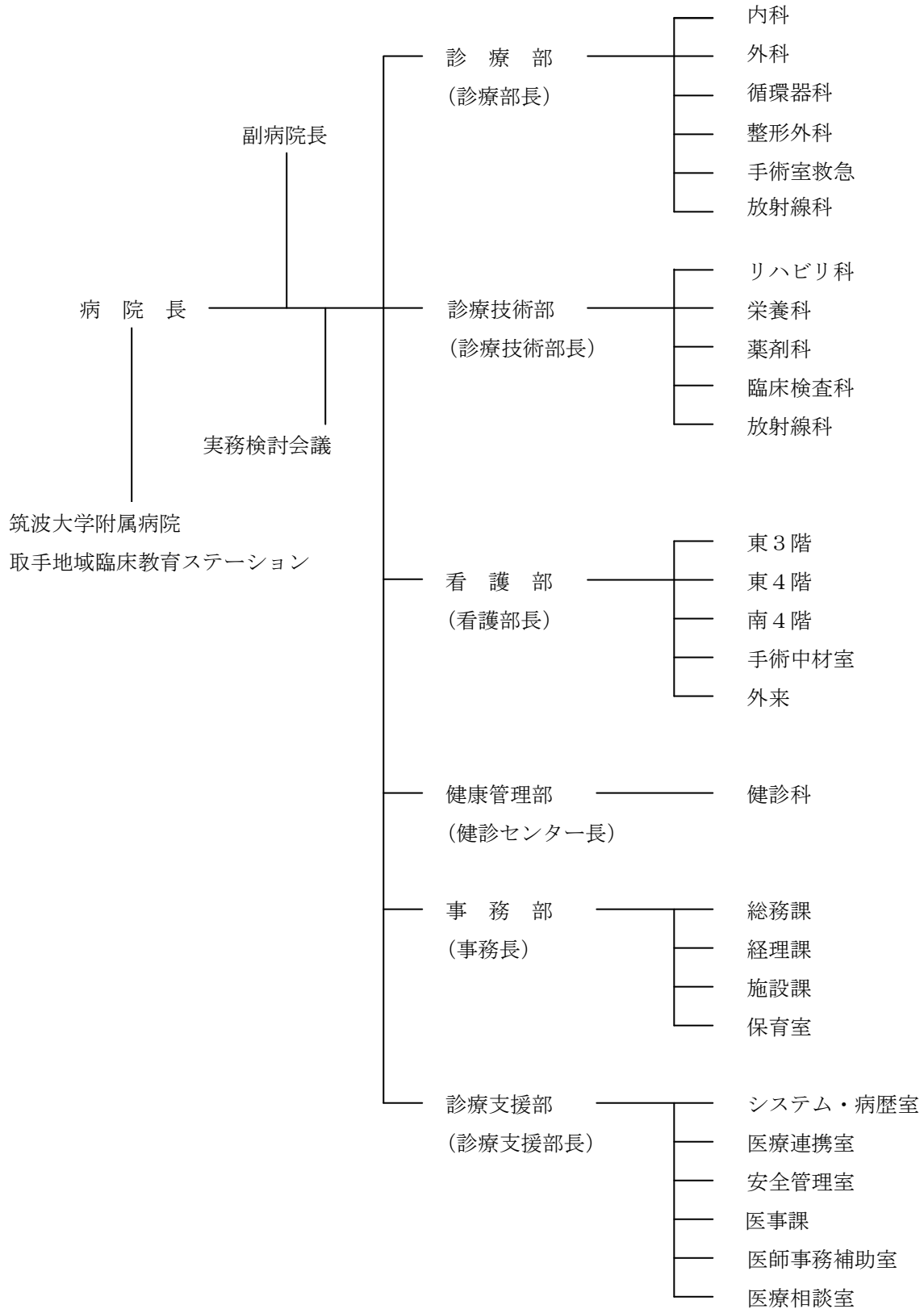
# 沿革

明治 35 年		北相馬郡医師会を結成
昭和 22 年	11 月	法律改正により、社団法人北相馬郡医師会設立
昭和 44 年	6 月	取手町内において休日緊急当番医制を実施
昭和 45 年	9 月	守谷町内において休日緊急当番医制を実施
昭和 48 年	6 月	社団法人取手市医師会に名称を変更
昭和 57 年	7 月	取手北相馬保健医療センター医師会病院開設
同年	10 月	取手北相馬休日夜間緊急診療所開設
平成 5 年	11 月	訪問看護ステーションひまわり開設
平成 6 年	4 月	茨城県南地域産業保健センター開設
平成 9 年	3 月	医師会病院リハビリテーション棟増築
同年	11 月	医師会病院健診センター増築
平成 12 年	4 月	ひまわり居宅介護支援事業所開設
平成 18 年	3 月	医師会病院療養棟 50 床増床
同年	6 月	医師会病院一般病棟 50 床増床
同年	8 月	地域医療支援病院認定
平成 24 年	11 月	取手北相馬保健医療センター医師会病院 30 周年記念式典開催
平成 26 年	2 月	筑波大学との寄附講座設置に関わる協定を締結
平成 26 年	4 月	公益社団法人取手医師会に名称変更
平成 26 年	6 月	筑波大学附属取手地域臨床教育ステーション開設

# 施設基準（平成28年3月31日現在）

一般病棟入院基本料（10対1）	看護必要度加算2
療養病棟入院基本料2	臨床研修病院入院診療加算
救急医療管理加算	診療録管理体制加算2
医師事務作業補助体制加算2（25対1）	急性期看護補助体制加算（50対1）
夜間急性期看護補助体制加算（50対1）	療養環境加算
重症者等療養環境特別加算	療養病棟療養環境加算1
栄養サポートチーム加算	医療安全対策加算2
感染防止対策加算2	退院調整加算
救急搬送患者地域連携紹介加算	救急搬送患者地域連携受入加算
病棟薬剤業務実施加算	入院時食事療養（I） 入院時生活療養（I）
がん性疼痛緩和指導管理料	がん患者指導管理料1
糖尿病透析予防指導管理料	夜間休日救急搬送医学管理料
ニコチン依存症管理料	開放型病院共同指導料
がん治療連携指導料	肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料	医療機器安全管理料1
在宅患者訪問看護・指導料 同一建物居住者訪問看護・指導料	在宅療養後方支援病院
検体検査管理加算（I）	検体検査管理加算（IV）
CT撮影（64列）及びMRI撮影（1.5ステラ）	大腸CT撮影加算（64列）
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	外来化学療法加算1
無菌製剤処理料	脳血管疾患等リハビリテーション料（I）
運動器リハビリテーション料（I）	呼吸器リハビリテーション料（I）
がん患者リハビリテーション料	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
大動脈バルーンパンピング法	医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術
輸血管理料（II）	輸血適正使用加算
人工肛門・人口膀胱造設術前処置加算	

# 病院組織図



# 院内委員会一覧

病 院 長

医療安全管理委員会

感染対策委員会

個人情報保護委員会

医療の質向上委員会

化学療法委員会

薬事委員会

倫理委員会

輸血療法委員会

カルテ・クリティカルパス委員会

栄養サポート褥瘡対策委員会

教育委員会

広報委員会（コンピュータ委員会統合）

栄養委員会

医療ガス安全管理委員会

院内災害対策委員会

労働衛生委員会

医療機器等購入委員会

# 診 療 科 報 告



# 内 科（総合医療）

## 1. スタッフ

内科医長           熊谷 宗士

許 表勝

岩崎 正彦

川邊 淳夫

梅田 誠一

## 2. 診療内容

当科の基本理念を実行できるよう謙虚に耳を傾け丁寧な身体診察、適切な検査の実施、適医療のレベルの確保を心がけてきた。内科的診療を担っており、健康診断での指摘事項の精密検査、特殊な診断・治療を必要とする疾患まで幅広く診療を行っている。特に当科では下記の疾患の診療に力を入れている。

### 【糖尿病疾患】

主な診療内容は糖尿病の診療と内分泌疾患の診断・治療である。診療対象疾患は糖尿病、高脂血症、肥満症、甲状腺疾患、等である。糖尿病の診断、治療に関して様々な面から個々の者に最適なアプローチを試みている。

糖尿病治療の基本は食事療法・運動療法・薬物療法であり、一人一人の患者に対してその方の生活環境や背景を考慮し個別に取り組んでいる。食事療法は栄養指導室にて管理栄養士が適宜、そして繰り返し指導できる体制を設備している。

薬物療法に関しては適切な内服薬の選択はもとより、外来でのインスリン導入も実施している。糖尿病認定看護師の資格を有した看護師が勤務しインスリン注射、自己血糖測定の手技指導から生活指導まで幅広く糖尿病の療養指導を行っている。また、一般外来患者を対象とした糖尿病教室を毎月 2 回開催しており、幅広い方々に糖尿病に関する情報提供と指導を行っている。

### 【内分泌疾患】

内分泌疾患では 2 次性高血圧の鑑別診断として外来にて原発性アルドステロン症、褐色細胞腫等のスクリーニングを行っている。

甲状腺診療に関しては、橋本病、バセドウ病の薬物治療を行っている。



### 3. 病棟体制

内科は主に東 4 階病棟に入院。病棟看護師と共に各患者の問題点を共有し治療方針を決定している。

糖尿病に関しては、入院中に教育、療養指導に重点を置いた入院治療を実施している。これ

には、担当医師、病棟看護師だけではなく管理栄養士、薬剤師も治療に携わっている。入院理由としては糖尿病ケトアシドーシスや慢性の高血糖状態是正のための血糖コントロール目的入院、腎症や足病変などの合併症の管理目的入院、糖尿病疾患に生じた各種感染症等の治療目的入院があるが、いずれの場合も退院後の全身状態の改善のため、生活習慣の指導を徹底している。

肥満を伴った糖尿病患者に対しては肥満による健康障害の予防のため、食事療法を中心とした生活指導を実施し、内臓脂肪量や各種肥満関連データを患者様と共有している。リハビリテーションにも積極的に取り組んでいる。

また、厳格な食事療法とインスリン治療のあと GLP-1 薬剤を使用することにより血糖改善だけでなく原料も達成し、長期にわたる血糖コントロールを目指す治療計画を実施している。

### 4. 診療体制

月曜から土曜まで 2~3 診体制で対応している。特殊外来として、糖尿病外来、肝臓病外来を開設している。

### 5. 外来診察（平成 28 年 3 月現在）

月曜	午前	梅田	篠田（リハビリテーション）
	午後	川邊	梅田
火曜	午前	川邊	梅田
	午後	梅田	岩崎 屋良
水曜	午前	熊谷	梅田
	午後	許	梅田
木曜	午前	織壁	熊谷（糖尿病外来）
	午後	織壁	

金曜	午前	金子	篠田 (リハビリテーション)
	午後	熊谷	金子
土曜	午前	川邊	山岡 岩崎 (肝臓病外来)

## 5. 診療実績

### (1) 外来患者数

初診患者数	2,130 名
再診患者数	19,440 名
延べ患者数	21,570 名

### (2) 入院患者数

新入院患者数	565 名
実患者数	1,441 名
延べ患者数	28,082 名

## 6. この1年

脳血管障害の治療として主治医、NST ラウンド、リハビリカンファ、管理栄養士指導に関わって早期退院を目指し実績を上げている。

又、脳血管障害に合併する呼吸器疾患に関して呼吸器科と連携し、全身的治療の強化を図っている。

2 年前より医師、糖尿病療養指導士の看護師、管理栄養士で糖尿病の透析予防指導を行い実績を上げている。

## 7. その他

### 【専門医・認定医】

日本内科学会認定内科医

日本内分泌学会専門医

日本肝臓学会専門医

日本消化器学会専門医

8. 学会発表

(1) 熊谷 宗士、薬剤師 内田 充恵

「バンコマイシン投与における無効性・有害事象に影響を及ぼす因子の検討」

第31回日本環境感染学会総会

平成28年2月19-20日 国立京都国際会議場

# 外 科

## 1. スタッフ

病院長 鈴木 武樹  
外科部長 田部井 英憲  
他 常勤 2 名、非常勤 5 名

## 2. 診療内容

当院は茨城県南の地域医療支援病院として、医師会会員の先生方のご協力を得て日々診療を行っている。

当科において平成 27 年度は腹腔鏡手術が年間 81 例を数え単孔手術、用手補助下腹腔鏡手術 (HALS) も施行するようになり、地域支援のみではなく高度医療の発信にも力を入れている。

腹腔鏡手術もさることながら、開腹手術も 74 例を数え教育施設としての役割を果たすことも可能と考えている。疾患別にみても良性疾患から悪性腫瘍手術まで幅広い手術をおこなっており、地域医療支援病院として緊急手術症例の対応にも力を入れている。化学療法においては外来化学療法室を活用しガイドラインに沿った治療を展開している。今後とも引き続き地域医療の一役を担い、地域の患者様に安心、安全な医療を提供することを心掛け日常診療に臨んでいく事が使命と考えている。

3. 手術実績

件数 260 件

臓器	疾患分類	件数
食道	悪性腫瘍	0
胃・十二指腸	良性腫瘍	0
	悪性腫瘍	23
	その他	0
小腸	イレウス	5
	良性疾患	0
	悪性腫瘍	0
	その他	1
結腸	虫垂炎	20
	良性疾患	3
	悪性腫瘍	30
	その他	2
直腸	良性疾患	0
	悪性腫瘍	12
肺	良性疾患	0
	悪性疾患	0
肛門	良性疾患	4
肝臓	原発性肝癌	0
	転移性肝癌	1
胆道	胆道結石	20
	良性疾患	1
	悪性腫瘍	0
膵臓	悪性腫瘍	1
腹壁	鼠径・大腿ヘルニア	46
	腹壁癒痕ヘルニア	0
	その他	0
乳腺	良性疾患	25
	悪性腫瘍	31
	その他	0
その他		35
計		260

## 循環器科・循環器センター

責任者 副院長兼任：渡邊 寛（S56年卒 筑波大学卒業）

主な所属学会：日本外科学会、日本臨床外科学会（正会員）、米国胸部外科学会（国際会員）、アジア心臓血管外科学会（正会員）、日本胸部外科学会、日本血管外科学会、日本外科感染症学会、日本脈管学会、日本不整脈学会（評議員）、日本循環器学会、日本プライマリ・ケア連合学会  
主な資格：外科学会指導医、胸部外科学会指導医、外科専門医、脈管専門医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医、日本不整脈学会評議員

### 1. 心筋梗塞、狭心症

急性冠動脈症候群（急性心筋梗塞症および不安定狭心症）については、現在は当院は心臓カテーテルをおこなっていませんので、医師会に所属しておられる検査可能な施設か筑波大学附属病院ならびに筑波メディカルセンター病院に速やかに転送しています。

また緊急カテーテル検査並びに冠動脈形成術の時期を過ぎて安定期の方は心臓リハビリを行ってから、冠動脈CTなどを行いしかるべき施設にご紹介しています。

### 2. 心不全

心エコー法を用い心不全の原因を検索し的確な治療を行っています。急性心不全により、緊急入院の必要な患者の受け入れを随時行っており、現在主流の慢性心不全症例に対する $\beta$ ブロッカーの導入も行っています。薬剤抵抗性心不全症例に対する再同期ペーシング+植え込み式除細動治療（CRT-D）なども筑波大学循環器内科と連携してご紹介しています

### 3. 心臓弁膜症

近年増加している僧帽弁疾患、大動脈弁疾患に関しても心エコー法をもちい重症度を正確に評価し手術適応を決定し治療しています。外科手術は筑波大学心臓血管外科と連携しています。

### 4. 高血圧症

2次性高血圧症の鑑別診断を行った後、各々の病態に応じた治療を行っています。携帯型24時間血圧監視記録検査により血圧の日内変動を観察し、治療に反映させています。また、数日の入院を行い、高血圧症の原因、臓器障害の程度を詳しく検査も行っています。なお、自動血圧計データは院内解析ですので迅速な報告や経時的なデータ管理も可能です。

## 5. 不整脈

ホルター心電図長時間記録検査、電気生理学的検査により診断しています。徐脈性不整脈については必要に応じ、恒久的ペースメーカーの植え込み術を施行しています。カテーテルアブレーション治療は筑波大学循環器内科と緊密な連携を取っています。

ホルター心電図も院内解析です。

## 6. 大動脈疾患

CTなどで迅速な診断を行い、緊急症例に関しては筑波大学心臓血管外科と連携しています。

## 7. 血管疾患治療

間欠性跛行患者には下肢血管エコー、および下肢 CT アンギオを用いた非侵襲的解剖診断を行い、TASC II に則った標準的治療に導いています。手術等は筑波大学の心臓血管外科、循環器内科、放射線科と緊密な関係を築いています。下肢の静脈血栓、特に深部静脈血栓症では、腫れや痛みを感じ、肺梗塞の原因になりえますが、血栓溶解剤や抗凝固剤を用いて治療し、必要によっては静脈フィルターを留置します。心エコー、放射線科とも緊密な協力体制を構築し、他科のコンサルテーションにも応じております。高齢化や地域特性も有り深部静脈血栓症の検出も多く、各科でも学会発表や論文執筆も行われています。

検査は常勤の CVT（血管診療技師）が参加しており、その判断で循環器科や各科に緊急の警報が速やかに行われる様になっています。また脈管学会の修練施設にも認定されています。日本全国でようやく 1000 名を超え茨城県では 17 施設しか常勤がおりませんが CVT は 2 名常勤です。

## 8. 救急受入れ体制

地域支援病院でも有り、他科の先生にも緊急対応の指針を示しています。

間歇的処置では、下肢静脈瘤手術が 5 件、下大静脈フィルターが 8 件、ペースメーカー移植術は 13 件でした。

次年度の平成 28 年度からは工藤洋平医師（筑波大卒業 心臓血管外科で研修）が 4 月から常勤で月曜日から金曜日まで勤務、また 10 月から筑波大学循環器内科から山上 文医師が、金曜日と土曜日に当直をはさんで勤務してくれます。非常に優秀な人材を確保できましたので一層がんばってまいります。

出身グループの主任教授になられた平松祐司教授（グループ内から昇任）のご配慮で渡邊が筑波大学附属病院臨床教授を引き続き努めております。

[学会・研究会・講演発表 等]

渡邊 寛：取手守谷地区 心房細動治療連携パス報告 (日立) 2015.04.09

渡邊 寛：かしこい患者学 ～かしこい患者家族学～ 日本ペースメーカー友の会千葉県支部 ア  
ミュゼ柏 (千葉) 2015.05.17

渡邊 寛：冠動脈 CT 撮影時における塩酸ランジオロールの使用上の工夫 第7回 茨城周術期管  
理セミナー (茨城) 2015.07.03

渡邊 寛：日常生活で発症した深部静脈血栓症～身近な危険～臨床研究会 (茨城). 2015.10.02

渡邊 寛：サムスカ講演会 Closing Remarks (茨城) 2015.10.07

渡邊 寛, 萩原 謙, 大石武彦, 金子正則, 佐藤藤夫, 鈴木武樹：地域性、患者層を考慮した深部  
静脈血栓症リスクの検討と変遷ー積極的血管エコー検査施行経験からー  
第56回日本脈管学会総会 (東京). 2015.10.29

[座長等]

渡邊 寛：守谷地区 Network Meeting 栃木県脳卒中啓発プロジェクト ～概要とその効果に  
ついて～ 獨協医科大学神経内科 竹川英宏 先生

渡邊 寛：ペースメーカー基礎知識講演 座長 日本ペースメーカー友の会茨城支部 亀城プラ  
ザ Tsuchiura (茨城) 2015.06.21



# 整形外科

## 1. 業務紹介

整形外科は運動器（骨・関節・靭帯・神経・筋肉といったからだの動きを担当する器官）の病気や怪我の治療を行っています。基本的な治療は薬や日常生活指導などの保存的加療が中心となりますが、必要に応じて手術をお勧めすることもあります。リハビリテーションと連携して治療を進めることもあります。

## 2. スタッフ紹介

中島 佳子  
横井 直幸  
吉田 綾  
梶原 将也（～H27.9）

## 3. 平成 27 年度業績

手術件数	232 件	
頰椎椎弓拡大形成術	23 件	
腰椎手術	17 件	
大腿骨近位部骨折観血的手術	43 件	
人工股関節全置換術	1 件	
人工膝関節全置換術	2 件	
鏡視下手根管開放術	20 件	など

## 4. 今後の抱負・展望

総合的な治療・療養のため他の診療科との連携、地域の各病院・施設との連携を行います。

症例に応じて筑波大学と連携し治療を進めます。

## 5. 業績

### 【学会・研究会発表】

(1) 吉田 綾

「肘部管症候群における神経変性所見の病態への関与  
ー鏡視下尺骨神経異常所見と術前臨床症状重症度の関係ー」  
平成 27 年 4 月 17 日 第 58 回日本手外科学会学術集会

(2) 吉田 綾

「透析患者の肘部管症候群に対する鏡視下神経剥離術  
ーシャント血管の有無は手術手技・術後成績に影響するかー」  
平成 27 年 6 月 19 日 第 5 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS)

(3) 吉田 綾

「年代による透析合併症治療成績の変化ー手根管症候群ー」  
平成 27 年 6 月 27 日 第 60 回日本透析医学会学術集会

(4) Yoshida A

Endoscopic Neurolysis for Haemodialysis-related Cubital Tunnel  
Syndrome Patients Using the USE system,  
2015 Sterling Bunnel Traveling Fellowship Luncheon, the 70th  
Annual Meeting of the American Society for Surgery of the Hand ,  
2015/09/11

(5) Yoshida A

Endoscopic neurolysis for cubital tunnel syndrome patients using  
the USE system, Ground Rounds at C.V.Starr Hand Surgery Center,  
2015/08/22

(6) 吉田 綾

「透析患者の肘部管症候群に対する鏡視下神経剥離術  
ーシャント血管の有無は手術手技・術後成績に影響するかー」  
平成 27 年 11 月 14 日 第 16 回日本最小侵襲整形外科学会

(7) 吉田 綾

「足根管症候群に対する USE system を用いた鏡視下神経剥離術」  
平成 27 年 12 月 10 日 第 28 回日本内視鏡外科学会

(8) 吉田 綾

「肘部管症候群に対する USE system を用いた鏡視下神経剥離術」  
平成 28 年 2 月 13 日 第 28 回日本肘関節学会

【論文】

(1) 吉田 綾

「足根管症候群に対する USE system を用いた鏡視下神経剥離術の実際」  
日本最小侵襲整形外科学会誌 (MIOS) 15(1) 2015

(2) 吉田 綾

「肘部管症候群に対する USE system を用いた鏡視下神経剥離術の長期成績」  
JOSKAS (Journal of Japanese Orthopaedic Society of Knee,  
Arthroscopy and Sports Medicine) 40(3) 2015

(3) 吉田 綾

「手根管症候群における術前手根管内圧値は重症度に影響するか  
—安静位手根管内圧と運動神経遠位潜時—」  
Peripheral Nerve 末梢神経 26(1) 2015

(4) 吉田 綾

「血液透析患者における手根管症候群内視鏡手術の術後長期成績」  
日本透析医学会雑誌 48(5) 2015

(5) Yoshida A

Endoscopic tarsal tunnel syndrome surgery using the Universal  
Subcutaneous Endoscope system. AP-SMART (Asia-Pacific Journal  
of Sports Medicine, Arthroscopy, Rehabilitation and Technology) vol.3 2016

(6) 吉田 綾

「肘部管症候群における神経異常所見の病態への関与  
—尺骨神経異常所見と術前臨床症状重症度—」  
日本手外科学会雑誌 32(2) 2015

健 康 管 理 部



# 健 診 科

## 1. 業務紹介

当科は日本総合健診医学会及び、健康評価施設査定機構の定めた基準を満たした優良総合健診施設の認定を受け、地域住民及び職域の健康保持増進に勤めており、人間ドックやがん検診などの施設内健診から、出張による住民健診及び、学校健診・職域健診等を専門医による読影・管理のもと安全かつ正確に受診者のニーズにあった医療サービスを提供しています。

### <主な健診内容>

#### (1) 施設内健診（院内健診）

人間ドック／脳ドック

生活習慣病健診／主婦健診

定期健康診断／雇入時健康診断

特殊健康診断（有機溶剤・じん肺健診等）

特定健康診査

乳がん検診

#### (2) 出張健診

各施設に出張し、集団健診を実施しています。

学校健診（胸部 X 線検査・腎臓検診・寄生虫検査・心電図検査・貧血検査

小児生活習慣病予防健診）

住民健診（胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診・乳がん検診・子宮がん検診

前立腺がん検診・特定健康診査・骨粗しょう症検診・肝炎検査）

職域健診（生活習慣病健診・定期健康診断・特殊健康診断）

## 2. 職員紹介

医師	平岡 昌和	（センター長・常勤）
	林 益弘	（非常勤：月・火・水）
	大山 知弘	（非常勤：木）
	織壁 美名子	（非常勤：金）
	佐藤 明子	（非常勤：木／脳ドック）

事務職員	17名（常勤）
	22名（非常勤）
保健師	1名（常勤）
看護師	2名（常勤）
	15名（非常勤）
臨床検査技師	14名（非常勤）

### 3. 27年度事業実績

#### (1) 院内健診

人間ドック	2,054名
脳ドック	106名
生活習慣病健診／主婦健診	1,962名
定期健康診断／特定健康診査／特殊健康診断	2,503名
乳がん検診	439名
インフルエンザ予防接種	120名

#### (2) 出張健診

学校健診	
市町村立学校・・・	98校
私立学校・・・	10校
県立学校・・・	40校

#### < 児童・生徒 >

腎臓検診（尿検査）	46,935名
寄生虫検査（ぎょう虫）	8,567名
貧血検査	3,124名
小児生活習慣病予防健診	2,253名
心電図検査	13,182名
胸部 X 検査	8,271名

#### 住民健診（取手市・守谷市・利根町）

特定健康診査	22,912名
肺がん健診	20,042名
胃がん検診	4,845名
大腸がん検診	8,852名
乳がん検診(超音波検査)	1,325名
乳がん検診(マンモグラフィ)	2,136名
子宮がん検診(集団)	2,588名
子宮がん医療機関健診	1,845名

骨粗しょう症検診	391名
肝炎ウイルス検査	2,014名
特定保健指導（出張回数）	31回

職域健診 56事業所（生活習慣病健診・定期健康診断／特殊健診）

定期／特殊健康診断	8,816名
生活習慣病健診	4,366名
インフルエンザ予防接種	1,601名

#### 4. 今後の抱負・展望

今日の高齢化社会において健康長寿であることが求められており、健診結果により要精密検査又は、要治療となった場合は主治医による医療や、主治医がいない受診者には当院の外来にて専門的な検査及び治療が行える環境にあり、地域の関係医療機関及び行政との連携により健康をサポートしていくことが今後求められていくことになると思われ、当院健診センターは地域の医療環境に則した関係が期待されています。

#### 5. 業績（学会発表／参加）

- (1) 中根 夏菜  
平成 27 年 6 月 28 日 栄養指導を結果につなげるセミナー
- (2) 貝津 真弓・田中 順子・半田 真紀子・中根 夏菜  
平成 27 年 11 月 5 日 茨城県健診情報交換会
- (3) 中根 夏菜  
平成 27 年 11 月 7 日 保健指導ミーティング～スキルアップ研修会
- (4) 海老原 聡  
平成 27 年 11 月 16 日 骨粗鬆症予防教室（骨粗鬆症予防運動）
- (5) 貝津 真弓  
平成 27 年 11 月 27 日 東京都総合組合保健施設振興協会  
（東振協）連絡協議会
- (6) 中根 夏菜  
平成 28 年 1 月 15 日 人間ドック健診情報管理指導士研修会
- (7) 中根 夏菜  
平成 28 年 1 月 25 日 ストレスチェック事後指導研修会
- (8) 海老原 聡  
平成 28 年 1 月 27 日 特定保健指導  
（高齢者のストレッチ及び、筋力トレーニング）



- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| (9) 平成 28 年 2 月 29 日  | 取手市医師会胃部読影委員会開催    |
| (10) 平成 28 年 3 月 7 日  | 取手市医師会乳がん画像診断委員会開催 |
| (11) 平成 28 年 3 月 14 日 | 取手市医師会健診委員会開催      |
| (12) 平成 28 年 3 月 15 日 | 取手市医師会心電図委員会開催     |
| (13) 平成 28 年 3 月 24 日 | 取手市医師会胸部読影委員会開催    |
| (14) 平成 28 年 3 月 28 日 | 取手市医師会眼底委員会開催      |
| (15) 平成 28 年 4 月 8 日  | 取手市医師会前立腺がん検診委員会開催 |

# 看 護 部 報 告



## 東 3 階 病 棟

### 1. 業務紹介

当病棟は、病床数 58 床の外科・整形外科の急性期・周術期看護を中心としている病棟である。

外科は周術期の看護と化学療法の看護を提供している。整形外科は骨折や頸椎の、手術が主である。患者は高齢者が多く、手術後の回復に伴い再度転倒する可能性も高いため、日常生活動作の低下をきたさず、なおかつ早期退院が出来るように環境を整えることを重視している。

また、医師・看護師・理学療法士・薬剤師・栄養士・MSW の他職種でカンファレンスを定期的に行っている。そして、患者個々の治療や看護の方向性、退院にむけて共通の認識をもつことで QOL の維持・向上、患者と家族の希望に添えるような看護を提供している。

### 2. スタッフ紹介

看護師	26 名
准看護師	5 名
看護補助者	10 名

### 3. 平成 27 年度実績

#### 【業務実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
病床稼働率 (%)	71.98	78.77	64.62	69.91	77.53	63.86	71.93	80.46	80.75	81.77	82.33	75.09
患者総数 (人)	1172	1335	1041	1163	1292	1034	1207	1308	1349	1377	1257	1271
入院 (人)	67	77	63	78	89	34	74	80	83	84	65	69
退院 (人)	66	79	75	73	89	63	71	79	86	78	64	66
重症度・ 医療看護 必要度 (%)	22.6	23.0	22.8	12.8	12.0	19.9	15.0	13.0	17.1	20.0	27.2	21.4
外科・整形 手術 (件数)	33	18	33	29	30	28	30	40	31	18	30	35
化学療法 (件数)	34	19	18	20	12	23	22	17	22	20	14	38
内視鏡的 治療 (件数)	10	5	4	10	8	6	10	8	10	9	8	9

#### 【褥瘡発生率 (%)】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0.09	0	0.10	0.17	0.08	0.19	0.25	0.36	0.15	0.07	0.08	0.08

### 4. 今後の抱負・展望

平均在院日数が 14 日以内であり、患者の入退院が多い病棟である。そのような特徴があるなか、看護部の目標である「マグネットホスピタル」の実現を目標に関わっている。

そのために、短い入院期間の関わりであっても患者・患者家族が安心して治療が受けられる安全な環境、また希望に添える質の高い看護が提供出来る病棟作りを実践する。

接遇面においても、東 3 病棟に入院してよかったと評価される病棟作りを実践する。

また、当看護部で働いていることにプライドが持てるような環境を提供する。また、働きやすい職場風土をつくることで、看護職員からも選ばれる病棟をつくる。

## 5. 業績（学会発表）

### 【学会発表】

- (1) リハビリテーションケア学会 学術集会：2名参加  
「大腿骨頸部骨折患者の良肢位保持への取り組み」  
茨城県メディカルセンター

### 【研修・講習会】

- (1) 「重症度、医療・看護必要度評価者研修」 1名参加  
平成27年8月31日 ベルサール新宿グラウンド
- (2) 茨城県看護協会「安全管理 安全な看護を行う第1歩」 2名参加  
平成27年8月20日 土浦研修室
- (3) 新人外部公開研修「安全研修」 2名参加  
平成27年9月9日 筑波大学附属病院
- (4) 茨城県看護協会「安全倫理 看護職に求められる倫理」 2名参加  
平成27年9月10日 土浦研修室
- (5) 茨城県看護協会「実習指導者講習会」茨城県看護協会 1名参加  
平成27年8月18日～9月14日（前期）、10月13日～11月13日（後期）

## 6. 学生実習実績

桜水会 土浦看護専門学校 3年課程

4月13日～5月1日	4名
5月11日～5月29日	4名
6月1日～6月19日	4名
7月13日～7月31日	4名
8月24日～9月11日	3名
9月14日～9月25日	4名
10月19日～11月6日	4名
11月9日～11月27日	4名
1月12日～1月29日	4名
2月1日～2月19日	2名
2月22日～3月11日	4名

桜水会 土浦看護専門学校 2年課程

10月1日～10月16日	4名
12月1日～12月18日	4名

## 東 4 階 病 棟

### 1. 業務紹介

当病棟は、内科・呼吸器・循環器・外科（緩和）の混合病棟である。内科・呼吸器は糖尿病や脳梗塞・肺炎の患者が多く入院されている。患者層としては80歳以上の高齢の患者が多い。

また、ADLが低下している患者や認知症の患者も少なくない。そのため、自宅に退院する場合だけでなく他病院や施設等の調整が必要な場合が多い。循環器は心不全や不整脈、閉塞性動脈疾患、静脈血栓症などの患者が多く、ペースメーカー置換術や静脈結紮術を行っている。月2回、循環器医師より心電図の講義があり、心電図の基礎から応用まで学ぶことができ、看護に活かしている。外科は緩和患者が入院されている。週1回、医師・看護師・理学療法士・薬剤師・栄養士・MSWと癌のリハビリカンファレンスを行い、患者の治療や看護、方向性を共通理解し関わりを統一している。

混合病棟として幅広い疾患・治療に対しての看護を提供している。

### 2. スタッフ紹介

看護師	26名
准看護師	1名
看護補助者	10名

### 3. 平成 27 年度実績

#### 【業務実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
病床稼働率 (%)	81.05	85.79	81.57	75.04	92.13	95.90	93.71	81.34	84.72	84.72	87.78	90.54
患者総数 (人)	1,328	1,456	1,334	1,268	1,553	1,581	1,589	1,339	1,444	1,500	1,399	1,540
入院・転入患者数 (人)	74	66	64	83	91	72	79	58	67	78	75	74
退院・転棟患者数 (人)	73	69	72	69	92	72	76	66	62	84	67	73
医療・看護必要度 (%)	16.9	17.9	19.2	16.5	17.5	21.7	27.5	25.2	24.2	17.8	23.6	15.6
ペースメーカー (件)	3	0	1	1	1	2	2	0	0	1	0	4

#### 【褥瘡発生率】 (%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0.13	0.36	0.23	0.37	0.37	0.30	0.43	0	0.76	0.41	0

### 4. 今後の抱負・展望

看護職員が主体性を持って看護ができる病棟にする。そのためには、新人看護職員が到達目標を達成できるように病棟全体で支援する。スタッフ全員が強み、やりたい事、看護を再確認・認識し、自分がやりたい事・看護を行い満足する。また緩和・DM・認知症の研修会に参加し、専門的知識を患者・家族に提供する。



## 5. 業績

### 【研修・講習会】

#### (1) 呼吸器学会

「呼吸ケアと理学療法実践のためのフィジカルアセスメント徹底習得」

1名参加

平成27年4月17日 東京国際フォーラム

#### (2) 「見て見ぬふりから抜け出す回復期リハ循環講座」 1名参加

平成27年4月18日 埼玉教育会館

#### (3) 「看護チーム連携で排泄ケアに取り組む」 1名参加

平成27年4月25日 つくばセントラル病院

#### (4) 茨城県看護協会「接遇 プロフェッショナルへの第一歩」 1名参加

平成27年5月21日 土浦研修室

#### (5) 「排泄ケアから考える地域における病院の役割」 1名参加

平成27年5月16日 茨城県立中央病院災害医療センター

#### (6) 「重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修」 1名参加

平成27年6月14日 中央会場 東京ビックサイト

#### (7) 「抑制のジレンマを解消する安全カンファレンスと記録監査の実際」 1名参加

平成27年7月26日 日本教育会館

#### (8) 茨城県看護協会「安全管理 安全な看護を行う第一歩」 2名参加

平成27年8月20日 土浦研修室

#### (9) 新人外部公開研修「安全研修」 2名参加

平成27年9月9日 筑波大学附属病院

#### (10) 茨城県看護協会「看護倫理 看護職に求められる倫理」 2名参加

平成27年9月10日 土浦研修室

#### (11) 茨城県看護協会

「リフレッシュセミナー コミュニケーション 社会人基礎力を身につけよう」

平成27年10月9日 看護研修センター

#### (12) 第9回東京呼吸療法セミナー 1名参加

平成27年10月25日 帝京平成大学池袋キャンパス

#### (13) 茨城県総合リハビリテーションケア学会 学術集会 1名参加

平成27年12月5日 茨城県メディカルセンター

#### (14) 日本臨床看護マネジメント学会 学術研究会 1名参加

平成28年3月6日 東京都看護協会2階サークル室

#### (15) 緩和ケア認定看護師教育課程 国立がん研究センター東病院

平成27年7月1日～平成28年3月24日

(16) 茨城県看護協会

実習指導者講習会 茨城県看護協会：1名参加

(前期) 平成27年8月18日～9月14日

(後期) 平成27年10月13日～11月13日

6. 学生実習実績

桜水会 土浦看護専門学校 3年課程

4月13日～5月1日	4名
5月11日～5月29日	3名
7月13日～7月31日	4名
9月14日～9月25日	4名
10月19日～11月6日	4名
11月9日～11月27日	4名
1月11日～1月29日	4名
2月1日～2月19日	4名
2月22日～3月11日	2名

桜水会 土浦看護専門学校 2年課程

6月22日～7月10日	4名
8月24日～9月11日	4名
9月28日～10月16日	4名
11月30日～12月18日	4名

## 南 4 階 病 棟

### 1. 業務紹介

当院の療養病棟は、入院基本料 2 の医療型療養病床である。急性期の治療が終了した後の日常生活全般に援助の必要な患者が療養している。入院患者の平均年齢は 90.82 歳と高齢である。疾患別にみると、脳梗塞後遺症、パーキンソン病、肺炎、悪性腫瘍などが多く、点滴、緩和ケア、退院へ向けてのリハビリ目的と幅広いケアが必要になっている。患者や家族が安心して穏やかな入院生活が行なえるように、理学療法士や栄養士、MSW など多職種と連携を図り、個別性のある質の高い看護を提供していけるよう日々努力している。

### 2. スタッフ紹介

看護師	11 名
准看護師	3 名
看護補助者	14 名

### 3. 平成 27 年度実績

#### 【業務実績】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
病床稼働率 (%)	95.40	95.48	90.26	88.38	88.51	92.86	87.80	87.86	91.74	88.90	89.03	90.64
患者総数 (人)	1,423	1,472	1,346	1,361	1,366	1,385	1,352	1,313	1,418	1,373	1,284	1,393
入院・転入患者数 (人)	15	10	10	11	15	14	12	10	10	12	15	13
退院・転棟患者数 (人)	13	12	11	13	14	13	15	8	9	12	14	16
平均在院日数 (日)	318	370	338.5	249.0	343	309.5	302.4	527.2	711	551.2	368.8	234.1

【褥瘡発生率】 (%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0.07	0.07	0.29	0.04	0.07	0.08	0.77	0.22	0.15	0.28

4. 今後の抱負・展望

看護ケアが近隣地域のなかの手本となるよう、口腔ケア・オムツ交換等の看護ケアにおいて個別性の看護計画を立案し、療養生活計画を提供していく。

患者・家族とのコミュニケーションを図り信頼関係を築き、今後の方向性を早期より対応し、患者・家族の満足できる方向を見出していく。

職員の満足度を高めるため、個別性に配慮した勤務形態、専門性を発揮できる環境作りと個々の目標を達成させる。

5. 業績

【学会・研究会発表】

(1) 排泄ケア研究会 事例発表

「看護チームとの連携で排泄ケアに取り組む」

平成 27 年 4 月 25 日 つくばセントラル病院

(2) 清水 喜代子

第 5 回日本リハビリテーション栄養研究会学術集会

「認知症のあるサルコペニア嚥下障害患者の一症例」

平成 27 年 11 月 28 日 広島県広島大学 ポスターセッション

(3) 清水 喜代子

第 19 回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会

「自宅退院への希望を叶えた一例」

平成 27 年 12 月 5 日 茨城県メディカルセンター

【研修・講習会】

(1) 日本摂食嚥下障害看護研究会 1 名参加

平成 28 年 5 月 23-24 日 日本歯科大学 生命歯学部富士見ホール

(2) 看護必要度評価者院内指導者研修 1 名参加

平成 27 年 6 月 14 日 ベルサール新宿グランド

(3) CAPE、褥瘡予防研究会 4 名参加

平成 27 年 6 月 20 日 つくば国際会議場

- (4) 第3回 KTSM 研究会 1名参加  
平成27年7月11日 神奈川県民ホール
- (5) リハ栄養フォーラム2015in 東京 1名参加  
平成27年8月8日 あいおいニッセイ同和損保新宿ビル
- (6) 摂食嚥下リハビリテーション学会 1名参加  
平成27年9月11-12日 国立京都国際会館
- (7) 摂食嚥下障害看護認定看護師フォローアップ研修 1名参加  
平成27年10月9日 茨城県立医療大学
- (8) 口から食べる幸せをサポートする包括スキルの実践セミナー 1名参加  
平成27年11月11日 日本教育会館
- (9) 第6回日本摂食嚥下障害看護研究会 関東支部 1名参加  
平成28年1月16日 東京医科歯科大学附属病院
- (10) 北関東摂食嚥下障害リハビリ研究会 1名参加  
平成28年2月11日 国際医療福祉大学
- (11) 第3回日本環境感染学会学術集会 1名参加  
平成28年2月19-20日
- (12) 日本臨床看護マネジメント学会 学術集会 2名参加  
平成28年3月6日 東京都看護協会
- (13) 第2回難病嚥下研究会セミナー 1名参加  
平成28年3月19日 国立精神・神経医療センター

# 外 来

## 1. 業務紹介

地域医療支援病院として地域の医療施設と緊密に連携を図り、質の高い医療サービスを行っている。診療科は、外科・内科・整形外科・循環器科をはじめ脳神経外科、神経内科等の専門外来がある。外来看護師は診療の補助の他、放射線科で行われる造影検査、イレウス管挿入、PTCD、リザーバー挿入等の介助、外来化学療法を行っている。当院は二次救急病院であり、24時間通して救急患者の対応をしている。

## 2. スタッフ紹介

### 【スタッフ】

師長	1名
主任	1名
看護師	12名 (パート5名含む)
准看護師	2名
看護補助者	1名

### 【当院経験年数】

1年未満	1名
3～5年未満	4名
5～10年未満	3名
10年以上	8名

### 3. 平成 27 年度実績

#### 【外来患者数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	新患	87	76	79	105	113	97	83	100	92	113	147	135
	再来	1,675	1,502	1,755	1,771	1,745	1,688	1,989	1,844	1,880	1,766	1,755	1,846
外科	新患	46	50	41	65	43	53	68	45	62	59	50	72
	再来	941	919	935	960	989	878	1,106	977	955	923	921	893
整形外科	新患	58	50	55	59	54	67	63	49	63	46	56	76
	再来	848	837	901	828	833	662	920	926	846	855	989	1,018
循環器科	新患	15	10	11	13	13	4	12	13	5	10	9	13
	再来	438	387	411	437	358	482	488	440	492	487	392	553
呼吸器科	新患	4	8	9	5	6	5	16	5	8	13	9	3
	再来	210	161	200	182	221	197	211	245	259	190	212	229
神経内科	新患	7	1	1	3	2	0	4	0	1	1	2	20
	再来	241	174	220	233	241	257	265	235	226	228	239	240
脳神経 外科	新患	1	0	2	1	1	3	1	1	0	2	2	1
	再来	76	73	74	91	70	74	54	60	60	62	70	73
膠原病 リウマチ科	新患	1	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1
	再来	50	73	59	49	51	59	59	52	55	52	63	51
総数		4,689	4,321	4,754	4,803	4,740	4,526	5,340	4,993	5,005	4,808	4,917	5,224

#### 【休日夜間患者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日勤帯患者数	50	124	25	48	40	97	59	55	146	148	105	70
夜間帯患者数	14	29	19	29	18	36	16	18	29	56	39	35
総数	64	153	44	77	58	133	75	73	175	204	144	105

【外来検査等】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
CT 造影	53	74	66	72	66	78	69	69	60	80	97	95
MR 造影	15	13	11	12	19	16	15	10	18	14	16	19
冠動脈 CT	6	3	6	3	1	5	2	5	3	10	8	10
リザーバー	5	5	3	3	7	2	3	2	2	6	3	6
イレウス管	1	0	3	0	2	1	5	4	6	8	1	1
脊椎造影	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	1
静脈フィルター	1	0	2	0	1	0	0	2	0	0	0	2
胆管系造影他	0	3	2	0	0	1	1	2	4	1	0	1
TAE	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
胆管ドレナージ	2	6	3	1	0	3	6	2	5	4	2	4
PTCD 等ドレナージ	2	3	1	1	0	2	5	0	1	3	2	1
PTA	2	3	2	1	0	0	2	1	0	1	3	3
PICC	6	3	13	17	14	10	7	8	10	3	4	3
胸腔ドレナージ	1	0	0	4	0	1	1	0	0	1	0	0
化学療法	40	68	46	40	45	37	36	36	29	37	25	21
外来手術	8	8	7	9	6	4	6	7	6	8	8	11

【専門外来】

ストーマ外来	72 件／年（前年比＋14 件）
禁煙外来	15 件／年（前年比－12 件）
糖尿病透析予防指導	65 件／年（前年比＋7 件）

【救急車受け入れ台数】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
80	55	84	73	81	78	79	77	88	88	77	74	934

4. 今後の展望

地域住民の健康と疾病の回復のため、外来に来られる方々と信頼関係を築き安心して受診できるように体制を整えていく。平成 28 年度は糖尿病外来の患者様の足の観察、ケアを行ない、「足壊疽ゼロ」を目標に活動していく。また、医師会員の医師と連携を図り、切れ目のない診療がおこなえるように努めていく。退院後の在宅支援として外来看護師在宅訪問を行ない、在宅療養される患者・家族様の不安の軽減を図っていきたい。



## 5. 実績

### 【学会・研修会発表】

- (1) 本谷睦子・高木真樹・飯塚香  
「外来継続看護のために他職種との連携をはかるー慢性下肢潰瘍の1例ー」  
第19回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会  
平成27年12月5日 茨城県メディカルセンター
- (2) 倉持杏子・飯塚香・高木真樹  
「大腸内視鏡検査の前処置説明の工夫」  
第33回関東消化器内視鏡技師学会  
平成27年11月22日 日本教育会館一ツ橋ホール

### 【研修・講習会】

- (1) 第55回日本呼吸器学会学術講演会：1名参加  
平成27年4月17-18日 コレド日本橋
- (2) 第12回呼吸ケアカンファレンス：1名参加  
平成27年4月19日 コレド日本橋
- (3) TENA 茨城県南排泄ケア研究部会：1名参加  
「看護チームとの連携で排泄ケアに取り組む」  
平成27年4月25日 つくばセントラル病院 D館会議室
- (4) AHA ハートセーバー  
ファーストエイド (Heart+saver First AID) コース受講 1名参加  
平成27年5月5日 筑波大学附属病院
- (5) 第184回全国禁煙アドバイザー育成講習会 1名参加  
平成27年7月19日 川口駅前市民ホール フレンディア
- (6) 日本呼吸ケアリハビリテーション学会学術総会 1名参加  
平成27年10月15-16日 東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート
- (7) 第16回千葉県糖尿病看護研究会：3名参加  
平成27年11月3日 京葉銀行文化プラザ
- (8) 茨城県看護協会 看護職連携構築モデル事業 取手看護管理者会 1名参加  
「地域で繋げる看護と介護」  
平成27年11月20日 取手ウェルネスプラザ 1階セミナーA
- (9) 救急トピックスー救急医療の現場から地域連携 1名参加  
平成27年12月15日 茨城県看護研修センター
- (10) 平成27年度看護管理者等研修会 1ねうさB者  
「看護補助業務従事者に期待すること」  
平成28年1月27日 水戸プラザホテル 1名参加

- (11) 第 33 回日本ストーマ排泄リハビリテーション学会総会 1 名参加  
平成 28 年 2 月 19 日 甲府富士屋ホテル
- (12) 第 29 回茨城県糖尿病療養指導士研修会 3 名参加  
平成 28 年 2 月 28 日 東京医科大学茨城医療センター
- (13) 日本臨床看護マネジメント学会 1 名参加  
平成 28 年 3 月 5 日 東京都看護協会
- (14) コロプラスト ストーマ管理 1 名参加  
平成 28 年 3 月 5 日 つくば国際会議場
- (15) AHA 小児救急 PEARS 1 名参加  
平成 28 年 3 月 12 日 つくば消防署
- (16) 平成 27 年度在宅医療・介護連携拠点事業  
医療・介護従事者向け認知症講演会 1 名参加  
「地域包括ケアにおける認知症ケアネットワークの必要性」  
平成 28 年 3 月 16 日 取手ウェルネスプラザ 多目的ホール

**【その他】**

- (1) つくば常総第 18 回 ISLS インストラクターとして 1 名参加  
平成 27 年 6 月 20 日 JA とりで総合医療センター
- (2) 水害 DMAT として被災地へ 1 名参加  
平成 27 年 9 月 11 日 石岡市へ

# 手術室

## 1. 業務紹介

平成 27 年度は、病院機能評価機構の認定施設になり、地域支援病院としての役割が明確に示された年となった。地域の支援病院として、多くの患者さまを、安全に受け入れられる手術室、内視鏡室であるように、日々改善に取り組んでいる。

手術室・内視鏡室・中央材料室においても、機能評価取得に向け多くの改善を続け、より安全に医療を提供できる場として環境作りに取り組んだ。

手術室では、看護師による手術患者さまの術前訪問の実施、予定手術に対して毎朝カンファレンスを行い手術患者の情報を共有し、安全な看護を提供できるよう努めた。

内視鏡室においては、昨年度より導入した、検査前処置用の説明パンフレットを経鼻内視鏡にも応用し、上部内視鏡検査を受ける患者さまへの的確な説明を行える体制を整備した。写真を用いた説明で、理解しやすいと良い評価を頂いている。また、多くのスタッフがより良い学びの時間が得られるよう研修、学会スケジュールの把握およびシフト調整を行ってきた。これによりスタッフが内視鏡技師取得へ向けてチャレンジしており、当院で内視鏡技師が新たに誕生する予定となっている。

中央材料室では、機器の洗浄・滅菌に関する研修への積極的な参加や、第二種滅菌技師の取得など、安全な器材を提供出来るスタッフの育成に力を入れてきた。

開院から 30 年以上経過しており、多くの設備、機器の老朽化も目立つようになり、各機器のメンテナンス、日々の点検を確実にしている。

## 2. スタッフ

看護師	9 名（男性 3 名、女性 6 名）
看護補助者	3 名（男性 1 名、女性 2 名）

男女、年齢問わず一丸となって業務に取り組んでいる。

## 3. 業務実績

(1) 手術実績（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

年間手術件数（延手術患者数）	525 件
外科	268 件
整形外科	226 件
循環器科	22 件
呼吸器科	9 件

- ・外科手術においては、悪性腫瘍手術が多くを占めており、胃癌、大腸癌などにおいても腹腔鏡手術が選択されることが多くなってきている。現在では、外科手術症例の約3割が腹腔鏡下手術となっている。
- ・整形外科では、椎弓形成術、大腿骨転子部骨折に対する骨折観血的手術、大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭挿入術、鏡視下手根管開放術が特に多く行われている。
- ・循環器では、ペースメーカー移植術、呼吸器では肺癌に対する手術が昨年度同様に推移している。

今年度は、僅かではあるが昨年度実績を下回る件数だったが、前記した症例が多くなっており内容としては前年度と遜色ない実績であったと考える。

## (2) 内視鏡実績

年間内視鏡件数（延患者数）	2,811 件
上部内視鏡	2,188 件（経口 1,975 件、経鼻 47 件）
下部内視鏡	623 件

内視鏡検査では、2,811 件の検査、内視鏡手術が行われ、昨年度との比較では 175 件増加している。今年度より、健康診断時の内視鏡検査において生検や経鼻内視鏡を実施したことにより、患者さまの負担が軽減され、検診患者の上部内視鏡検査が昨年度を上まった要因の一つになったと考える。経鼻内視鏡検査は昨年度と同様の件数で推移しているが、定期的に受診される患者さまから経鼻内視鏡について問われる機会が増えており、今後の需要増加が予想される。

## (3) 中央材料室

中央材料室では、器材の老朽化に伴う買い替えや、より安全に使用できるようメンテナンスの保守契約を見直すなどして機器の管理を行っている。

今年度は、スタッフ 1 名が第 2 種滅菌技師の資格を取得し、安全な材料提供のためスキルアップをしている。今後も資格取得者を増やしプロフェッショナルな中央材料室に出来るよう努めたい。

## 4. 教育・研究

教育に関しては、部署内での勉強会のほか、看護部主催の勉強会などに積極的に参加し知識を身に着けているほか、スタッフ個々が院外のセミナーや学会などに参加し、新しい技術、知識の修得に務めている。今年度は、スタッフ 1 名が第 1 種内視鏡技師の試験にチャレンジした。次年度以降も、各スタッフが積極的に研修へ参加できる体制を作り、バックアップしていきたいと考えている。

## 5. 今後の展望

今年度は、私が師長として任を受けてから初めての新卒看護師が配属された。この1年は基本をしっかり覚えて、1年後にこの手術室で自立して活躍してもらえるようスタッフ共々、支援していきたいと考えている。

開院から30年以上経過しているため、機器の入替え等大掛かりな設備投資も必要な段階に来ているが、これからの30年安全な手術室が提供できるよう、しっかりと環境を整えていく予定である。

さらに、検査、手術を受ける患者さまそして検査、手術に関わるスタッフ全員が安全に行うために各種マニュアルの改訂を行い、安全で質の高い手術室が提供できるよう努め、手術室・内視鏡室ともに周術期、急性期の患者さまへクオリティの高い看護が提供できるよう努力していきたい。

## 5. 手術実績

### 【外科】

分類	術式	合計
上部消化管	食道悪性腫瘍手術（頸・胸・腹部の操作によるもの）	1
	胃全摘（開腹）	6
	胃全摘＋肝外側区域切除＋脾臓合併切除	1
	胃切除（開腹）（悪性腫瘍手術）	3
	胃切除（単純）	1
	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）	6
	腹腔鏡下胃局所切除術＋腹腔鏡下胆嚢摘出術	1
	胃腸吻合術（空腸）	4
	胃ろう造設術	1
	小腸吻合術	1
下部消化管	結腸切除（小範囲切除・悪性腫瘍）	3
	結腸切除 {上行・横行・下行・S状}（開腹）（悪性腫瘍）	14
	結腸切除 {上行・横行・下行・S状}（腹腔鏡下・補助下）（悪性腫瘍手術）	4
	結腸切除（少範囲切除）	2
	結腸切除（少範囲切除）＋人工肛門造設術	1
	腹腔鏡下結腸切除術	2
	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍手術	4
	直腸切除 {前方切除}（開腹）	6
	直腸切除 {前方切除}（腹腔鏡下・補助下）	2
	直腸切除 {前方切除}＋人工肛門造設（開腹）	1

	直腸切除{ハルトマン} (開腹)	4
	虫垂切除術 (周囲膿瘍を伴わない)	2
	虫垂切除術 (周囲膿瘍を伴う)	4
	腹腔鏡下虫垂切除術 (周囲膿瘍を伴わない)	7
	腹腔鏡下虫垂切除術 (周囲膿瘍を伴う)	8
	汎発性腹膜炎手術	1
	汎発性腹膜炎手術+人工肛門造設+腹腔ドレナージ	1
下部消化管	人工肛門造設	7
	人工肛門造設+限局性腹腔腫瘍手術 (その他)	1
	人工肛門閉鎖術 (腸管切除を伴う)	1
	腸管癒着症手術	2
胆・肝・膵	胆嚢摘出 (開腹)	1
	腹腔鏡下胆嚢摘出術	30
	単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術	1
	膵頭部腫瘍切除	1
	膵体尾部腫瘍切除 脾臓切除	1
	肝臓切除 (部分切除)	1
肛門	痔瘻根治術	1
	高位結紮術	2
	内痔核手術 (硬化療法)	2
乳腺・甲状腺	甲状腺腫瘍摘出術	1
	乳腺腫瘍摘出	18
	乳腺悪性腫瘍切除 (乳房切除・リンパ郭清なし)	2
	乳腺悪性腫瘍切除 (乳房切除・リンパ郭清あり)	10
	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房部分切除・リンパ郭清なし)	4
	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房部分切除・リンパ郭清あり)	12
	乳管腺葉区域切除	1
	リンパ節群郭清術	1
表皮・皮下	皮膚皮下腫瘍摘出術 (露出部)	5
	皮膚皮下腫瘍摘出術 (露出部以外)	6
	毛巣洞手術	1
	デブリードマン	1
その他	ヘルニア手術 (鼠径)	11
	ヘルニア手術 (内ヘルニア)	2
	ヘルニア手術 (閉鎖孔)	1
	ヘルニア手術 (大腿)	1
	腹腔鏡下ヘルニア修復術 (鼠径ヘルニア)	33

	腹腔鏡下ヘルニア修復術（鼠径ヘルニア）＋大網切除	1
	大網切除術	1
	内シャント造設術	6
	血管移植術・人工血管による動静脈内シャント	1
	開腹ドレナージ術	1
	試験開腹	1
	頸部リンパ節摘出	2
その他	頸瘻・頸嚢摘出術	1
	リンパ節生検・摘出	2
	気管挿管	1
肺	肺悪性腫瘍手術（1葉を超えるもの）	2
	肺悪性腫瘍手術（部分切除術）	1
	胸腔鏡下縦隔良性腫瘍手術	1
	胸腔鏡下胸腺摘出術	1
	胸腔鏡下肺部分切除	1
	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う）	1
	胸腔鏡下縦隔腫瘍手術	1
気管	気管切開	2
合計		279

【整形外科】

分類	術式	合計
脊椎	椎弓形成術 骨移植術（頸椎）	23
	腰椎椎体後方固定術	2
	後方椎体固定術＋骨移植術	1
	椎弓切除術（腰部）	6
	椎間板摘出術（後方）	7
	黄色靭帯骨化症手術	2
	その他	1
股関節・大腿	THA	2
	FHR	20
	IMHS・インタータン・MIJ	19
	ハンソンピン	6
	ORIF（T2）	1
	骨内異物除去＋FHR	1

	ORIF (インプラント周囲骨折に対するもの)	1
	髄内釘	2
	四肢切断術 (大腿)	1
	骨内異物(挿入物) 除去	4
膝・膝関節	TKA	4
	骨内異物 (挿入物) 除去	2
	ORIF (K-W・S-W 固定)	3
	ORIF (スクリュー・プレート)	1
	関節鏡下関節内骨折観血的手術	1
下腿	ORIF (スクリュー・プレート固定)	10
	ORIF (髄内釘)	1
	切断術	2
	アキレス腱断裂手術	1
	骨内異物 (挿入物) 除去	2
足関節・足	骨内 (挿入物) 異物除去	2
肩鎖関節	鎖骨 ORIF (スクリュー・プレート固定)	1
	関節脱臼非観血的整復術 (肩)	1
	関節内骨折観血的手術 (肩)	1
上腕・前腕	ORIF (スクリュー・プレート固定)	3
	ORIF (K-W・S-W 固定)	5
	腱移植術	1
	神経移行術	1
	髄内釘	1
	骨折経皮的鋼線刺入固定術	1
	骨切り術	1
	骨内異物(挿入物) 除去	3
肘関節	ORIF (スクリュー・プレート固定)	1
	人工骨頭挿入術 (肘)	1
	鏡視下神経剥離術	1
	創傷処置 真皮縫合 デブリードマン	1
	骨内異物 (挿入物) 除去	2
手関節・手	ORIF (スクリュー・プレート固定)	5
	ORIF (K-W・S-W 固定)	3
	骨折観血的手術	1
	骨折経皮的鋼線刺入固定術	7
	手根管開放術 (鏡視下)	20
	鏡視下神経剥離術	1



	腱鞘切開術	21
	関節鏡下関節内骨折観血的手術	1
	関節形成術（手）	2
	関節内骨折観血的手術（手）	1
	腱剥離術	1
	指伸筋腱脱臼観血的整復術	1
	ガングリオン摘出術	1
	腱縫合術	2
	観血的関節受動術	1
手関節・手	骨内異物（挿入物）除去	5
	腱滑膜切除術	1
	皮膚皮下腫瘍摘出術（露出部）	2
	軟部腫瘍切除術（指）	1
その他	皮膚皮下腫瘍摘出術（露出部）	1
	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術	2
	腸骨窩膿瘍搔爬術	1
	創傷処理（筋肉臓器に達する）	1
合計		235

【循環器科】

分類	術式	合計
胸部	ペースメーカー挿入術	12
	ジェネレーター交換	3
下肢	高位結紮＋硬化療法	6
合計		21





	下部消化管 ステント留置術	院内													0	
	小腸・結腸狭窄部拡 張術 (イレウス解除)	院内													0	
	その他下部内視鏡	院内			1										1	0.1
	<b>下部消化管計</b>		46	25	48	56	69	53	68	46	51	56	46	59	623	51.9
気 管 支	気管支鏡	院内													0	
	<b>合 計</b>		177	172	235	265	256	235	302	250	271	181	213	254	2,811	234.3
	前年同月比		△ 12	△ 49	27	27	43	△ 11	45	14	35	14	3	39	36	



# 診 療 技 術 部 報 告



# 放射線科

## 1. 業務紹介

### 【検査業務】

#### (1) 診療部門（外来、入院、院外からの依頼検査）

一般撮影

ポータブル撮影

外科用イメージ

骨塩定量

乳腺撮影

CT検査

MR検査

X線ーTV（上部・下部消化管造影、血管造影 他）

超音波検査（腹部、血管、表在 他）

休日・夜間の救急撮影業務

#### (2) 健診部門（人間ドック、各種健康診断の検査）

一般撮影（胸部、頸椎、腰椎）

乳腺撮影

X線ーTV（上部消化管造影）

超音波検査（腹部、頸動脈）

CT検査（頭部、胸部、腹部）

MR検査（頭部）

骨塩定量

検診車（住民検診、企業検診）

胸部 検診車

胃部 検診車

乳腺・骨塩 検診車

### 【検査以外の業務】

漏洩線量測定（年2回）

検診車画像処理（委託車の画像調整、胸部差分処理、健診データ貼付け処理）

各種装置保守管理業務

マンモグラフィー施設認定取得・制度管理業務

胃がん検診専門認定技師取得・読影レポート作成業務

遠隔読影補助業務



胸部読影委員会・胃部読影委員会・乳がん読影委員会の補助業務  
 画像検査予約・調整業務  
 外部被曝線量測定記録管理  
 公益社団法人全国労働衛生団体連合会制度管理取得と管理業務  
 各種委員会活動（安全管理委員会、感染対策委員会、カルテ・クリティカルパス委員会、個人情報保護法委員会、院内災害対策、院外災害対策DMAT、コンピュータ・広報委員会、医療の質向上委員会 他）

## 2. スタッフ紹介

診療放射線技師 12名（男性：7名、女性：5名）  
 放射線事務 2名（内パート：1名）

### 【国家資格】

診療放射線技師 12名  
 第一種放射線取扱主任者 2名

### 【学会認定資格】

胃がん検診専門技師 4名  
 検診マンモグラフィ撮影技術認定 5名  
 血管診療技師（CVT） 2名  
 日本磁気共鳴専門技術者認定 1名  
 超音波検査士 2名

## 3. 平成 27 年度実績（検査件数）

モダリティ	CT	MR	MMG	一般撮影	超音波	骨塩定量	X-TV
診療	6,026	2,354	484	12,506	2,810	384	506
健診センター	166	302	1,054	6,556	2,403	111	2,853
合計	6,192	2,656	1,538	19,062	5,213	495	3,359

胃部検診車	胸部検診車	乳腺検診車	骨塩定量車
5,216	26,814	1,865	391

（※ 外部に委託した検診と高校生検診を除く）

#### 4. 今後の抱負・展望

(1) 「検査レベルの向上」に努めます。

現在取得している各種認定資格の更新と新規取得、上位資格取得を目指します。また、より良い検査に必要な不可欠な装置の精度管理を徹底します。

(2) 「優しさに溢れた医療」に努めます。

放射線受付と各検査室の連絡を密にし、患者様の状態に配慮した気配りのある対応をいたします。患者様に不便や不安を感じさせない接遇に取り組みます。

#### 5. 業績

##### 【学会・研究会発表】

(1) 大石 武彦

第 40 回日本超音波検査学会学術集会シンポジウムでの演者

「超音波検査の標準化はどこまで進めるのか」

平成 27 年 5 月 17 日 日本超音波検査学会・日本超音波医学会（共同企画）

(2) 大石 武彦

消化管エコーセミナー2015 in 東京での症例提示

「限局性大網梗塞の 1 例」

平成 27 年 8 月 30 日 消化管エコー研究会

(3) 高倉 有

第 423 回日本放射線技術学会秋季学術大会

「Multi-voxel  $^1\text{H-MRS}$  におけるスペクトルに対して影響を及ぼす因子についての検討」

平成 27 年 10 月 9-10 日 日本放射線技術学会

(4) 大石 武彦

第 107 回茨城県診療放射線技師会超音波研究会での発表

「限局性大網梗塞の 1 例」

平成 27 年 10 月 21 日 茨城県診療放射線技師会

##### 【講演】

(1) 大石 武彦

日本超音波検査学会 第 126 回医用超音波講義講習会

「診断に役立つ超音波」

平成 27 年 5 月 15 日 日本超音波検査学会

(2) 大石 武彦

第3回いわきハンズオンセミナー

「大腸の超音波診断と治療 ～初級編～」

平成27年6月5日 いわき市医師会生涯教育学術委員会

福島県臨床衛生検査技師会いわき支部 他

(3) 高倉 有

卒業生による在校生のための就職支援交流会

平成27年5月31日 茨城県立医療大学

(4) 大石 武彦

第4回いわきハンズオンセミナー

「大腸の超音波診断 ～実習編～」

平成27年11月27日 いわき市医師会生涯教育学術委員会

福島県臨床衛生検査技師会いわき支部 他

(5) 大石 武彦

日本超音波検査学会 第127回医用超音波講義講習会

「「臍領域」診断へのアプローチと走査における Tips (コツ、秘訣、裏技)」

平成27年12月19日 日本超音波検査学会

【座長】

(1) 高倉 有

第71回日本放射線技術学会総会学術大会

平成27年4月16日 日本画像医療システム工業会

(2) 大石 武彦

第27回日本超音波医学会関東甲信越地方会 (一般演題 消化器7)

平成27年11月15日

【雑誌執筆】

(1) 大石 武彦

雑誌「検査と技術」の連載企画

「症例から学ぶ超音波検査 -忘れられないあの症例 胃異所性膵」

平成27年12月1日発刊 (Vol.43 No.13) 医学書院

【学会・研究会・講習会等参加】

(1) 臨床研究会：各回2～3名参加

平成27年4月～平成28年3月 10回開催 取手市医師会

(2) 日本放射線技術学会 総会学術大会：1名

平成27年4月16-19日 日本診療放射線技術学会

- (3) 2015 国際医用画像総合展：2名  
平成 27 年 4 月 17 日 日本ラジオロジー協会
- (4) 日本消化器がん検診学会 超音波研修会 1名  
平成 27 年 4 月 18 日 日本消化器がん検診学会
- (5) 学術講演会「脊椎・脊髄外科領域における診断治療の最近の進歩」 1名  
平成 27 年 4 月 28 日 取手市医師会
- (6) 茨城 EVT 研究会 1名  
平成 27 年 5 月 8 日 茨城 EVT 研究会
- (7) VSRAD Live Seminer 1名  
平成 27 年 6 月 5 日
- (8) 日本超音波医学会学術集会 1名  
平成 27 年 5 月 16-17 日 日本超音波医学会
- (9) 診療放射線のためのフレッシュャーズセミナー 1名  
平成 27 年 5 月 16 日 茨城県診療放射線技師会
- (10) つくば放友会 6名  
平成 27 年 5 月 26 日 バイエル、つくば放友会
- (11) 胸部 X 線写真読影研修会 2名  
平成 27 年 5 月 28 日 茨城県立こころの医療センター
- (12) 第 20 回茨城 MRI 情報交換会  
平成 27 年 6 月 16 日 茨城 MRI 情報交換会、バイエル薬品株式会社
- (13) 関東甲信越診療放射線技師会学術大会 2名  
平成 27 年 6 月 21 日 日本放射線技師会
- (14) 超音波研究会 1名  
平成 27 年 6 月 23 日 茨城県診療放射線技師会
- (15) 取手消化器研究会 6名  
平成 27 年 6 月 24 日 取手消化器研究会
- (16) 茨城県南末梢循環研究会 2名  
平成 27 年 6 月 25 日 日本南末梢循環研究会
- (17) 千葉エコー研究会 1名  
平成 27 年 6 月 28 日 千葉エコー研究会
- (18) ナイトセミナー 1名  
平成 27 年 6 月 29 日 日本診療放射線技師会
- (19) 読影セミナー 1名  
平成 27 年 7 月 5 日 日本診療放射線技師会
- (20) 胃 X 線を楽しく学ぶ会 1名  
平成 27 年 7 月 11 日 胃 X 線を楽しく学ぶ会、カイゲンファーマ

- (21) フジフィルムメディカルセミナー 1名  
平成 27 年 7 月 25 日 富士フィルムメディカル
- (22) 第 25 回 Medical Imaging Forum～心臓～ 1名  
平成 27 年 8 月 1 日 MIF、富士製薬工業株式会社
- (23) 消化管エコーセミナー2015 in 東京 1名  
平成 27 年 8 月 30 日 消化管エコー研究会
- (24) 第 43 回日本磁気共鳴医学会大会 1名  
平成 26 年 9 月 10-12 日 日本磁気共鳴医学会
- (25) 第 28 回茨城 Signa User' s Meeting 1名  
平成 27 年 9 月 26 日 茨城 Signa User' s Meeting・GEHC-J
- (26) 第 104 回超音波研究会 1名  
平成 27 年 10 月 8 日 茨城県診療放射線技師会
- (27) 茨城県画像診断研究会 1名  
平成 27 年 10 月 16 日 バイエル薬品株式会社
- (28) 第 20 回茨城 MRI 情報交換会  
平成 27 年 10 月 22 日 茨城 MRI 情報交換会、バイエル薬品株式会社
- (29) 取手市医師会学術講演会「茨城県の心臓血管外科医療の近未来を展望する」 3名  
平成 27 年 10 月 27 日 取手医師会病院
- (30) 取手消化器研究会 1名  
平成 27 年 10 月 28 日 取手消化器研究会
- (31) 第 56 回日本脈管学会総会 1名  
平成 27 年 10 月 29-31 日 日本脈管学会
- (32) 第 5 回読影アシスタント研究会 4名  
平成 26 年 11 月 12 日 つくば放友会・読影アシスタント研究会
- (33) マンモグラフィ撮影技術講習会 1名  
平成 27 年 11 月 14-15 日  
群馬県マンモグラフィ向上委員会 NPO 法人日本乳がん検診精度管理中央機構
- (34) フジフィルムメディカルセミナー 1名  
平成 27 年 11 月 14 日 富士フィルムメディカル
- (35) 千葉エコー研究会 1名  
平成 27 年 11 月 23 日 千葉エコー研究会
- (36) マンモグラフィ撮影技術講習会 1名  
平成 27 年 12 月 19-20 日  
静岡県マンモグラフィ向上委員会 NPO 法人日本乳がん検診精度管理中央機構
- (37) 医療安全推進責任者研修会「医療事故調査制度について」 1名  
平成 28 年 1 月 19 日 取手市医師会

- (38) 第 98 回茨城県早期胃・大腸癌研究会（茨城県胃癌従事者講習会） 2 名  
平成 28 年 2 月 5 日 茨城県医師会
- (39) 肝臓市民フォーラム（市民公開講座） 1 名  
平成 28 年 2 月 6 日 取手市医師会
- (40) フクダ電子ハンズオンセミナー 1 名  
平成 28 年 2 月 14 日 フクダ電子
- (41) 平成 27 年度第 2 回 MR 技術研究会 2 名  
平成 28 年 2 月 19 日 茨城県診療放射線技師会
- (42) 取手消化器研究会 2 名  
平成 28 年 2 月 24 日 取手消化器研究会
- (43) 肺がん従事者講習会 3 名  
平成 28 年 2 月 26 日 取手市医師会
- (44) 第 28 回胃部読影委員会 4 名  
平成 27 年 2 月 29 日 取手市医師会
- (45) 茨城県診療放射線技師学術大会 2 名  
平成 28 年 3 月 6 日 茨城県診療放射線技師会
- (46) 第 20 回乳がん画像診断委員会 3 名  
平成 28 年 3 月 7 日 取手市医師会
- (47) 第 4 回乳腺研修会 1 名  
平成 28 年 3 月 18 日 日本診療放射線技師会
- (48) 日本超音波学会関東甲信越地方大会 1 名  
平成 28 年 3 月 20 日 日本超音波医学会
- (49) 第 24 回胸部読影委員会 4 名  
平成 28 年 3 月 24 日 取手市医師会

#### 【DMAT】

- (1) 航空搬送拠点臨時医療施設実施訓練 平成 27 年 5 月 29 日
- (2) 第 1 回茨城 DMAT ロジスチック研修会 平成 27 年 7 月 17 日
- (3) 平成 27 年度総合防災訓練における広域医療搬送訓練 平成 27 年 9 月 1 日
- (4) DMAT 関東ブロック訓練 平成 28 年 1 月 30-31 日
- (5) 茨城県 NBC 災害・テロ対策研修会 平成 28 年 3 月 26 日

#### 6. 学生実習実績（平成 27 年度）

なし

# 臨床検査科

## 1. スタッフ紹介

臨床検査技師 常勤 14 名（産休育休 3 名） 非常勤 5 名（産休育休 1 名）  
集荷業務担当 非常勤 3 名  
事務 非常勤 1 名

## 2. 業務内容

### 検査種類

検体検査：生化学検査、尿一般検査、血液学検査、血清学検査、輸血検査、血液ガス検査、細胞診検査、迅速病理検査等

生理機能検査：心電図検査、負荷心電図検査、ホルター心電図検査、心エコー検査、乳腺エコー検査、脳波検査、誘発筋電図検査、眼底検査等

### 業務内容

外来・入院の検体検査及び生理機能検査

外来採血

医師会会員医療機関受託検査業務

健診科依頼の検体検査及び生理機能検査

日曜祭日の検査業務

夜間呼出待機体制

院内各委員会への参加

精度管理：内部精度管理・外部精度管理（日本医師会、日本臨床検査技師会、茨城臨床検査技師会、全日本労働衛生団体連合会、日本総合健診医学会）

## 3. 平成 27 年度実績

### 検体検査（年間件数）

	年間件数		年間件数
生化学検査	610,855	病理検査	978
血液検査	142,135	細胞診検査	13,904
生理検査	29,023	採血数	27,248
血液ガス	631	細菌検査	4,434
尿・一般検査	103,794	特殊検査	16,397
血清検査	39,765		

生理機能検査（年間件数）

心エコー	1,124	スパイロ	377
ホルター	407	トレッドミル	36
心電図	3,642	脳波	26
眼底	20	伝速	117
聴力	23	ABI	168

ドック・検診（年間件数）

	ドック	検診
体側	3,975	7,942
スパイロ	3,808	271
視力	3,965	7,778
聴力	3,967	4,311
眼圧	3,957	64
眼底	3,957	571
心電図	3,975	7,074

4. 今後の抱負・展望

質の向上、業務改善、拡大を行いたい。  
健診科との協力体制のもとに業務の拡大を行いたい。

5. 業績

<学会・研修会等の参加>

平成 27 年度 全国医師会共同利用施設 施設長検査健診管理者連絡協議会 並びに第 42 回  
検査健診管理者研修会 2 名参加

平成 27 年 7 月 17 日、18 日

生理機能検査研修会

平成 27 年 6 月 27 日 2 名参加

臨床心電図セミナー

平成 27 年 12 月 19 日 2 名参加

6. 学生実習実績等 なし



# リハビリテーション科

## 1. 業務紹介

- (1) 入院患者（一般病棟・療養病棟）へのリハビリテーション提供
- (2) 外来患者へのリハビリテーション提供
- (3) 訪問リハビリテーション（訪問看護ステーションへの派遣）実施
- (4) 患者指導（退院前訪問指導、退院時リハビリ指導）
- (5) 他職種連携
  - カンファレンス開催：1回／週 内科・整形外科・がん患者・外科申し送り・療養病棟 療養病棟食事カンファ
  - 回診同行：整形外科（毎日）、外科（1回／週）、摂食回診（1回／週）
  - 介護保険サービス担当者会議参加（随時 担当者）
  - 在宅ネットワーク『いきいきネット』カンファレンス参加（随時 担当者）
  - 各種申し送り作成（転院先、介護サービス事業所）
- (6) 患者レクリエーション開催（1回／週、1時間 イベント4回／年）
- (7) 委員会参加：教育、医療安全、労働衛生、感染対策、NST 褥瘡、防災、医療の質向上
- (8) 教育・啓発
  - 糖尿病教室4回／年（運動に関するテーマを担当）
  - 養成校の実習受け入れ（6. 学生実習実績 に記載）
  - 高校生の1日リハビリ見学
  - 看護部（看護師・新人助手）移乗勉強会2回／年
- (9) 院外業務
  - 取手市機能回復訓練事業 理学療法士・作業療法士 計2名
  - 取手市介護認定審査会 理学療法士1名
  - 取手市障害者区分認定審査会 理学療法士1名
  - 利根町障害者区分認定審査会 理学療法士1名

## 2. スタッフ紹介

理学療法士（PT）	7名（1名：10月～、1名：2月～ 産休）
作業療法士（OT）	5名（時短：1名）
言語聴覚士（ST）	1名
助手	2名（非常勤：1名）

【取得資格】

3 学会合同呼吸療法認定士	3 名
糖尿病療養指導士	1 名
介護支援専門員	1 名
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士	1 名
レクリエーションリーダー	1 名

3. 平成 27 年度実績

(1) 診療科別対象数

実人数（複数回入院は 1 カウント）

内科	外科	整形外 科	循環器 科	リハビ リ科	脳神経 外科	神経内 科	呼吸器 科
264	215	327	51	16	6	1	51

(2) 療法単位数（20 分／単位 摂食 30 分／回）

単位（回）数

算定基準	実人数	PT	OT	ST	計
脳血管 I（廃用）	397	9,963	7,842	557	18,362
運動器 I	346	7,384	3,651		11,035
呼吸器 I	152	3,882	1,655		5,537
がん	90	2,515	2,860		5,375
摂食	136			1,118	1,118
合計	1,121	23,744	16,008	1,675	41,427
前年度比	66 ↑	1,292 ↓	1,693 ↑	8 ↓	393 ↑

早期（30 日以内）率＝早期加算単位数÷（脳血管＋運動器＋呼吸器）単位数×100＝41.7%

初期（14 日以内）率＝初期加算単位数÷（脳血管＋運動器＋呼吸器）単位数×100＝25.3%

単位数平均 PT.OT 16.2／人／日 ST 7.7／人／日

単位単価平均 PT.OT 2,305 円 ST 2,120 円

(3) 指導件数

退院時指導	358 件
退院前訪問指導	10 件

(4) 訪問リハビリ（訪問看護ステーション）件数

介護保険	188 件
医療保険	147 件
計	335 件

(5) その他書類作成件数

他院、施設、介護サービス事業所への申し送り 202 件

(6) レクリエーション

【レクリエーション】

39 回／年開催 参加者：13 名 場所：療養病棟・リハビリ室

【季節のイベント】

4 回／年 参加者：20～30 名 場所：リハビリ室

- ① 春の会～お花見弁当・三味線演奏会～（4 月 1 日）
- ② 観劇会～松山鏡～（6 月 3 日）
- ③ 秋の大運動会（9 月 30 日）
- ④ クリスマス会～リハビリ管弦楽団・患者様による演奏・コーラス～（12 月 16 日）

【レクリエーション風景】

すいか割り



お誕生日会



【季節のイベント風景】

① 春の会



② 観劇会



### ③ 運動会



### ④ クリスマス会



## 4. 今後の抱負・展望

来年度は地域包括ケア病棟開設に向けて、準備をしていきます。具体的には11月からリハビリ実績が必要となるため、患者のリハビリ必要度に合わせて人員配置をしていきます。その際急性期病棟のリハビリが手薄にならない様に、増員を図ります。

今後より一層、早期から自宅退院へ向けたアプローチや環境調整が必要となってきます。スタッフ教育はもちろんのこと、病棟スタッフとの連携を強化し、生活リハビリを実践していきたいと考えています。

## 5. 業績

### 【講演・講義】

#### (1) 松井弘子

取手市介護予防サポーター養成講座「高齢者の身体能力について」

平成27年11月6日 桑原集会所

#### (2) 柴田恵子

藤代学園「高齢期を元気に生きる知恵」

平成27年2月25日 藤代公民館

### 【研修】 \*出張研修のみ掲載

#### (1) PT 1名

糖尿病療養指導士更新研修

平成27年12月19日・20日

#### (2) OT 1名

手指関節の機能解剖とその治療

平成28年1月16日

(3) OT 1名、PT 1名

新リンパ浮腫研修会

平成28年2月6-7日、3月12-13日

下肢の拘縮に対する評価と運動療法

平成28年3月13日

6. 学生実習実績 \*臨床実習：7週、見学実習：1日～1週

(1) 茨城県立医療大学

臨床実習：PT科4年 1名

見学実習：OT科1年 1名

(2) 千葉・柏リハビリテーション学院

見学実習：PT科3年 2名

# 栄 養 科

## 1. 業務紹介

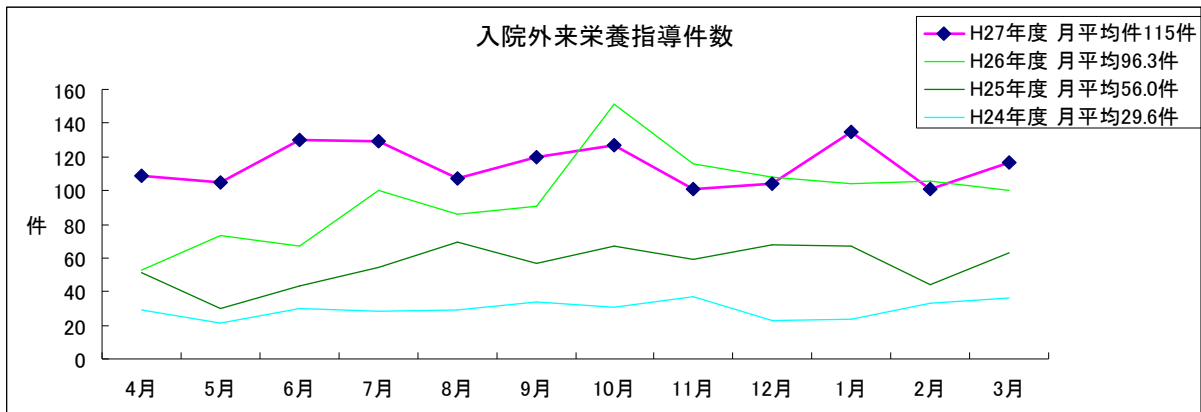
- (1) 入院患者の栄養管理および治療食の提供
- (2) 入院外来患者の栄養相談
- (3) 栄養サポート褥瘡対策チームの活動
- (4) 糖尿病透析予防チームの活動
- (5) 糖尿病教室運営にかかわる業務
- (6) 特定保健指導
- (7) 市町村への出張栄養相談、糖尿病教室講師等
- (8) 院内各種委員会への参加

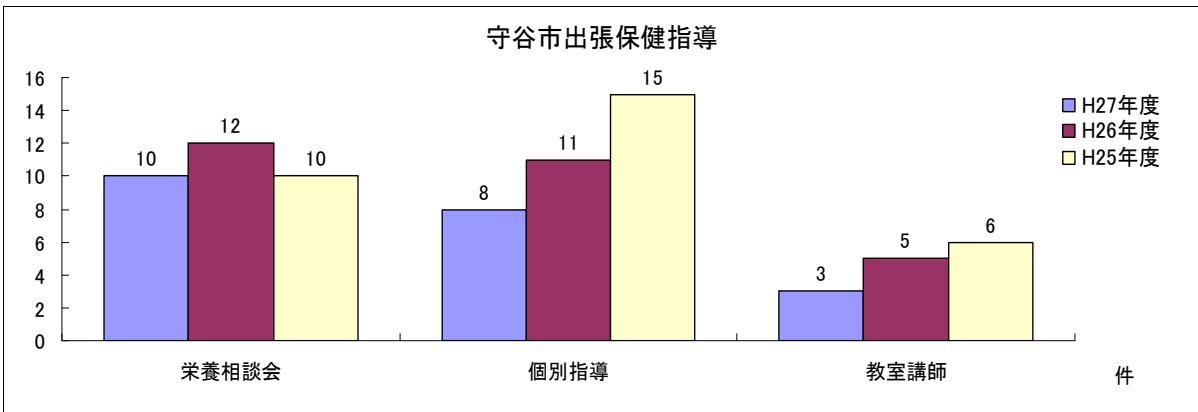
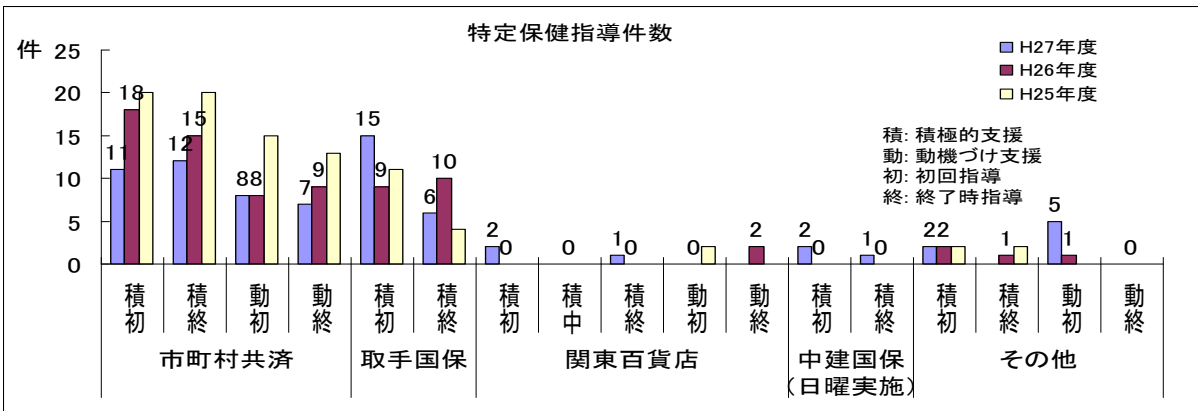
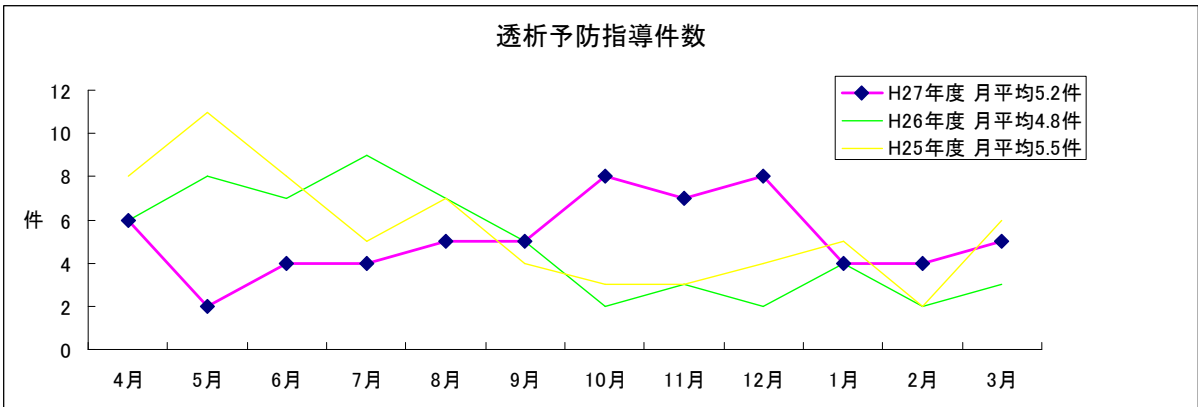
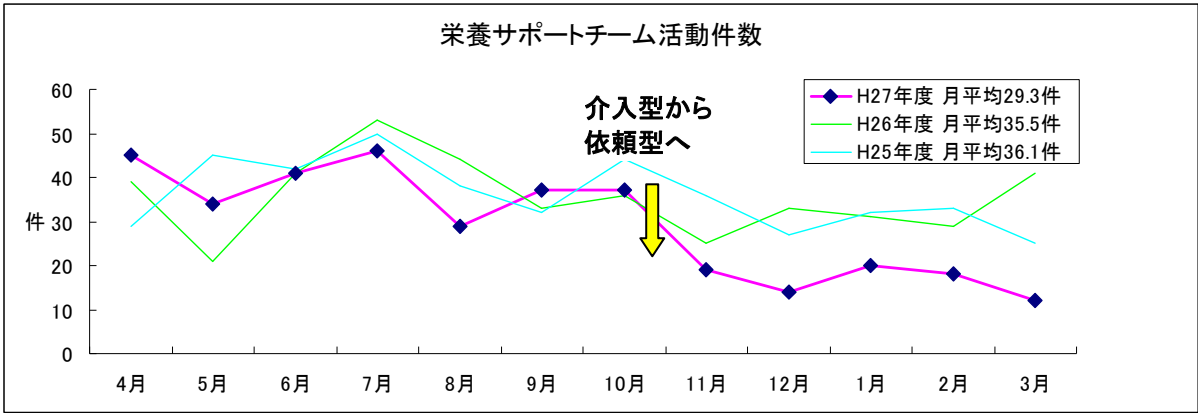
N S T 褥瘡対策委員会 ・ 栄養委員会 ・ 感染対策委員会  
医療の質向上委員会 ・ 災害対策委員会

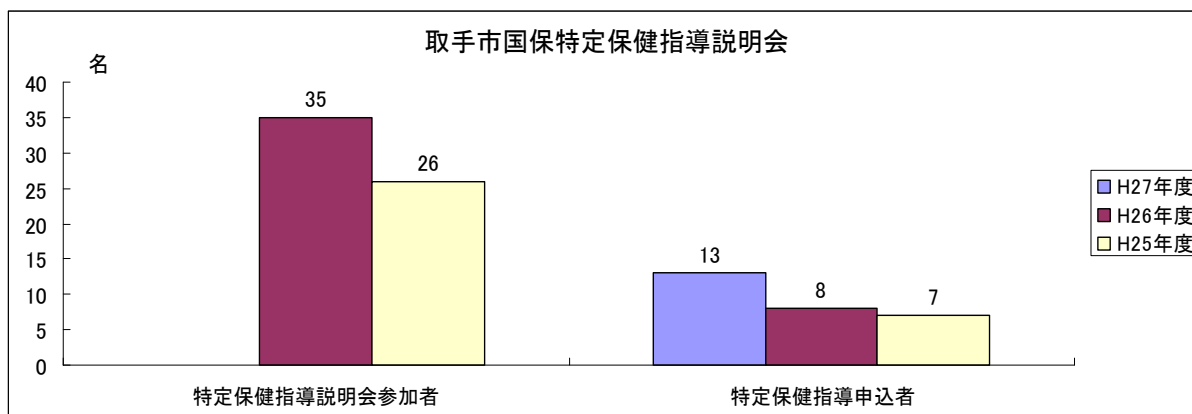
## 2. スタッフ紹介

管理栄養士	4名
糖尿病療養指導士	3名
栄養サポートチーム担当者研修終了者	4名
人間ドック健診情報管理指導士	2名

## 3. 平成 27 年度実績







### 平成 27 年度糖尿病教室開催状況

開催日	テーマ	担当
5/12(火)	何が悪いの？糖尿病	医師
5/29(金)	糖尿病お料理教室～夏間近 そうめん大好きアレンジレシピ～	管理栄養士
6/13(土)	運動で血糖値は下がるの？～運動療法の効果～	理学療法士
6/27(土)	知っておきたい薬の知識～飲み薬のいろいろ～	薬剤師
7/2(木)	タバコが動脈硬化を悪くする	看護師
7/23(木)	糖尿病の知識の確認～臨床検査技師の立場から～	臨床検査技師
8/4(火)	医師はここを診ています！～糖尿病患者さんの受診経過～	医師
8/29(土)	ちょっと待てちょっと待てそのお菓子♪～食べたくなったその時に～	管理栄養士
9/10(木)	転ばぬ先の体力づくり～Let's 転倒チェック～	理学療法士
9/24(木)	糖尿病で骨が減るの？！	看護師
10/6(火)	“メタボ”と糖尿病	医師
10/17(土)	糖尿病の知識の確認 ～臨床検査技師の立場から～	臨床検査技師
11/12(木)	膝が痛いと言えないの？～Let's ロコモチェック～	理学療法士
11/27(金)	病院食の人気メニューを食べてみよう！	管理栄養士
12/3(木)	安全なお風呂の入り方	看護師
12/15(火)	知っておきたい薬の知識～注射薬のいろいろ～	薬剤師
1/16(土)	糖尿病と認知症～もの忘れ？？チェックしてみましよう！～	理学療法士
1/22(金)	それって本当に体にいいの？	管理栄養士
2/4(木)	糖尿病 Q&A (検査について)	臨床検査技師
2/23(火)	なぜ下がらないHbA1c！	医師
3/8(火)	足のお手入れはどのようにしていますか？	看護師
3/29(火)	知っておきたい薬の知識～糖尿病治療薬のいろいろ～	薬剤師



#### 4. 今後の抱負・展望

- (1) 入院外来栄養指導の充実
- (2) 院内約束食事箋改定
- (3) 在宅訪問栄養指導の実施

#### 5. 業績

##### 【講義】

- (1) 小島 麻記子  
第1回 及川医院食事療法教室 血糖コントロールは食生活から  
平成27年5月14日 三山市民センター
- (2) 朝岡 絃子  
守谷保健センター糖尿病教室 「自分はどのくらい食べられるの？計算してみよう」  
平成27年11月18日 守谷保健センター
- (3) 朝岡 絃子  
守谷保健センター糖尿病教室 「量・バランス・タイミング献立を立ててみましょう」  
平成27年12月9日 守谷保健センター
- (4) 朝岡 絃子  
守谷保健センター糖尿病教室  
「調理実習」鯨の南蛮漬け 柿とこんにゃくの白和え 葱ともやしの味噌汁 焼きりんご  
平成27年12月16日 守谷保健センター
- (5) 朝岡 絃子  
守谷保健センター糖尿病教室 「ヘルスメイク教室 太りにくい食べ方を知ろう！」  
平成27年12月1日 守谷保健センター
- (6) 小島 麻記子  
もりやシニアカレッジ2015 病気の芽を摘む食生活  
平成28年1月28日 守谷市中央公民館
- (7) 小島 麻記子  
守谷市食育クラブ 食からはじまる健康づくり  
「考えようヘルシーレシピ 作ってみようヘルシーメニュー」 その①  
平成28年3月17日 守谷市高野公民館
- (8) 小島 麻記子  
在宅事例検討会 「食べる」を支える介護のヒント  
平成28年3月17日 取手医師会病院 会議室

## 【説明会】

「特定保健指導～積極的支援とは～」

平成 27 年 8 月 18 日	福祉交流センター	朝岡 絃子
平成 27 年 8 月 24 日	藤代保健センター	秋葉 美佳
平成 27 年 8 月 27 日	(旧) 取手市保健センター	朝岡 絃子
平成 27 年 9 月 10 日	井野公民館	朝岡 絃子
平成 27 年 11 月 20 日	ウェルネスプラザ	朝岡 絃子
平成 27 年 12 月 7 日	戸頭公民館	秋葉 美佳
平成 27 年 12 月 16 日	ウェルネスプラザ	秋葉 美佳
平成 27 年 12 月 25 日	(旧) 藤代保健センター	秋葉 美佳

## 【研修・講習会】

- (1) 食事摂取基準改定のポイントと保健指導への活用  
平成 27 年 4 月 11 日 神保町
- (2) 平成 27 年度竜ヶ崎保健所管内集団給食施設管理者研修会  
平成 27 年 5 月 25 日 取手福祉会館
- (3) 平成 27 年度 東京大学医学部附属病院 NST 専門療法士研修  
平成 27 年 6 月 22 日～26 日 東京大学医学部附属病院
- (4) フードシステムソリューション 食品工場改善設備展  
平成 27 年 10 月 1 日 東京ビックサイト
- (5) どうしたらよい？栄養部門の組織強化と高齢経腸栄養患者の栄養管理  
平成 27 年 10 月 10 日 つくば国際会議場
- (6) 第 13 回日本臨床栄養協会学術大会  
平成 27 年 10 月 2 日～4 日 都市センターホテル
- (7) 褥瘡の予防と治療における栄養管理、必要な栄養素 栄養士会ブロック研修会  
平成 27 年 10 月 17 日 筑波大学病院
- (8) 口から食べる幸せを考える会  
平成 27 年 11 月 14 日 日本教育会館
- (9) 第 25 回味の素 K K 「食と健康セミナー」  
高齢期における栄養対策～在宅訪問栄養食事指導を通して～  
平成 28 年 3 月 5 日 日経ホール
- (10) 平成 28 年度診療報酬改定の経緯及び平成 30 年医療介護同時改定に向けて  
茨城県栄養士会医療専門部会  
平成 28 年 3 月 21 日 茨城県開発公社

# 薬 剤 科

## 1. 業務紹介

### (1) 調剤業務

医薬品を医師の処方箋に基づき特定の分量・用法に調剤する一方、量・服用方法・飲み合わせなどを確認(監査)し、必要のある方には薬に関する指導も行っています。入院中の患者様への、内服薬の一包化や注射薬のセットなども行っています。また、清潔な環境のもと、中心静脈栄養剤や抗がん剤の無菌的な調製を行っています。

### (2) 病棟薬剤業務

平成 26 年度より各病棟に専任薬剤師を配置し、病棟における薬剤業務の強化に努めています。

入院時の初回面談や持参薬の鑑別、入院目的、治療方針から得られた情報を基に薬物治療について検討し、持参薬の評価や処方提案、医薬品の管理方法などを医師や看護師と協議しています。

医薬品の使用方法、注意事項などの説明をはじめ効果や副作用のチェックなどを行っており、入院から退院まで患者様に合った薬物治療を目的に活動しています。

### (3) 薬剤管理指導業務

病棟薬剤師が入院患者様のベッドサイドへ伺い、薬の説明を行っています。また薬の効果、副作用のチェックなどを行い、医師、看護師と協議し、薬の適正使用のため活動しています。

### (4) D I (医薬品情報)業務

医師など他のスタッフからの医薬品に関する問い合わせ等に、迅速に対応するために医薬品に関する情報を収集して管理しています。そして、それらの情報を理解しやすい形にして他の医療スタッフに提供しています。

### (5) 医薬品管理業務

医薬品を良い状態で使用できるよう管理する一方、法律に基づいた管理を行っています。院内各部署への医薬品の供給や管理も行い、院内における医薬品の適正な管理に努めています。

(6) 院内各種委員会への参加

薬の専門家としてそれぞれの委員会へ参加し、薬理学的な面から提言しています。

【主な委員会】薬事委員会、医療安全管理委員会、感染対策委員会、化学療法委員会、NST(栄養サポートチーム)・褥瘡委員会など

(7) 教育・研究

院内における糖尿病教室や新人職員への教育などを行っています。講演会、研修会への参加や各種認定資格の取得など、薬学・医学に関する知識の吸収に努めています。

2. スタッフ紹介

薬剤師・・・常勤6名、非常勤1名

助手・・・・・・非常勤1名

3. 平成27年度実績

(1) 調剤業務

院内について、1日平均処方せん枚数は、外来7.5枚、入院54.4枚で、前年に比べ外来は2.5枚増加、入院は2.3枚減少しました。

院外処方せんについて、1日平均発行枚数は121.3枚、院外処方せん発行率は94.3%で発行枚数は3.6枚、発行率は2%減少となりました。

院外処方せんに関する保険薬局からの疑義照会件数は、月当たり167.5件で2.8件増加しました。

1日平均処方せん枚数(平日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
外来(枚)	5.3	8.4	3.8	5.0	4.3	8.5	5.1	5.8	8.6	14.7	12.3	7.7	7.5
入院(枚)	59.4	53.1	49.6	55.0	54.2	54.8	57.0	51.2	55.1	56.4	50.1	56.9	54.4

院外処方せん発行状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
院外処方箋発行率(%)	95.6	93.2	96.8	95.9	96.1	93.3	93.6	95.3	93.8	90.2	91.6	94.3	94.3
処方箋発行枚数(枚/日)	114.4	115.1	113.6	117.1	107.0	117.9	125.0	117.4	129.5	135.4	134.9	128.1	121.3
薬局からの疑義照会(件/月)	166	155	162	175	145	187	207	175	165	146	165	162	167.5

## (2) 薬剤管理指導業務

すべての病棟で実施しており、必要な患者様に服薬指導を行っています。

服薬指導件数は、年合計：5893 件で、前年度に比べ、451 件 (8.3%) 増加しました。

### 病棟別服薬指導実施状況

病棟		東 3				東 4					南 4	計
		整形外 科	外科	内科	呼吸器 科	内科	循環器 科	外科	整形外 科	呼吸器 科	内科	
服薬 指導 (件)	年合計	855	1724	97	9	1253	339	238	2	245	1131	5893
	月平均	71.3	143.7	8.1	0.8	104.4	28.3	19.3	0.2	20.4	94.3	491
注射薬 調製 (件)	年合計	1365	6203	225	27	8156	1577	1178	5	1656	7650	28042
	月平均	113.8	516.9	18.8	2.3	679.7	131.4	98.2	0.4	138.0	637.5	2336.8

## (3) 注射薬調製件数

抗がん剤、TPN 製剤については、薬剤師が無菌調剤室にて混合調製を行っています。

件数は、TPN 製剤 年合計：2892 件で前年に比べ 447 件増加、抗がん剤 年合計：514 件で、42 件増加しました。

### 無菌製剤処理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
TPN 製剤(件)	242	220	230	231	165	181	179	267	392	353	260	172	2892	240.0
抗がん剤 (件)	48	39	47	50	45	55	42	40	39	43	34	32	514	42.8
合計(件)	290	259	277	281	210	236	221	307	431	396	294	204	3406	283.8

#### 4. 今後の抱負・展望

##### (1) 病棟薬剤業務の強化

平成 26 年度より「病棟薬剤業務実施加算」を実施いたしました。

薬剤師が病棟に週 20 時間以上常駐し、持参薬管理、配薬支援、医薬品に係る情報提供等を行います。来年度も医療安全の向上、医師・看護師の業務軽減を図れるよう更に強化していきます。

##### (2) チーム医療への参画

NST、ICT 等のラウンドやカンファレンスに積極的に参加し、チーム医療に貢献できるよう努めます。

##### (3) 薬剤師の専門性の向上

勉強会の充実、研修会への積極的な参加により、専門性の高い薬剤師の育成に努めます。

#### 5. 業績集

##### 【研修・講習会】

4月13日	つくばC型肝炎治療セミナー	オークラフロンティアつくば	1名
5月26日	取手医師会学術講演会	取手医師会病院	1名
6月21日	日本薬学会関東支部 薬剤師向け講演会	つくば国際会議場	1名
6月25日	第21回がん治療研修会	アミュゼ柏	1名
8月2日	第45回関東ブロック学術大会	つくば国際会議場	5名
10月22日	竜ヶ崎薬剤師研修会	取手福社会館	1名
10月29日	第14回茨城皮膚セミナー	オークラフロンティアつくば	1名
11月15日	平成27年度 医薬品安全管理責任者等講習会		1名
1月27日	循環器と脳の講演会	つくば国際会議場	1名
2月12日	第6回取手・守谷・北相馬緩和ケア研究会	取手医師会病院	1名

#### 6. 学生実習実績(平成 27 年度)

平成 23 年度より、薬学部 6 年制の長期実務実習(11 週間)を実施しています。

平成 27 年度は、実習生の受け入れはありませんでした。



# 診 療 支 援 部 報 告





# システム・病歴室

## 1. 業務紹介

2009年6月	オーダーリング稼働・看護支援システム（ナース物語） リハビリ支援システム（リハ物語）
2010年1月25日	PACS稼働
2011年1月24日	電子カルテ稼働
2015年3月22日	医事システム バージョンアップ

ヘルプデスク、操作指導、システム管理・障害対応、端末管理・故障対応、統計業務、病床利用率統計、平均在院日数統計、中央病歴管理業務、NCD登録、地域がん登録、地域支援紹介率・逆紹介率

## 2. スタッフ紹介

3名（診療情報管理士2名）

## 3. 平成27年度実績

茨城県地域がん登録届出

政府統計 病院報告データ処理（患者票4月～3月／従事者票年1回）

地域支援紹介率・逆紹介率の算出

病床利用率の算出

平均在院日数の算出

NCD登録

## 4. 今後の抱負・展望

給食システム バージョンアップに伴う更新・入れ替え(平成28年度8月予定)

画像システム バージョンアップに伴う更新・入れ替え(予定)

電子カルテ バージョンアップに伴う更新・入れ替え

健診システム バージョンアップに伴う更新・入れ替え

各システム導入稼働から、7年以上が経過しデータ量も多くなっています。使用する際もデータ量が多いため稼働時よりスムーズな運用が難しくなっているのも事実なので、業務にてストレスなく使用してもらうため管理していきたいと思います。

7年使用し、機能や使い方としての要望や操作方法の声が多く寄せられています。今後のバージョンアップで取り入れることが出来るよう、調整していければと思います。

# 医療連携室

## 1. スタッフ

常勤	4名
非常勤	2名

## 2. 業務内容

紹介患者受付窓口  
紹介患者逆紹介患者の把握・管理  
診療情報提供書・報告書の把握・管理  
紹介患者診察・入院・検査などの予約・調整  
紹介元医療機関への結果報告・管理  
他医療機関との連携・調整  
セカンドオピニオン予約調整

## 3. 検査依頼内容

放射線検査（MRI CT 腹部超音波 胃透視 注腸 骨密度 X-P）  
生理検査（心臓超音波 ホルター心電図 呼吸機能 脳波 神経伝導速度）  
内視鏡検査（胃内視鏡検査・大腸内視鏡検査）  
栄養指導

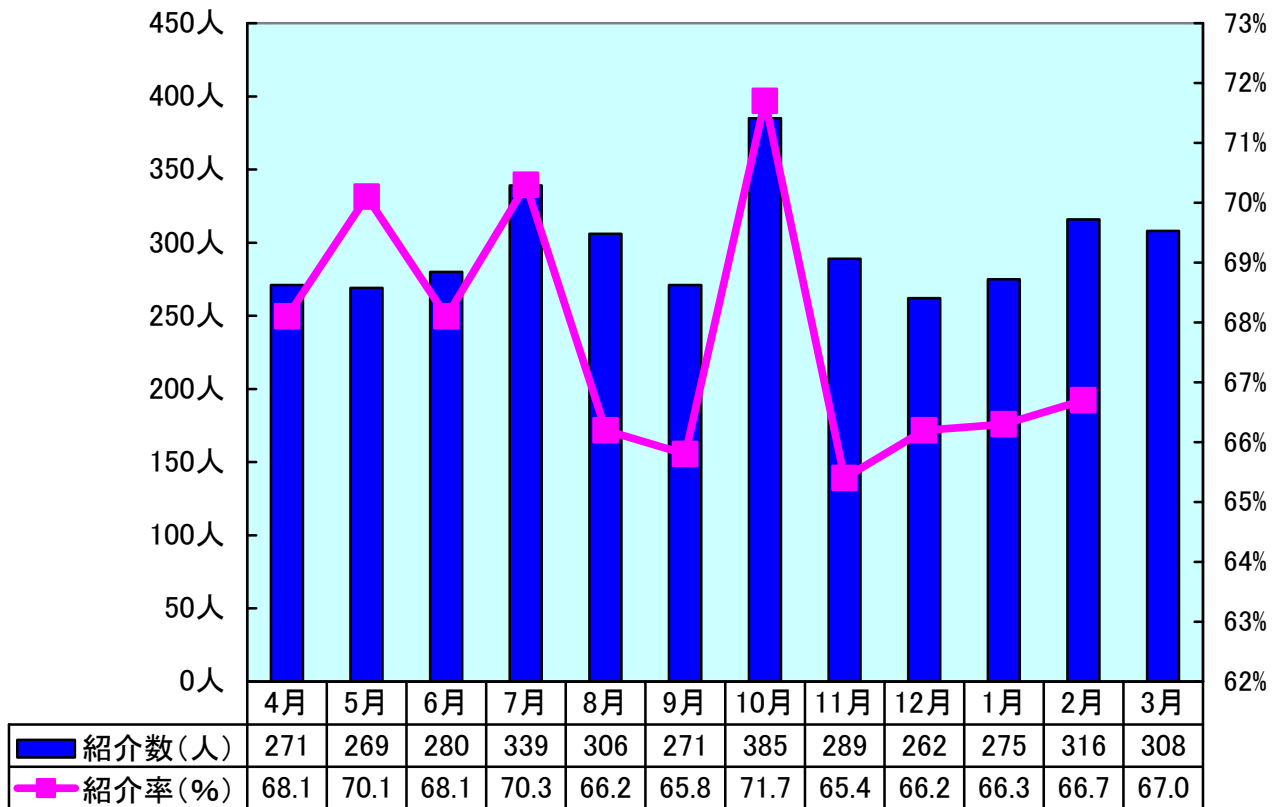
## 4. 広報業務

連携室便りの発行

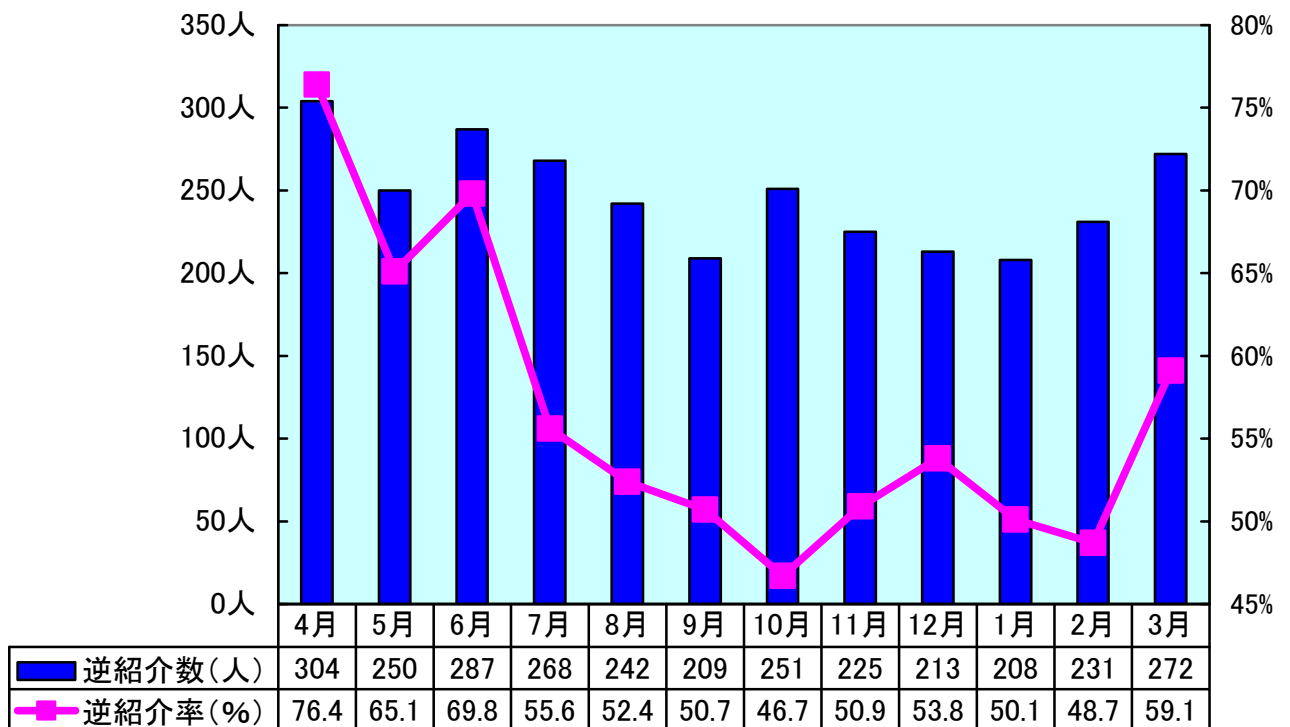
## 5. 今後の展望

医療連携室では、地域支援病院の窓口として地域の先生方や、医療機関との連携を図り、患者さまにより良い医療が提供できるように、連携・調整を強化し密な医療連携を目指します。

【紹介率】



【逆紹介率】



# 安全管理室

## 1. 業務紹介

安全管理室は当院では診療支援部に属し、ME機器の日常・定期点検、故障時の対応、操作・設定等の業務を行い、他のコメディカルと共にチーム医療に貢献し、病院理念のHEARTを提供できるよう努めています。

## 2. スタッフ紹介

臨床工学技士 2名（臨床検査技師兼1）

## 3. 平成27年度の実績

医療機器の管理（日常・定期点検等）や操作設定（ペースメーカー・フロートラック等）、ME機器の取扱説明、安全使用の勉強会等、機器の安全、安心な使用に努めてきました。

輸液ポンプ貸出件数 653 件、シリンジ貸出件数 99 件、呼吸器貸出件数 34 件  
輸液ポンプ定期点検 88 件、シリンジポンプ定期点検 61 件、呼吸器定期点検 34 件  
除細動定期点検 24 件

ペースメーカー15件（新規12 交換3）、ペースメーカー外来年4回（3, 6, 9, 12月）  
フロートラック5件 腹水ろ過濃縮再静注法19件

他、機器の点検、調整、修理

ME機器の説明・勉強会3回

## 4. 今後の抱負・展望

医療の進歩に伴い、ME機器の使用頻度は増える傾向にあり、安全安心使用はますます重要性を帯びてきます。適切な機器の管理、運用を充実させて行きたいと思えます。また新しい機器の使用、導入や更新等も検討されます。これらにおいても適時、取り扱いや注意点等の勉強会を開催して行きたいと思えます。

## 5. 研修会

平成27年11月12～14日 12月10～12日

医療安全管理者養成研修会

東京都江東区青梅2-4-32 タイム24ビル

# 医師事務補助室

## 1. 業務紹介

医師事務補助室は当院では診療支援部に属し、医師が行う業務のうち、事務的業務を支援し少しでも医師の負担を軽減し診察に専念できる環境を整えられるよう補助しています。

主に医療文書の文書作成補助、外来診察に同席し代行入力、カンファレンスに参加し記録入力を医師の指示のもと行っています。又、病棟にも1名ずつ配置し、円滑に業務が進められるよう

医師と看護師とのコミュニケーションをとりながら協力体制を整えています。

### 【文書作成】

病院様式の診断書の作成

保険会社様式の診断書の作成

身障者・労災等の行政様式の診断書の作成

介護保険における医師の意見書の作成

臨床調査個人票の作成

後遺症診断書の作成

診療情報提供書の作成

精密検査結果通知書の作成（胃癌、乳癌、大腸癌、肺癌）

健康診断実施報告書の作成（じん肺、アスベスト）

手術・治療追跡調査の作成

退院時要約の作成

診療情報確認票の作成

### 【代行入力】

診療記録の入力

病棟診療行為の入力

入院診療録の入力

入院診療計画書の作成

処方箋の作成

検査、処置の指示入力

## 2. スタッフ紹介

医師事務補助者	7名（各病棟1名ずつ配置）
補助体制加算施設基準	25対1

## 3. 平成27年度の実績

診断書等作成件数	1,795件
----------	--------

## 4. 今後の抱負

円滑に業務が進められるよう医師とのコミュニケーションをとりながら協力体制を整え、  
今後は医療の質の向上や患者サービスの改善に繋がることを目標としていきます。



# 医療相談室

## 1. 業務紹介

医療相談室が行う業務は、受療受診相談や入院により生じる心理社会的問題・経済的問題の相談などがあります。退院にあたり福祉制度の案内・家族問題の相談・苦情対応など多岐にわたっています。また地域行政機関や医療・介護事業所との連絡調整も業務の一つです。

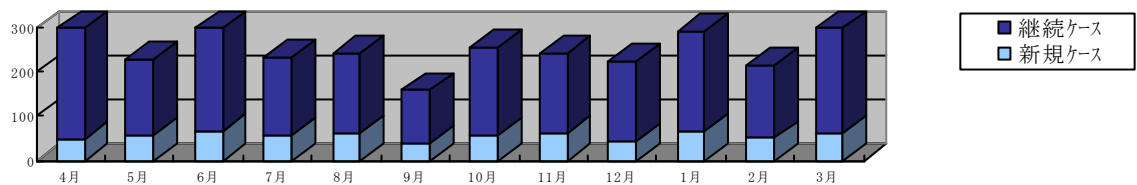
## 2. スタッフ紹介

医療ソーシャルワーカー 3名（社会福祉士）

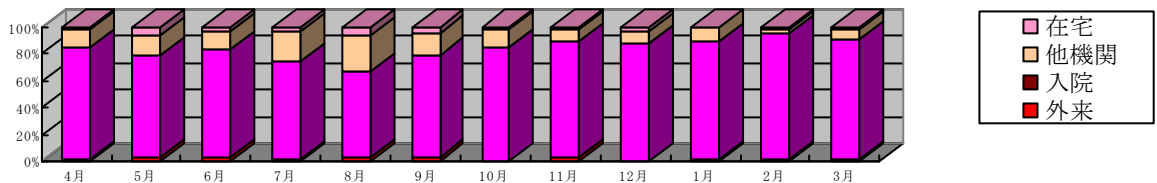
## 3. 平成 26 年度実績

相談介入件数の合計 3,122 件  
総相談ケースの合計 5,158 件

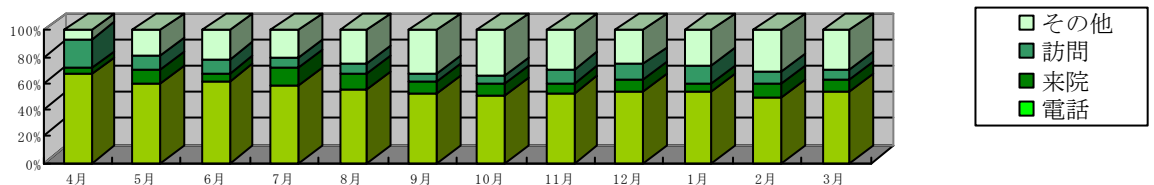
(1) 相談件数（相談介入件数の内、新規ケース数と継続ケース数を表示）



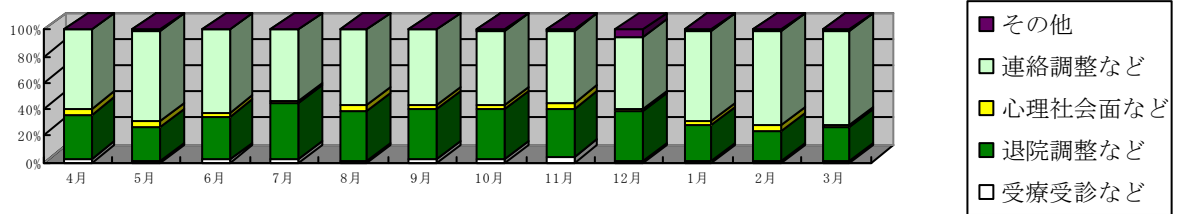
(2) 相談経路（相談介入件数の内、相談経路の割合を表示）



(3) 介入方法（相談介入件の内、介入方法の割合を表示）



(4) 相談内容（総相談ケースの内、相談内容の割合を表示）



4. 今後の抱負・展望

退院調整を進めていくにあたり、患者・家族を中心として地域の関係機関と連携を行い、他職種カンファレンスを実現しています。今後は、退院調整の手順などのシステムの構築を実現していきます。

5. 業績

なし

6. 学生実習実績

なし

# 医 事 課

## 1. 業務紹介

入院・外来窓口業務  
入院・外来会計業務  
レセプト請求業務  
その他医事業務関連  
未収金対策業務  
統計業務  
外来クラーク  
病棟クラーク

## 2. スタッフ人数

22名（平成28年3月31日現在）

## 3. 平成27年度実績

別紙参照

## 4. 今後の抱負・展望

患者様の待ち時間を短縮できるよう全員が意識していきます。

役割分担だけに囚われることなく、全員が病院窓口の顔であるという自覚を常に持ち、窓口業務を何よりも優先します。患者様を受付窓口でお待たせすることがないよう、積極的な声かけを徹底していきます。

日々、変遷する診療報酬の情報を貪欲に収集し、病院収入につながるよう、勉強会を定期的で開催していきます。また従来の算定方法、ルーチンワークに囚われることなく、全員が正しく、新しい情報を共有し、課としての知識、経験を高めていきます。親切・丁寧な対応をこころがけ、患者様の不安を少しでも取り除けるような対応をこころがけていきます。

5. 学生実習実績

筑波研究学園専門学校

5名

学校法人 大原学園

1名

【平成27年度病棟別入院人数】

※稼働率目標・・・95%

東3F														
稼働病床数 (許可病床数58 床)	58床													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
稼働率 (%)	73.7	72.1	75.6	81.5	77.3	77.1	81.5	85.2	81.4	85.5	84.9	77.4		79.4
平均患者数 (人)	42.7	41.8	43.8	47.3	44.8	44.7	47.3	49.4	47.2	49.6	49.2	44.9		46.1
延患者数 (人)	1,282	1,297	1,315	1,465	1,390	1,341	1,466	1,482	1,463	1,538	1,428	1,391	16,858	1,404.8
平均在院日数 (日)	12.9	15.1	12.9	14.1	13.7	13.0	12.8	13.7	14.5	13.3	12.3	12.2		13.4

東4F														
稼働病床数 (許可病床数57 床)	57床													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
稼働率 (%)	81.1	85.8	81.6	75.0	92.1	94.6	93.7	81.4	84.7	89.2	87.8	90.5		86.5
平均患者数 (人)	46.2	48.9	46.5	42.8	52.5	53.9	53.4	46.4	48.3	50.8	50.0	51.6		49.3
延患者数 (人)	1,386	1,516	1,395	1,326	1,628	1,617	1,656	1,392	1,497	1,576	1,451	1,600	18,040	1,503.3
平均在院日数 (日)	22.5	24.9	23.6	20.2	21.3	27.6	25.9	26.5	27.5	22.2	26.1	25.0		24.4

南 4 F														
稼働病床数 (許可病床数 50 床)	50 床													
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
稼働率 (%)	95.4	95.5	90.3	88.4	88.5	95.1	87.8	87.9	91.7	88.9	89.0	90.6		90.8
平均患者数 (人)	47.7	47.7	45.1	44.2	44.3	47.5	43.9	43.9	45.9	44.5	44.5	45.3		45.4
延患者数 (人)	1,431	1,480	1,354	1,370	1,372	1,426	1,361	1,318	1,422	1,378	1,291	1,405	16,608	1,384.0
平均在院日数 (日)	102.2	134.5	129.0	114.2	94.6	103.2	100.8	146.4	149.7	114.8	89.0	96.9		114.6

【平成 27 年度外来科別人数】

内科														
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
実患者数 (人)	1,292	1,164	1,317	1,375	1,282	920	1,535	1,358	1,475	1,359	1,417	1,401	15,895	1,325
延患者数 (人)	1,721	1,561	1,807	1,893	1,813	1,159	2,130	1,875	1,992	1,803	1,864	1,952	21,570	1,798

外科														
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
実患者数 (人)	561	555	552	604	581	409	681	617	580	584	589	559	6,872	573
延患者数 (人)	978	955	937	1,015	1,040	630	1,176	1,044	997	1,011	973	971	11,727	977

循環器科														
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
実患者数 (人)	301	298	308	325	278	281	343	319	333	375	287	364	3,812	318
延患者数 (人)	454	415	435	464	386	377	515	483	514	535	414	570	5,562	464

整形外科														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実患者数 (人)	511	532	549	527	547	301	585	542	488	524	601	589	6,296	525
延患者数 (人)	896	882	944	882	887	479	1,002	975	912	896	1,038	1,102	10,895	908

形成外科														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実患者数 (人)	16	20	20	22	15	2	12	16	15	17	14	17	186	16
延患者数 (人)	25	28	26	28	20	2	22	26	27	24	30	26	284	24

神経内科														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実患者数 (人)	209	139	188	201	183	134	200	174	189	168	185	211	2,181	182
延患者数 (人)	254	187	240	272	247	163	271	223	239	212	241	260	2,809	234

呼吸器科														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実患者数 (人)	156	127	143	141	163	95	161	169	194	155	170	169	1,843	154
延患者数 (人)	224	177	218	194	240	124	236	260	276	205	232	239	2,625	219

脳神経外科														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実患者数 (人)	48	48	42	56	41	45	39	42	41	35	32	44	513	43
延患者数 (人)	102	85	93	109	93	66	66	69	71	74	59	80	967	81

膠原病リウマチ科														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実患者数 (人)	46	54	46	53	42	44	46	43	43	41	53	52	563	47
延患者数 (人)	59	75	59	67	54	49	64	55	59	57	70	79	747	62

禁煙外来														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実患者数 (人)	5	4	2	4	2	4	4	3	2	1	4	7	42	4
延患者数 (人)	5	8	2	6	3	4	6	3	2	1	6	10	56	5

依頼検査														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実患者数 (人)	133	117	130	139	106	68	118	98	89	86	87	98	1,269	106
延患者数 (人)	143	125	146	155	122	75	129	109	99	96	97	113	1,409	117

# 事 務 部 報 告





# 総務課

## 1. 業務紹介

総務課は、病院の人事、労務、福利厚生、広報（一部）、資材の購入、各種法定点検、行政機関の対応、イベントなどを担当しています。

また、取手市医師会事業に係る手続きや運営、研修会の開催なども含まれます。

直接の利益を生み出す部門ではありませんが、病院を多岐にわたり下支えする業務を行っています。

### 【人事部門】

採用に係る全ての業務。新卒・中途採用すべての採用に携わっています。応募者への連絡、面接セッティング、採用通知の連絡などさまざま。また、職員の給与等支払業務や健康管理・労務管理を行います。

### 【機器・物品の調達管理】

各部署から資材/機器/消耗品等の購入要望を処理しています。

### 【各申請書（報告書）作成・提出／行政機関の対応】

病院を運営する際に必要になる様々な許認可書類作成や各種報告書の提出を行います。また、行政の立入検査などに対応しています。

### 【その他】

就業規則管理、人事、労務、給与、資材の発注/払出、各種行政申請、各種法定点検（医療ガス設備点検、作業環境測定、手術室クリーン度調査等）、車両管理、郵便の仕分け、医師表示、新聞雑誌類の配布、救急車運行管理

### 【イベント】

不在者投票、避難訓練、花見、忘年会等

## 2. 総務課スタッフ

7名（男性4名、女性3名）うち医師会事務局1名

（防火管理者、労働衛生管理者、安全運転管理者、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者）

### 3. 今後の抱負

採用業務全般をおこない、明るく楽しい職場づくりを目指し日々邁進しています。

また、病院を運営する際に必要になる様々な申請手続きをおこない、病院運営の土台を構築し維持していきます。

総務がしっかりと土台を作らなければ、各部署は安心して業務を行うことができないのだという自負を持ち総務課職員は働いています。

# 経 理 課

## 1. 業務紹介

経理課は病院内での活動の成果を目に見える数字などに表す部署です。

病院経営を行っていく為に売上げを上げ、必要経費を支払った後に、どのくらい利益を得ているのかといった経営の成績や、どのくらい資金や設備を持っているのかといった財務状態を正確に把握する必要があります。

病院経営を適切に運営していく為に迅速で本質を捉えた正確な情報の収集と分析をしその判断材料となる重要なデータを作成・提供しています。

また、費用の請求や支払・帳簿入力、税務署等に提出する書類の作成など、お金に関わる動きを整理し、情報化する一連の作業を行っています。

月次/年次財務諸表作成

月次処理・・・月次部門損益集計、試算表作成、売掛金/買掛金の管理

決算処理・・・決算報告書、事業報告書作成、確定申告書、

法人税、消費税の申告および納付

## 2. スタッフ紹介

4名

## 3. 平成 27 年度実績

予算書、決算書の作成報告

## 4. 今後の抱負・展望

主体的に動く経理になることを目指し、業績に貢献できるような経営管理データ等を提供します。

経営の参謀役を果たし、他部署からの信頼を得られる課を目指します。

「働きがい」のある笑顔と活力に溢れた職場作りをします。

# 施設課

## 1. 業務紹介

### (1) 病院施設の維持管理

日常点検、業務(運転)点検記録  
医療ガス設備点検記録 (1日1回)  
ボイラー設備点検記録 (1日6回)  
井水ポンプ設備点検記録 (1日2回)  
地下燃料タンク内残量記録 (1日2回)  
医療廃棄物、一般ごみ回収 (1日7回)

### (2) 定期保守点検

自家用発電機点検  
エレベーター定期点検  
健診棟内空調機点検  
上記の他、各種定期点検自主点検 (ポンプなど)

### (3) 各部署からの依頼による修理・交換

備品や機器などの修理・給排水設備の修理 (蛍光灯や電球の交換など)

### (4) 法定検査

高圧受変電設備精密検査  
第一種圧力容器法定検査  
危険物製造所等定期点検検査  
消防設備点検  
飲料水貯水槽内点検清掃検査

## 2. 資格・免許等

二級ボイラー技士免許証  
危険物取扱者免状 (乙種4類)

## 3. 施設課メンバー

2名体制

設備年間保全予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
冷温水発生機(熱源機) (日立ビルシステム)		冷房 切替						暖房 切替					
健診棟エアコン (三菱電気ビルテクノサービス)		定期 点検						定期 点検					
ボイラー (日本サーモエナー)① (エムシーサービス)②		ST 2 実施①					オートクレーブ 実施②				ST 1 実施①		
エレベーター (日立ビルシステム)	年1回 点検、検査						2号機(健診棟) 検査	3、4号機(南棟) 検査			1号機(東棟) 検査		
高圧受変電設備 (多淵電気)	年1回 点検、検査		定期 検査										
地下タンク(東、南用) (油水分離)	年1回 点検、検査						清掃 点検						
危険物製造所等定期点検結果報告書 (取手消防本部)	年1回						地下タンク 清掃後提出						
病院一般立ち入り検査(監査) (龍ヶ崎保健所)	年1回						10月8日実施						
消防設備 (常陽メンテナンス)	年2回 点検						総合 点検					外観機能 点検	
自動ドア、(正面、夜間、南棟) (ナブコシステム)	年6回 点検	点検		点検		点検	点検		点検		点検		
専用水道水質検査(井戸水) (財)茨城県薬剤師会		9項目	9項目	50項目	原水	9項目	26項目	9項目	9項目	26項目	9項目	9項目	26項目
簡易専用水道管理検査(水道) (財)茨城県薬剤師会			検査										
貯水槽清掃 (シイナクリーン)	年2回						東棟貯水槽 清掃					南棟貯水槽	
グリーストラップ引き抜き (シイナクリーン)	年1回						栄養課対象 厨房残飯						
非常用自家発電装置 東京電機機器サービス株式会社						年1回							

#### 4. 今後の抱負・展望

施設課では患者さまが快適な環境の中で診察がうけられるよう、病院職員がスムーズに仕事ができるよう、また病院の建物・施設等の管理を行い安全管理の意識向上に努めていきます。

# 保 育 室

## 1. 紹介

職員のお子さんをお預かりしております。

日勤のお預かり・・・7時45分～17時30分（以降は連絡を頂き保育続行致しております。）

受入れ児童・・・生後3か月～未就学児

尚3歳以上児は、朝の受け入れ後幼稚園バスに乗り通園。

夕方保育室に戻りおやつを食べお母さんの迎えを待つといった二重保育の他に夜間保育を実施しております。又、学童児も学童保育施設が休みの場合、事前申し込みにより受け入れしています。

## 2. 職員数

常勤職員	6名
パート職員	7名
計	13名

## 3. 入室児童数

0歳児	3名
1歳児	6名
2歳児	8名
3歳以上児	4名
計	21名

## 4. 運営方法

お母さんが安心して預けられる施設の遂行

### 【保育目標】

明るく元気で自分の意志を素直に表現できる子  
思いやりがある子

### 【指導理念】

スキンシップを大事にしながら個々に合わせた成長を育む

## 5. 実績

4月	父母会
5月	こいのぼり製作・未満児健康診断
6月	父の日製作・保育参観
7月	七夕製作・プール遊び
9月	父母会
10月	3歳以上児園外保育・未満児健康診断
12月	クリスマス発表会
2月	節分の集い
3月	ひな祭りの集い

※ 誕生会は2ヶ月毎に実施





# 各 委 員 会 報 告



# 医療安全管理委員会

## 1. 業務紹介

患者さまが、安心して安全な医療を受けられる環境を整えて、良質な医療を提供出来るように医療安全管理委員会規程に基づき実践しています。

患者さまの安全確保の観点から、医療事故の予防・再発防止を推進することは極めて重要な取り組みです。

「人間はエラーを犯すもの」という観点に立ち、事故を起こした個人の責任を追及するのではなく、事故を発生させた業務手順の不備や不十分な点に注目し、分析・対策立案を行い、2度と同じような事故が起こらないよう努めています。

医療安全管理委員会の活動としては、委員会の規程や細則、各種マニュアルの整備、作成を行いました。全職員対象に医療安全研修を実施しています。

医療安全管理者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者で、環境、医薬品、医療機器を中心に各部署を定期的に回診しています。

患者さまからの投書の検討、日本医療機能評価機構からの医療安全情報を院内に発信しています。

## 2. スタッフ紹介

委員長 病院長 鈴木武樹

副委員長 許表勝

取手市医師会員 伊藤睦子

医療安全管理者・医療機器安全管理責任者

検査科長 富田次男（兼任）

医薬品安全管理責任者、医療ガス安全管理責任者、医療安全管理推進者、看護部長、事務長  
放射線科長、リハビリテーション科長、事務担当者

計 13名

## 3. 平成 27 年度実績

### 【委員会の開催】

定例 12回

臨時 6回

【職員研修の実施】

- 4月8日 新入職員医療安全研修「報告・連絡・相談について」
- 5月14日 新入職員医療安全研修「ME機器について」
- 7月7日 新入職員医療安全研修「薬剤について」
- 9月30日 医療安全研修会「医療事故調査制度の概要について」
- 1月27日 医療安全研修会「医療ガス事故の実際と医療ガス保安」

【平成27年度 インシデント・アクシデント報告件数】

レベル3 b以上のアクシデント 10件

(部署別報告件数)

医局	東3階病棟	東4階病棟	南4階病棟	外来	手術室
5	85	68	36	21	12
医療相談室	薬剤科	放射線科	検査科	健診科	リハビリ テーション科
0	11	11	5	14	7
栄養科	安全管理室	医療情報管理 室	医療連携室	医事課	医師事務補助 室
6	0	0	1	4	1
経理課	施設課	総務課 (保育室含む)	合計 287 件		
0	0	0			

4. 今後の抱負・展望

委員長及び医療安全管理者を中心に、各部署の職員と連携のもと、規程、細則及びマニュアルに基づく医療安全管理体制を確立し、患者さまが安心、安全な医療を受けられる環境を整え、良質な医療を提供するよう努めていきます。

来年度は委員会の規程や細則、各種マニュアルの見直しをし、さらに良いものにしていくよう努めていきます。

# 感染対策委員会

## 1. 業務紹介

感染対策委員会は、病院内や入院患者、入院患者の家族または地域で発生する感染症について情報収集や早期発見、感染対策を行い、感染拡大を防止し、安全で安楽な職場環境と療養環境を提供する委員会である。

## 2. スタッフ紹介

鈴木 武樹（病院長）

熊谷 宗士（内科医師）

高安 聡（取手市医師会副会長）

他、以下 17 名

（感染制御医師、感染管理認定看護師、感染制御認定薬剤師、医療安全管理推進者）

## 3. 平成 27 年度実績

（1）平成 27 年度の感染対策講習会は 3 回開催（場所：南病棟 2 階会議室・食堂）

平成 27 年 10 月 20 日、

平成 27 年 12 月 15 日

「流行注意！！ ノロウイルス ～ノロウイルスにノロわれないために～」

平成 28 年 2 月 5 日

「当院の多剤耐性緑膿菌（MDRP）発生報告と感染対策について」

なお講習会不参加者を対象に、後日 DVD 放映を行って多数の参加者を得ました。

日程	講習内容	出席者+DVD 参加者	参加率
H27.10.20	感染対策 Q&A	244 名	69.5%
H27.12.15	流行注意 ノロウイルス	230 名	65.5%
H28.2.5	当院の多剤耐性緑膿菌（MDRP）発生報告と感染対策について	251 名	71.9%
H28.3.15	視察 筑波大学附属病院感染チームによる 院内サイトビジット <院内感染対策 ICT 実施>		

(2) 【感染症】 インフルエンザ対策

例年行っている職員及び入館者マスク着用の実施と職員健康状況報告を11月1日より実施しました。本年のインフルエンザ発生状況は非常に低く抑えられております。(平成28年2月15日現在)

(3) 【感染症】 多剤耐性緑膿菌 (MDRP)

本年度においては、平成27年11月より多剤耐性緑膿菌の発生が見られるため、平成28年2月5日に職員へ情報公開と対応について周知する為、職員勉強会「当院の多剤耐性緑膿菌 (MDRP) 発生報告と感染対策について」を実施し注意喚起を行っております。

(4) 【感染症】 結核対応

竜ヶ崎保健所への結核患者届出状況

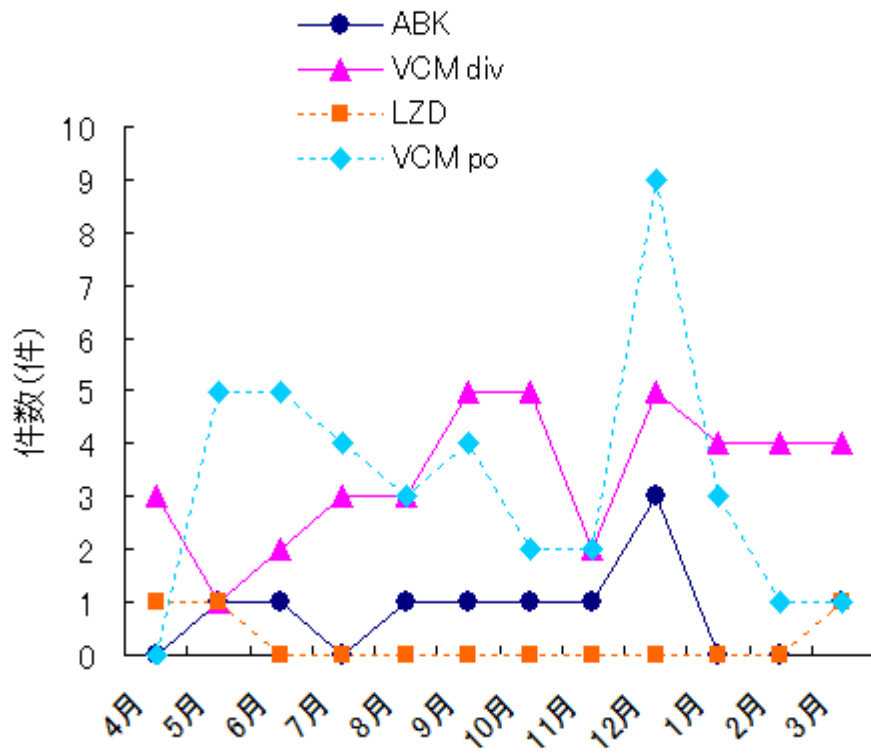
平成27年6月5日	届出1名
平成27年8月28日	届出1名
平成27年10月16日	届出1名
平成28年2月5日	届出1名

(5) 平成27年度新規 MRSA 患者数

抗 MRSA 薬 TDM 件数

\* 但し、LZD (ザイボックス) と VCM<sub>po</sub> (塩酸バンコマイシン散) は使用件数

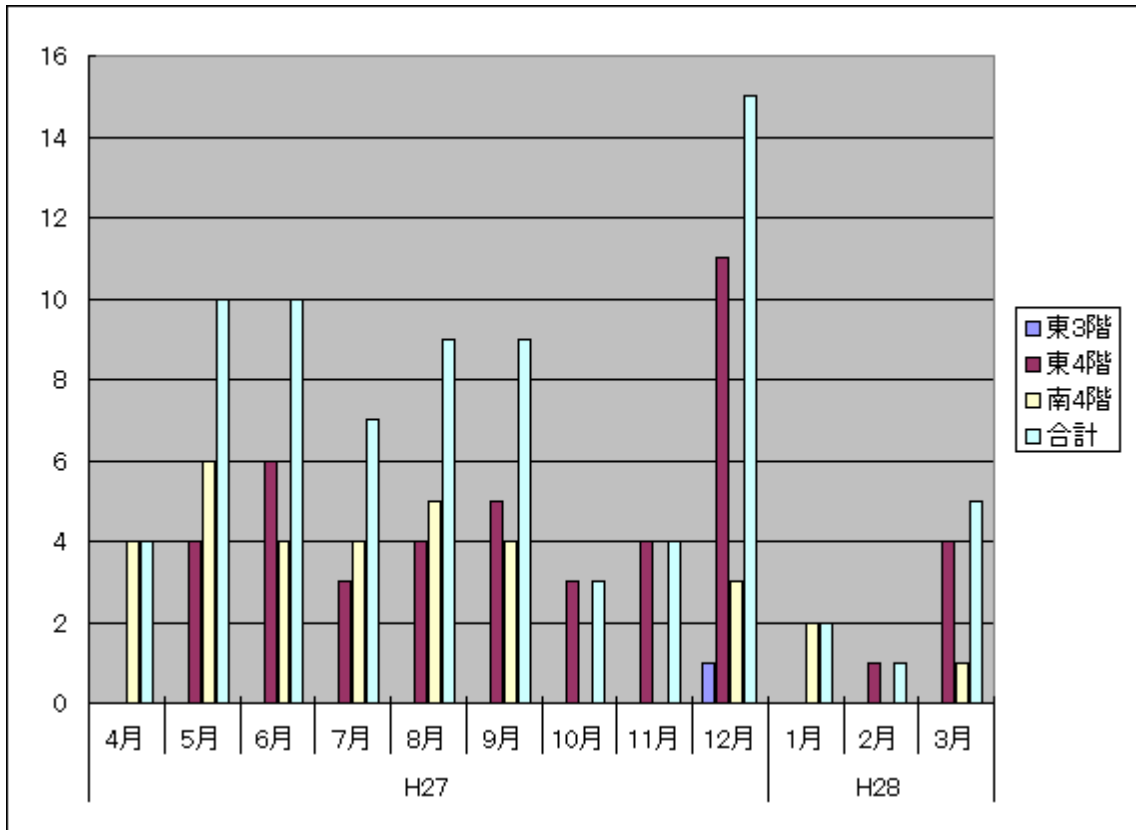
平成27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ABK	0	1	1	0	1	1	1	1	3	0	0	1
VCM div	3	1	2	3	3	5	5	2	5	4	4	4
LZD	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
VCM <sub>po</sub>	0	5	5	4	3	4	2	2	9	3	1	1





(6) 平成 27 年度 CD 検出者数

	東 3 階	東 4 階	南 4 階	合計
4 月	0	0	4	4
5 月	0	4	6	10
6 月	0	6	4	10
7 月	0	3	4	7
8 月	0	4	5	9
9 月	0	5	4	9
10 月	0	3	0	3
11 月	0	4	0	4
12 月	1	11	3	15
1 月	0	0	2	2
2 月	0	1	0	1
3 月	0	4	1	5



#### 4. 今後の抱負・展望

- インフルエンザについては、10月から啓蒙活動を開始し11月から全職員と患者、面会者、出入り業者へマスク着用を開始しました。職員健康管理報告書を活用し、職員のインフルエンザ感染の早期発見を行いました。結果、職員13名、入院中の患者さんの罹患は1名でアウトブレイクはありませんでした。平成27年シーズンよりワクチンが4価となったことや、職員の感染対策についての理解や知識の向上し実践出来た結果、今シーズン中のインフルエンザ発生数は前シーズンより減少したと考えます。
- MRSA や CD の院内発生数も前年度と発生数の変動はなく、適正な感染対策が実践できていると評価します。しかし、依然発生が起きているためスタッフへ標準予防策や経路別予防策の情報提供や周知徹底を図る活動を今年度も行います。
- 平成27年11月より多剤耐性緑膿菌(以下MDRP)の複数名の発生があり平成28年2月、全職員対象に「MDRPの感染対策について」の講習会を開催しました。3月、感染管理加算で連携している筑波大学附属病院感染対策チームによる院内ラウンドを実施し、院内感染対策の見直しを行い、3月MDRPの発生は終息しました。
- 平成28年度は、感染対策の基本である手指衛生の遵守に向けた活動(講習会、感染ラウンドで手指衛生の直接観察)を行いMRSAやMDRP等の感染症の院内発生を減少させます。

#### 5. 平成27年度感染制御認定薬剤師研修参加実績

##### 【学会発表】

- (1) 内田 充恵、熊谷 宗士

第31回日本環境感染学会総会

「バンコマイシン投与における無効性・有害事象に影響を及ぼす因子の検討」

平成28年2月19日-20日 国立京都国際会議場

##### 【研修・講習会参加】

- (1) 茨城県保険医協会学術講演会 1名参加

平成27年4月15日 ホテルグランド東雲

- (2) 第2回平成27年度茨城県小児科医会学術講演会 1名参加

オークラオロンティアつくば

- (3) 第1回平成27年度病院感染制御担当者育成講習会 1名参加

北里大学白金キャンパス

- (4) 平成27年度感染制御専門薬剤師講習会(東京会場1回目) 1名参加

平成27年7月25日 慶応義塾大学日吉キャンパス

- (5) 第35回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー 1名参加

東京国際フォーラム

- (6) 第3回平成27年度病院感染制御担当者育成講習会 1名参加  
平成27年9月5日 北里大学白金キャンパス
- (7) 第60回ICP研究会 1名参加  
平成27年10月8日 アステラス製薬
- (8) 第4回平成27年度病院感染制御担当者育成講習会 1名参加  
平成27年10月10日 北里大学白金キャンパス
- (9) 第217回ICD講習会 1名参加  
平成27年10月23日 東京国際フォーラム
- (10) 第5回薬剤師のための感染制御を考える会  
つくば国際会議場 1名参加
- (11) 第5回平成27年度病院感染制御担当者育成講習会 1名参加  
平成27年11月7日 北里大学白金キャンパス
- (12) 第14回抗菌化学療法認定薬剤師講習会 1名参加  
平成27年11月20日
- (13) 第20回埼玉感染症研究会 1名参加  
大宮ソニックシティ
- (14) 第6回平成27年度病院感染制御担当者育成講習会 1名参加  
北里大学白金キャンパス
- (15) 耐性菌シンポジウム2015 1名参加  
東京フォーラム
- (16) 平成27年度感染制御専門薬剤師講習会（東京会場2回目） 1名参加  
慶応義塾大学日吉キャンパス
- (17) 平成27年度院内感染対策講習会 2名参加  
有楽町朝日ホール
- (18) 第31回日本環境感染学会総会 2名参加  
国立京都国際会議場・グランドプリンスホテル京都
- (19) 県南喘息学術講演会 1名参加  
オークラフロンティアホテルつくば
- (20) 第5回茨城重症感染症研究会 1名参加  
平成28年3月4日 オークラフロンティアホテルつくば

# カルテ・クリティカルパス委員会

## 1. 業務紹介

- (1) 診療情報の適切な管理・保存を行う。
- (2) 診療情報の管理に関連する電子カルテの運用の一部を判断・決定し周知するとともに、その運用を管理する。
- (3) クリティカルパスの内容を検討し、院内での導入・周知・運用を行う。

## 2. スタッフ紹介

委員長	横井 直幸
副委員長	白田 保夫
委員	8名

## 3. 平成 27 年度実績

- 患者基本 患者固有情報の項目見直し（削除・新規追加）
- 入院診療計画書 各種項目自動反映設定内容変更
- 迅速病理組織診断連絡票の運用検討
- 患者別レポート スキャン書類・保存先フォルダの見直し
  - ・ボトックス同意書（同意書フォルダへ保存）
  - ・予防接種予診票（スキャン対象外）
  - ・個人情報保護の同意書（スキャン対象外）
- CM フォルダ運用検討
  - ・NST 指導患者管理用フォルダ新規追加
- 文書作成新規項目運用検討・承認
  - ・身体抑制の同意書 内容修正
  - ・輸血拒否と免責に関する証明書 新規追加
  - ・診断書 医師名自動印字機能検討
- 付箋機能の運用方法見直し

#### 4. 今後の抱負・展望

病棟機能変更（地域包括ケア病棟）に伴い、医師説明記録の充実、必要書類の整理、運用方法の統一を検討する。

今後は電子カルテのバージョンアップや変更が必要となることが予想されるため、委員会として次回変更時に改善したい点や要望について検討しておく。

# 医療の質向上委員会

## 1. 業務紹介

- (1) 掲示物の表現や張り出し等、来院者の視線に立ち見直し。
- (2) 院内のアメニティー向上のための検討。
- (3) 医療サービスの質、療養環境、外来環境、付帯設備環境等、患者満足度を上げるための検討と提言。
- (4) 患者・家族、ご意見箱からの意見、要望に対する対応。
- (5) 年1回患者満足度調査を行い、患者および全職員にフィードバック。
- (6) 年1回外来待ち時間調査を行い、業務改善への提言。
- (7) その他、医療の質向上のための啓蒙活動。

## 2. スタッフ紹介

委員長	看護部	藤田 あけみ
副委員長	整形外科医師	吉田 綾
委員	8名	

## 3. 平成27年度実績

- 毎月1回チェック表を基に委員3名ずつのグループで院内をラウンドし、掲示物、汚れなどを点検・改善した。
- 9月28日～30日の3日間で外来患者待ち時間調査を行い、受付から初期診療まで、会計ファイル提出から会計終了までにかかる時間を調査した。毎日50人の患者を無作為に抽出した。受付から初期診療までにかかる時間は最長で133分、最短で0分だった。最長の要因は予約外で来院したため、予約患者が優先されるシステムであるためと考えられた。会計ファイル提出から会計終了までの最長は30～35分、最短は1～5分だった。最長と最短に差が生じたのは、診察内容によるものであった。
- 2月22日～26日の5日間、患者満足度調査（外来）を行い、患者・家族から意見をいただいた。外来も同日の予定で開始したが、回収率が悪かったため、予定の50人が集まるまで期間を延長して行った。1（非常に不満）～5（非常に満足）の5段階評価で行った。自由記載欄もつくり、患者様から貴重なご意見をいただくことができた。
- 今回、初めての試みとして、11月の6日間、健診科お客様満足度調査を行った。患者満足度調査同様、貴重なご意見をいただくことができた。

- 委員たちで考えた標語を4か月に1度更新し、掲示、医療サービスの質の向上につながる啓蒙活動は引き続き行っている。

#### 4. 今後の展望

院内ラウンドは年々不適切な項目が減少しており、定期的に継続して行っている効果がみられている。患者様に快適な環境を提供する病院をつくるための啓蒙活動を今後も継続していきたい。

外来待ち時間は曜日ごとの来院患者数の違いによって変化することが想定されるため、十分な分析を行うためには1日だけでなく数日間の調査が必要と考える。

患者満足度調査、お客様満足度調査の結果や投書箱からのご意見に対応し幅広い視野で検討していきたい。いただいたご意見をそのままにせず、医療サービスの改善を行い、患者・家族、お客様にフィードバックし、質の向上につなげていきたい。

# 化学療法委員会

## 1. 業務紹介

化学療法委員会は、がん化学療法の有効性、安全性を確保することを目的として、月に1回開催し、次の事項について審議を行っています。

化学療法に関するレジメン（治療内容）の妥当性を評価し、検討・承認する。

新規薬剤の購入にあたり、委員会としての見解を薬事委員会に報告する。

院内における治療上の問題点を検討する。特にグレード4以上の事例、または重篤な合併症の発生を認めた場合、すみやかに原因、再発防止策の分析・対策等を検討し安全委員会に報告する。

化学療法に関する最新の情報の収集・知識の習得に励み、必要と認めた情報はすみやかに院内に周知する。

## 2. スタッフ紹介

委員長	田部井 英憲（外科医師）	
副委員長	薬剤師	
委員	病棟看護師（外科病棟）	2名
	外来看護師	2名
	医事課	1名
	システム・病歴室	1名

## 3. 平成27年度実績

平成27年度は、4件のレジメン登録申請があり、各種ガイドラインや文献等を基に審議の上、新たにレジメン登録を行いました。

平成27年度末日現在、当院で使用可能なレジメン数は、48件（表）となっております。職員の知識レベルの向上を目指し、2回／年の勉強会を開催しました。

職員の抗がん剤による曝露を最小限とするため、「曝露対策マニュアル」を作成しました。調剤薬局との連携及び情報共有を目的とし、内服(TS-1)と点滴の組み合わせにて行うレジメンについて、簡易的な投与スケジュール表を作成し、院外処方箋への添付を開始しました。



(表) 疾患別レジメン数

疾患	レジメン数	疾患	レジメン数
大腸がん	9	関節リウマチ	2
胃がん	10	肺がん	12
食道がん	1	乳がん	10
膵・胆嚢・胆管がん	4		
合計			48

#### 4. 今後の抱負・展望

関係職員の化学療法に関する知識レベルの向上を目指します。

患者様により安心・安全な化学療法を行って頂く為のより良い体制を整えていきます。

# 医療ガス安全管理委員会

## 1. 業務紹介

当院において使用する医療ガス（酸素、麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素等）の設置の安全を確保する。

また、医療用ガス設備の異常についても積極的に点検を行い安全確保する。

## 2. スタッフ紹介

委員長	白田 保夫（外科医師）
委員	五十嵐 佳子（薬剤師）
	渡来 俊雅（安全管理室）
	萩野 茂（施設課）
	中村 一幸（事務）

## 3. 業務業績

### 【医療ガス設備自主点検実施】

平成 27 年 7 月 23 日	医療ガス安全管理委員会自主点検
平成 27 年 10 月 27 日	医療ガス安全管理委員会自主点検
平成 28 年 1 月 28 日	医療ガス安全管理委員会自主点検

### 【医療ガス設備法定点検】

平成 27 年 4 月 22 日	医療ガス法定点検の実施
------------------	-------------

### 【医療ガス保安講習会】

医療安全管理委員会と共同で「医療ガス保安講習会」職員勉強会を実施し、医療ガス設備についての事故事例を紹介し注意喚起を行った

## 4. 今後の抱負・展望

医療ガス安全管理委員会は、病院機能の基礎的な医療ガスの安全を確保する。

医療ガス設備自主点検などを実施し、設備の安全確保に努めるとともに、医療ガスに関する知識を普及し啓発に努める。

# 栄養サポート褥瘡対策委員会

## 1. 業務紹介

### 【活動目的】

栄養管理をすべての治療の基本と位置づけ、患者さんに最もふさわしい方法で栄養状態を良好に保つ支援を目的とする。

褥瘡のリスクアセスメント、褥瘡の評価、計画立案、実施を行い、多職種で検討し、入院患者の褥瘡予防対策および褥瘡の早期治癒をはかる。

### 【活動内容】

週1回の症例検討会を開催し、患者の経過、検査やADL、服薬状況を把握し、栄養療法のすすめ方の検討を行う。

嚥下障害のある患者さまの嚥下機能評価を行い、病態にあわせた摂食嚥下リハビリテーションを提案する。

褥瘡のある患者に対し、処置法、ポジショニング等の対策を検討する。

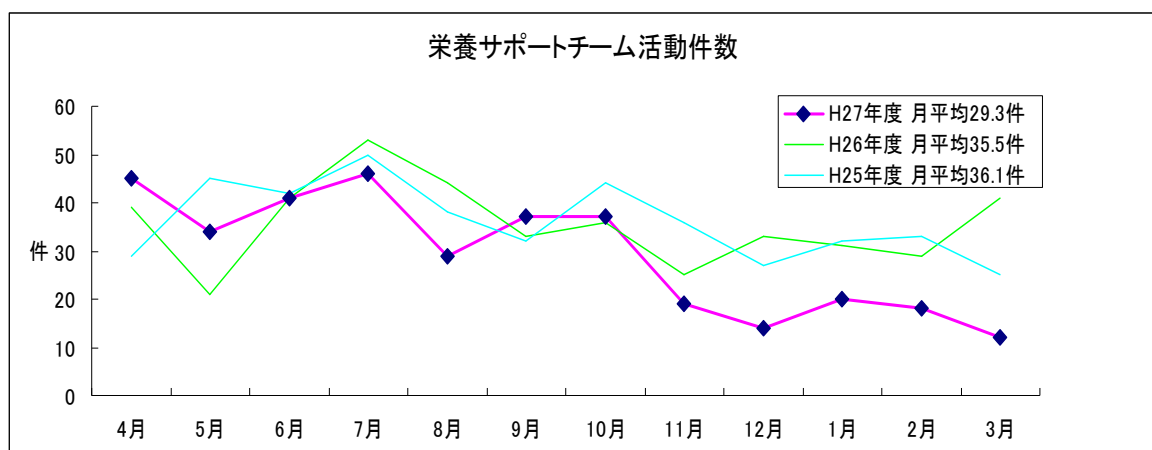
脳血管疾患、神経難病、筋疾患、頭頸部がんに伴う形態損失、加齢、廃用、先天性異常などの原因で摂食嚥下障害となった患者さまの摂食嚥下機能評価を行い、病態・機能・全身状態に合わせて安全に経口摂取を行えるように看護実践、患者さま・ご家族さまからの相談、看護スタッフへの指導、看護ケアに対する看護スタッフからの相談を行う。

誤嚥性肺炎・窒息・栄養低下・脱水などを予防するリスク管理も行う。

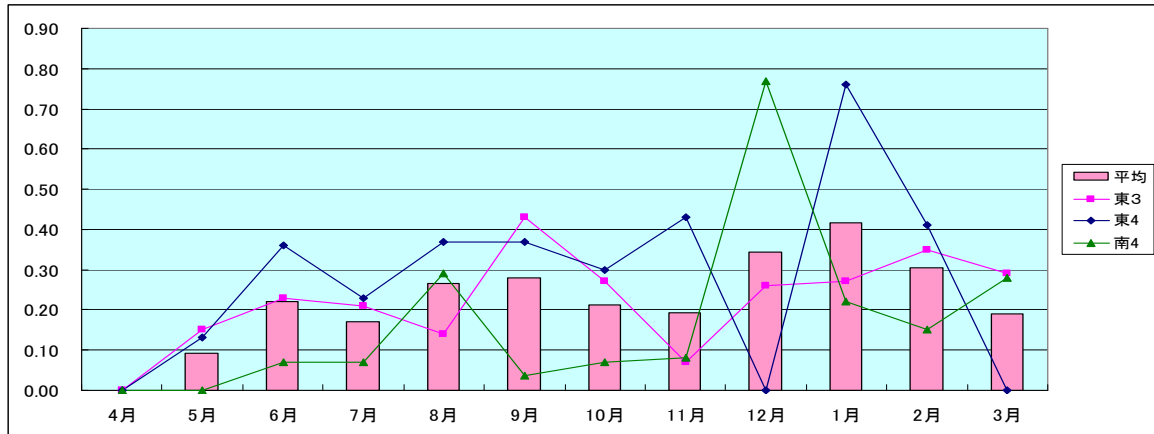
## 2. スタッフ紹介

委員長	川邊 淳夫（内科医師）
	中島 佳子（整形外科医師）
委員	コメディカル 18名

## 3. 平成27年度実績



褥瘡発生率 (%)



「踵の褥瘡を減らす」という目標に対し、平成 27 年度の踵の褥瘡の有病率は 17%

介入前の栄養方法と介入後の栄養方法

介入前の栄養方法	介入後の栄養方法	人数
高カロリー輸液	3食経口摂取 (高カロリー輸液離脱)	4
高カロリー輸液	少量の経口摂取+高カロリー輸液	4
高カロリー輸液	経口摂取+末梢点滴	2
高カロリー輸液+少量の経口摂取	禁食+高カロリー輸液	2
高カロリー輸液	少量の経口摂取+末梢点滴→禁食	3
高カロリー輸液	経口摂取に至らず高カロリー輸液	2
経鼻経管栄養	経口摂取+高カロリー輸液 →禁食+経鼻経管栄養→転院	1
胃瘻	3食経口摂取 (胃瘻離脱)	1
胃瘻	胃瘻+経口摂取	2
胃瘻	胃瘻+少量の経口摂取 →高カロリー輸液	1
末梢点滴+少量の経口摂取	3食経口摂取	3
末梢点滴+少量の経口摂取	末梢点滴+禁食	2
末梢点滴	経口摂取に至らず高カロリー輸液に変更	1

※網かけの部分は死亡の転帰

南 4 階病棟での摂食嚥下障害患者数は 28 名で、内訳は脳血管疾患 11 名、神経疾患 3 名、認知症 6 名、禁食に伴う廃用症候群と低栄養による骨格筋減少 6 名、悪性新生物 1 名、形態異常 1 名であった。

全員に摂食嚥下機能評価を行い、看護スタッフの協力を得て看護介入を行なった。

介入後の摂食嚥下のレベル	人数
Level 1	12 (内 11 名死亡、1 名経鼻経管で転院)
Level 2	1
Level 3	1
Level 4	3
Level 5	3
Level 6	2
Level 7	4
Level 8	1
Level 9	1

経口摂取獲得、補助栄養離脱 8 名

経口摂取＋補助栄養継続 8 名

不変 1 名

悪化 11 名

高カロリー輸液 17 名中・・・・・・・・・・10 名経口摂取獲得、7 名死亡

末梢点滴輸液 5 名中・・・・・・・・・・3 名経口摂取獲得、2 名死亡

経腸栄養（胃瘻＋経鼻経管）5 名中・・・・3 名経口摂取獲得、1 名死亡

嚥下機能評価のための VF 実施は 4 名

#### 4. 今後の抱負・展望

NST 対象者の基準を明確にし、栄養サポートが必要な患者に適切な介入ができるようにする。

#### 5. 業績

##### 【勉強会開催】

N S T 褥瘡対策委員会の活動について

平成 27 年 5 月 27 日 取手北相馬保健医療センター医師会病院 会議室

褥瘡の管理について

平成 27 年 12 月 2 日 取手北相馬保健医療センター医師会病院 南 3 階病棟

摂食嚥下障害看護	対象者：H27 年度新入職看護師・看護補助者
胃瘻の管理	対象者：看護師（ラダーⅡ・Ⅲ）
食事介助（ランチョンセミナー）	対象者：看護師（新人・ラダーⅠ）
食事介助（ランチョンセミナー）	対象者：病棟看護師・看護補助者
歯の役割	対象者：病棟看護師・看護補助者
口腔ケア	対象者：病棟看護師・看護補助者
口腔ケアアセスメントツール（OHAT）について	対象者：病棟看護師・看護補助者

#### 【学会発表】

- (1) 第 5 回日本リハビリテーション栄養研究会学術集会  
「認知症のあるサルコペニア嚥下障害患者の一症例」  
平成 27 年 11 月 28 日 県立広島大学 ポスター発表

#### 【研修会参加】

- (1) 日本摂食嚥下障害看護研究会 一般参加  
平成 27 年 5 月 23～24 日 日本歯科大学 生命歯学部富士見ホール
- (2) 平成 27 年度東京大学医学部附属病院 NST 専門療法士研修  
平成 27 年 6 月 22 日～26 日 東京大学医学部附属病院
- (3) 第 3 回 KTSM 研究会 一般参加  
平成 27 年 7 月 11 日 神奈川県民ホール
- (4) リハ栄養フォーラム 2015  
平成 27 年 8 月 8 日 あいおいニッセイ同和損保新宿ビル 新宿ホール
- (5) 摂食嚥下ハビリテーション学会 一般参加  
平成 27 年 9 月 11～12 日 国立京都国際会館・グランドプリンスホテル京都
- (6) 褥瘡の予防と治療における栄養管理、必要な栄養素 栄養士会ブロック研修会  
平成 27 年 10 月 17 日 筑波大学附属病院
- (7) 第 13 回日本臨床栄養協会学術大会  
平成 27 年 10 月 2 日～4 日 都市センターホテル
- (8) 褥瘡の予防と治療における栄養管理、必要な栄養素 栄養士会ブロック研修会  
平成 27 年 10 月 17 日 筑波大学附属病院
- (9) 口から食べる幸せをサポートする包括スキルの実践セミナー  
平成 27 年 11 月 14 日 日本教育会館

- (10) 第 6 回日本摂食嚥下障害看護研究会 関東支部 一般参加  
平成 28 年 1 月 16 日 東京医科歯科大学医学部附属病院 4 階特別講堂
- (11) 北関東摂食嚥下障害リハビリ研究会 一般参加  
平成 28 年 2 月 11 日 国際医療福祉大学
- (12) 難病嚥下研究会第 2 回セミナー  
平成 28 年 3 月 19 日 国立精神・神経医療センター ユニバーサルホール

# 教育委員会

## 1. 業務紹介

- (1) 職員の教育に関する研修会等を企画し実施する。
- (2) 新入職員の教育に関する研修会等を企画し実施する。
- (3) 他委員会と連携し研修会等を開催する。
- (4) その他

## 2. スタッフ紹介

委員長	リハビリテーション科	
副委員長	放射線科	
委員	医局	1名
	看護部	5名
	薬剤科	1名
	健診科	1名
	検査科	1名
	事務	1名

## 3. 平成 27 年度実績

### (1) 全体研修の開催

BLS の日 (BLS インストラクターによる実技研修 AHA の BLS 2010 を習得)

- ① 開催日 平成 27 年 6 月 24 日 9 : 00 ~ 17 : 00 (医師会病院会議室)  
予備日 平成 27 年 7 月 14 日 17 : 30 ~ 18 : 30 (リハビリテーション室)  
参加者 計 243 名 (参加率 71.9%)
- ② 開催日 平成 27 年 11 月 25 日 9 : 00 ~ 17 : 00 (医師会病院会議室)  
予備日 平成 27 年 12 月 1 日 17 : 30 ~ 18 : 00 (リハビリテーション室)  
参加者 計 246 名 (参加率 82.3%)

\* 医師会会員施設より参加者なし





第7回学術発表会開催（学会発表や専門領域の報告・予演会）

開催日 平成27年7月29日 17:30～18:30（医師会病院会議室）

発表 演題5題

参加者 33名

(2) 新入職員向け研修会開催

新入職員オリエンテーション開催（辞令交付、講義、入職手続き、各科紹介その他）

開催日 平成27年4月1日 9:00～17:00（医師会病院会議室）

参加者 20名



新入職員接遇研修開催

開催日 平成27年4月2日（第一生命柏常総支社）

第一生命ビジネスマナーに参加 講義・ワークショップ

参加者 7名

平成28年度新入職員オリエンテーション準備

新入職員オリエンテーション用冊子作成、スケジュール作成、案内

(3) 他科・委員会との共同勉強会開催

個人情報保護委員会

開催日 平成27年10月8日 「個人情報保護について」

医事課

開催日 平成28年3月22日 「平成28年度 診療報酬改定勉強会」



(4) 院内勉強会・研修会把握

各科委員会の次年度教育スケジュール把握

各科委員会の昨年度勉強会実績の把握

(5) 委員会の開催

年 6 回

医師会病院会議室

4. 今後の抱負・展望

- ・今後も病院職員の質の向上を図るため、職員研修に取り組んでいきます。
- ・他の委員会と連携を図り、職員に必要な研修等を企画し開催します。
- ・各科・委員会の研修計画を把握し病院全体の研修計画・実績をまとめ、職員に周知できるように進めていきます。
- ・継続的な教育（新人・中堅・管理職）の必要性について検討、提案します。

# 薬事委員会

## 1. 業務紹介

薬事委員会は、月に1回開催し、次の事項について審議を行っています。

- (1) 医薬品の採用及び削除の決定に関すること。
- (2) 医薬品による治療方法の検討と向上に関すること。
- (3) 医薬品の情報交換及び副作用情報に関すること。
- (4) 同種同効品の使用の検討と在庫品の活用に関すること。
- (5) 医薬品購入費の効率的使用に関すること。
- (6) 救急薬品、病棟保管薬品などの取り扱い及び夜間救急時の医薬品に関すること。
- (7) 院内採用医薬品のリストに関すること。
- (8) 医薬品の購入計画に関すること。
- (9) 後発医薬品の採用に関すること。
- (10) その他、医薬品に関する必要事項。

## 2. スタッフ紹介

委員長・・・渡邊 寛(医師)  
各診療科医師・1名ずつ(計3名)  
薬剤師 1名  
看護師 1名  
医事課職員 1名

## 3. 平成 27 年度実績

平成 27 年度は、75 品目について後発医薬品の切り替えを行いました。

それにより院内医薬品の採用品目数のうち、後発医薬品の採用品目数の割合が 20%以上となり、後発医薬品使用体制加算の算定が可能となりました。また、医薬品を効率的に使用するために、使用頻度の少ない医薬品の削除を推進しました。

#### 平成27年度 医薬品採用状況 (院内)

	採用品目数	削除品目数	平成28年3月
内服薬	14	7	414
注射薬	2	5	316
外用薬	0	0	125
合計	16	12	855

#### 4. 今後の抱負・展望

来年度も引き続き後発医薬品の切り替えを推進していきます。

また、使用頻度の少ない医薬品についても削除し、医薬品を効率的に使用できるようにしていきます。

# コンピュータ・広報委員会

## 1. 業務紹介

広報委員会では、年に数回会議を開催し、次の事項について審議を行っている。

- (1) 本院の広報に関すること。
- (2) 本院広報誌に関すること。
- (3) ホームページの管理・運営に関すること。
- (4) その他、広報活動に関すること。

## 2. 医員紹介

委員長                      渡邊 寛 (医師)  
コメディカル              10名

## 3. 平成 27 年度実績

- ・年報の発刊
- ・広報誌「こころ」の発行
- ・ホームページの修正(今年度から委員による定期的なホームページのチェックを実施)

## 4. 今後の抱負・展望 (活動予定)

- ・年 2 回程度の会議の開催
- ・年報の発刊
- ・広報誌「こころ」の発行
- ・ホームページの修正・更新

## 5. 業績

なし

# 栄 養 委 員 会

## 1. 業務紹介

給食業務に関わる情報を関連職種と共有し、問題解決や提案を行う。

患者満足度が高く、かつ効果的な治療に結びつき、栄養管理や指導を実現するための媒体として質の高い、安全な病院食の提供に結びつける。

### 【委員会開催】

月 1 回の委員会を開催

## 2. スタッフ紹介

委員長	熊谷 宗士 (医師)
コメディカル	5 名
委託給食会社事業所責任者	1 名

## 3. 平成 27 年度実績

- ・ 検食簿の所見の充実
- ・ 感染対策委員会と協力し、食器が嘔吐により汚染された場合の対応と感染性胃腸炎およびその疑いのある患者の食器の取り扱い方法について決定
- ・ 職員の当直夜勤明けの食事を希望性にする事により、破棄する食事をなくし、食材費のコスト削減を目指した

## 4. 今後の抱負・展望

- ・ 安全な食事の提供
- ・ 食事の患者満足度の向上 (前年度の嗜好調査結果平均 82.9 点 / 100 点満点中)

## 5. 業績

### 【研修】

#### (1) メニュープランニング研修

平成 27 年 5 月 29 日	やわらか嚥下プロジェクト	エームサービス株式会社(本社)
平成 27 年 6 月 23 日	スマイルメニューセミナー	エームサービス株式会社(本社)

平成 27 年 6 月 24 日	やわらか嚙下プロジェクト	エームサービス株式会社(本社)
平成 27 年 7 月 21 日	スマイルメニューセミナー	エームサービス株式会社(本社)
平成 27 年 7 月 23 日	やわらか嚙下プロジェクト	エームサービス株式会社(本社)
平成 27 年 8 月 20 日	蕎麦打ち研修	エームサービス株式会社(本社)
平成 27 年 8 月 24 日	スマイルメニューセミナー	エームサービス株式会社(本社)
平成 27 年 10 月 19 日	スマイルメニュー	エームサービス株式会社(本社)
平成 27 年 10 月 20 日	メニュープランニング研修	エームサービス株式会社(本社)
平成 27 年 11 月 10 日	蕎麦打ち研修	エームサービス株式会社(本社)
平成 27 年 11 月 20 日	やわらか嚙下プロジェクト	エームサービス株式会社(本社)
平成 27 年 11 月 25 日	スチコン研修	エームサービス株式会社(本社)
平成 27 年 12 月 9 日	やわらか嚙下プロジェクト	エームサービス株式会社(本社)
平成 27 年 12 月 22 日	スマイルメニューセミナー	エームサービス株式会社(本社)
平成 28 年 2 月 19 日	やわらか嚙下プロジェクト	エームサービス株式会社(本社)
平成 28 年 2 月 29 日	基礎栄養セミナー	エームサービス株式会社(本社)
平成 28 年 3 月 28 日	スマイルメニューセミナー	エームサービス株式会社(本社)

# 輸血療法委員会

## 1. 平成 27 年度の報告と業績

主な活動として平成 27 年度には、献血者の善意である血液製剤を有効利用する事を目的に、血液製剤の使用量と廃棄量の数値について審査を行いました。この活動の結果、血液製剤の投与に関する手順（マニュアル）などを見直し、輸血準備を適切に行う体制を作り、一定の効果をj得る事ができました。

また、委員会による「輸血ガイドライン」の改定に伴い、輸血同意書及び輸血療法についての説明書や、輸血マニュアル（輸血療法の手順書）の改定作業も行いました。

## 2. 業務紹介

年間 6 回以上の委員会開催をし、血液製剤の使用量、並びに廃棄量を審議しており、適切な使用状況を確認しております

- (1) 輸血療法の適応（厚生労働省の指針を準用する）
- (2) 輸血実施時の手続き
- (3) 血液製剤の使用状況調査
- (4) 症例検討を含む適正使用促進の方法
- (5) 輸血療法に伴う事故・副作用・合併症の把握方法と対策
- (6) 輸血関連情報の伝達方法
- (7) その他血液製剤使用に関する全般

## 3. メンバー

委員長	熊谷 宗士	(内科医師)
	渡邊 寛	(循環器科医師)
	横井 直幸	(整形外科医師)
	楊 昌洋	(外科医師)
	片野 緑	(看護部)
	五十嵐 佳子	(薬剤科)
	平山 佐知子	(臨床検査科)
	川久保 愛美	(臨床検査科)
	中村 一幸	(総務課)



#### 4. 今後の抱負と展望

委員会において血液製剤が適正に使用されているかを調査するとともに、さらに安全性を高めるためには、副作用などの情報の収集と管理が必要と考え輸血療法委員会を中心に院内の周知徹底に努めていきます。

#### 5. 血液製剤使用量および廃棄量報告 (H27.4～H28.1)

##### 【赤血球濃厚液】

	使用数		廃棄数		廃棄率
	Ir-RBC-LR1	Ir-RBC-LR2	Ir-RBC-LR1	Ir-RBC-LR2	
4月	1	23	0	0	0
5月	0	12	0	0	0
6月	5	25	0	1	1.7%
7月	0	30	0	0	0
8月	0	28	0	0	0
9月	0	31	0	0	0
10月	9	26	0	0	0
11月	0	21	0	0	0
12月	0	23	0	2	8%
1月	2	21	0	0	0
合計	17	240	0	3	1.2%

##### 【新鮮凍結血漿】

	使用数		廃棄数		廃棄率
	FFP-LR1	FFP-LR2	FFP-LR1	FFP-LR2	
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0
1月	0	2	0	0	0
合計	0	2	0	0	0

【血小板濃厚液】

	使用数	廃棄数	廃棄率
	PC-LR10	PC-LR10	
4月	7	0	0
5月	5	0	0
6月	0	0	0
7月	0	0	0
8月	1	0	0
9月	9	0	0
10月	9.5	0	0
11月	8	0	0
12月	4	0	0
1月	0	0	0
合計	43.5	0	0

# 個人情報保護委員会

## 1. 業務紹介

職務上獲得した個人情報の適正な管理と保護を行う。

## 2. スタッフ紹介

医師 平岡 昌和、白田 保夫  
他 7名

## 3. 平成 27 年度実績

- ・ 6月に委員会開催
- ・ 個人情報保護規程の一部改定を施行
- ・ 10月8日「個人情報保護について」の勉強会開催  
平成 27 年度入職者・希望者対象 30名参加

## 4. 今後の抱負・展望

個人情報保護委員会は、業務上知り得た患者および病院関係者の個人情報などの適正な管理と保護を今後も行うよう努力いたします。

# 倫理委員会

## 1. 業務紹介

患者の権利や尊厳を熟慮した医療を行って行くために、当院にて行われる生命倫理や医学研究に関する案件を本委員会にて審議し、倫理的配慮の行き届いた医療機関として地域への役割を果たす。

## 2. スタッフ紹介

委員長	病院長	鈴木 武樹
副委員長	副病院長	渡邊 寛
委員	看護師	1名
	事務長	1名
	薬剤師	1名
	医師会事務局	1名
外部委員	高校教諭	1名
担当事務		1名

## 3. 平成 27 年度実績

### 【委員会の開催】

第 1 回	4 月 8 日 (水)
第 2 回	5 月 13 日 (水)
第 3 回	7 月 15 日 (水)
第 4 回	9 月 16 日 (水)
第 5 回	11 月 25 日 (水)
第 6 回	1 月 13 日 (水)
第 7 回	3 月 16 日 (水)

### 【協議事項】

- ・「C型肝炎の耐性検査について」
- ・ソーシャルメディアの利用について
- ・院内での職員による携帯電話利用について
- ・患者さまの携帯電話使用について
- ・「コアベータ急速静注の実際」
- ・「大腸内視鏡検査の前処置説明の工夫」
- ・献体希望患者への対応について

### 【審査内容】

- ・「日頃の取り組みと成果」
- ・「ブランディングを取り入れた変化～実例報告～」
- ・「排泄ケアの質の改善と維持への取り組み」
- ・「筑波大ソーシャルメディアの利用について」
- ・「学寄附講座を設置した医師会病院としての報告」
- ・「かしこい患者学～賢い患者家族学」
- ・「コンチネンス部会の発足と活動報告」
- ・「深部静脈血栓症の変遷」
- ・「腹水濾過濃縮蔡静注法」
- ・「当院における抗MRSA薬の使用実態（仮）」
- ・「ケアリンクエクスプレス導入について」
- ・「看護とデザインの協働が患者と家族のQOLを支える  
ー療養環境と勤務環境としての照明デザインについてー」
- ・「雑誌『検査と技術』への執筆（症例：胃異所性腺）」
- ・「限局性大網梗塞の1例」
- ・「認知症のあるサルコペニア性嚥下障害患者の一症例」
- ・「日本超音波検査学会医用超音波講義講習会での膺領域の講演」
- ・「外来継続看護のために他職種との連携を図る」
- ・「大腿骨頸部骨折患者に対する良肢位保持への取り組み～クッションを作製して～」
- ・「自宅退院への希望を叶えた一例」
- ・「2016年細胞検査士研修会」
- ・「不安を抱えた患者家族との信頼関係の構築」
- ・「接遇向上にむけての取り組み」
- ・「内視鏡前処置に対する看護師のかかわり（パンフレットを1年間使用してみ  
て）」

- ・「ハイリスク者への運動指導」
- ・「iSN（いばらき安心ネット）事業をパイロット施設として参加した問題点」
- ・「外来におけるクレーム処理」

#### 4. 今後の抱負・展望

本委員会で審議すべき案件を審議し当院としての方針を決定し、倫理的配慮の行き届いた医療機関を維持してゆくと共に、倫理面での更なる体制の充実を図っていく。

# 院内災害対策委員会

## 1. 業務紹介

院内災害対策委員会は、災害発生時（火災、停電、地震、大雨、降雪、大規模交通災害など）において、人命の安全確保と適切な医療救護活動を行うことを目的として、月に1回開催し、次の事項について審議を行っています。

- (1) 夜間緊急召集訓練に関する事
- (2) 総合避難訓練に関する事
- (3) 災害時の食事に関する事
- (4) 災害時の電気設備に関する事
- (5) 災害時の緊急連絡網に関する事
- (6) 災害時のエレベーター設備に関する事

## 2. スタッフ紹介

委員長	整形外科	横井 直幸	医師
副委員長	南3階病棟看護師	飯塚 香	師長
他 委員		18名	

## 3. 平成27年度実績

夜間緊急召集訓練

実施日 6月11日

消防避難訓練

実施日 11月10日

## 4. 今後の抱負と展望

災害時の院内災害対策本部として必要な内容について審議するとともに院内災害対策本部構成員として機能できるよう準備をしていきます。

# 労働衛生委員会

## 1. 業務紹介

本院内における職員の労働環境を整備して、安全と健康を確保し快適な職場環境の構築を目指し、明るく楽しい職場づくりに日々邁進します。

- (1) 過重（残業）労働問題
- (2) 仕事の悩み相談・苦情受付→事実確認とその対策  
（ハラスメント、メンタルヘルス相談箱・相談メール等の相談窓口を案内掲示済）
- (3) 職員満足度調査を実施し、全職員にフィードバックおよび病院幹部に改善の提言
- (4) ストレスチェックの実施計画の策定や実施管理

## 2. スタッフ紹介

委員長	松井 弘子（リハビリテーション科）
産業医	高安 聡（取手市医師会 理事）
衛生管理者	稲田 雅一（総務課）
看護師	2名
事務	3名

## 3. 平成 27 年度実績

- (1) 職員満足度調査の実施をしました。（7月実施）  
病院幹部に調査結果を報告し医師会理事とも協議してゆき、改善整備して行くこととなりました。
- (2) 禁煙促進について  
職員の喫煙者率を出した結果、全体で 16.8%（全国平均 19.7%）  
更に喫煙者を減らすために、禁煙促進ポスターを掲示しました。（5月）
- (3) ハラスメントの相談について  
今年度は 2 件ありました。  
悩み等の相談を迅速に対応するために、相談シートを作成しました。

## 4. 平成 28 年度の活動予定

- (1) 職員満足度調査を実施して、継続的に職場環境の改善をする。
- (2) ストレスチェック制度の説明会を 8 月に開催、9 月に実施する予定です。



# 機器購入委員会

## 1. 業務紹介

取手北相馬保健医療センター医師会病院が行う医療のために使用する機器・器具の購入、増設及び更新、修繕、賃借及び委託業務に伴う契約にあたって、医療機器等についての選定を適正かつ合理的に行い審議するため開催される委員会である。

審議事項は下記の事項となります。

- (1) 購入等予定の医療機器等の選定審査
- (2) 医療機器等購入の優先度の決定
- (3) 医療機器等の機種及び運用費（維持に係る保守費を含む。）の選定審査
- (4) 金額が1件100万円以上の医療機器等の購入等、修繕、賃借及び委託業務に伴う契約の見積者の選定
- (5) その他契約について病院長が特に必要と認める事項

## 2. 委員メンバー

委員メンバーは取手市医師会理事・病院長・副病院長・事務長・看護部長・経理部門責任者・総務部門責任者で構成されています。また、審議事項によっては機器購入部門の責任者の出席を求める場合があります。

## 3. 平成27年度開催実績

平成27年5月19日	平成27年度第1回機器購入委員会開催
平成28年1月15日	平成27年度第2回機器購入委員会開催

# 災 害 対 策 報 告



# DMAT

## 1. 業務紹介

DMATとは、災害派遣医療チーム「Disaster Medical Assistance Team」の頭文字をとってDMAT（ディーマット）と呼ばれています。

医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多数傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね発生後48時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

27年度は台風18号による豪雨で（平成27年9月関東・東北豪雨）、常総市において鬼怒川の堤防が決壊し大きな被害がでました。関東のDMATが派遣され、域内搬送や病院支援、救護所や避難所にて活動をしました。当院DMATも常総市地域交流センター内において救護所活動を行いました。

## 2. スタッフ紹介

医師	横井 直幸（整形外科医師）	日本DMAT隊員、統括DMAT
業務調整員	小島 剛（救急救命士）	日本DMAT隊員（外部委員）
	諸岡 雅之（事務）	日本DMAT隊員
	高倉 有（診療放射線技師）	DMAT補助要員（研修申請中）
	鈴木 孝浩（薬剤師）	DMAT補助要員（研修申請中）

## 3. 平成27年度実績（\*印は実働）

日付	内容	場所
5月13日	平成27年茨城県・桜川市総合防災訓練第1回会議	桜川市大和ふれあいセンター
5月29日	航空搬送拠点臨時医療施設（SCU）に係る実地訓練	航空自衛隊百里基地
6月23日	平成27年茨城県・桜川市総合防災訓練第2回会議	桜川市大和ふれあいセンター
7月17日	第1回茨城県DMATロジ会・研修会	茨城県庁
7月30日	平成27年茨城県・桜川市総合防災訓練第3回会議	桜川市大和ふれあいセンター
7月31日	航空搬送拠点臨時医療施設（SCU）に係る実地訓練	航空自衛隊百里基地
8月29日	平成27年茨城県・桜川市総合防災訓練	桜川市総合運動公園

9月1日	政府広域訓練	常磐自動車道下り守谷SA
*9月11日	台風18号に伴う豪雨災害救護所活動	常総市地域交流センター
*9月12日	JMAT活動に薬剤師が同行	小絹小学校 小絹コミュニティーセンター
10月31日 11月1日	関東ブロックDMAT技能維持研修	宇都宮済生会病院
12月18日	病院前診療研究会「常総市水害について」	つくば市消防本部
1月30日 31日	平成27年度関東ブロックDMAT訓練	東京都（内閣府立川災害対策本部予備施設）
2月15日	平成27年度茨城県DMAT調整会議	筑波メディカルセンター病院
3月7日 8日	平成27年度第2回関東ブロック統括DMAT登録者技能維持・ロジスティクス研修	内閣府立川災害対策本部予備施設
3月23日	第2回茨城県DMATロジ会	国立病院機構水戸医療センター
3月26日	平成27年度茨城県NBC災害およびテロ対策研修会	筑波大学

#### 4. 今後の抱負

スキルアップと人員の補充（看護師、補助要員のDMAT要請研修参加）、資機材の整備等を進めていきたいと思っています。

いつ起きるかわからない災害に対して、万全の体制で、資格を生かしながら病院運営に貢献できればと考えています。

筑波大学附属病院  
取手地域臨床教育ステーション



# 筑波大学附属病院取手地域臨床教育ステーション

## 1. 業務紹介

平成 26 年（2014 年）7 月 16 日寄附講座による取手市医師会と筑波大学との医療連携システムとして当医師会病院内に設置されました。

医師会病院を中心とした従来の病診連携と筑波大学との新たな病診連携を結ぶ地域循環型包括医療の構築を目標としています。

## 2. スタッフ

教授・部長	福田 潔（呼吸器科）
准教授	篠田 雄一（リハビリテーション科）

## 3. 平成 27 年度の活動及び今年の抱負、展望

医師会病院内での外来、入院診療、健診センターでのレントゲン読影等の一般臨床業務に加え、筑波大学附属病院からの転入院やリハビリテーションに於けるボトックス治療の紹介入院等に力を入れています。

また、教育面では筑波大学での学生への講義やチュータリング、レジデントレクチャー等の業務も兼務しており、将来的には地域医療学を当院で学ぶべく学生や研修医、レジデント等の受け入れのための準備が必要と考えています。病診連携、地域医療支援はすべての医療機関で今までも努力し構築し続けているものでもあり、あえて地域医療学と言うには今までとは違う新たなシステム等の具体化が求められています。

地域包括医療と病診連携との問題点や大学病院と当院との間の問題点等、細部にわたる分析を基に地域に於ける主治医、病院に於ける主治医、または患者情報の一元化や共有と言ったさまざまなハード面・ソフト面での問題解決の必要性が今後の大きな課題と思われれます。

## 4. 業績

### (1) 福田 潔

（論壇）「知っているつもりで意外と知らない保険診療」

平成 27 年 5 月 15 日 茨城保険医新聞 P(2)



- (2) 福田 潔  
(発表)「保険のための審査、指導～日常の留意点について」  
平成 27 年 5 月 1 日 取手医師会臨床研究会
- (3) 福田 潔  
(講師)「保険診療の基礎知識、突然やってくる返戻、査定、個別指導への対応」  
平成 27 年 8 月 30 日 茨城保険医協会新規開業医講習会
- (4) 福田 潔  
(講演)「寄附講座県南地域医療教育学」  
平成 27 年 10 月 24 日 取手医師会病院連携会
- (5) 福田 潔  
(講義) コース # 19 感染症「結核」  
平成 27 年 11 月 6 日 筑波大学医療専門学部 M6 統括講義
- (6) 福田 潔  
(講演) 生活習慣病と楽しく付き合うには？インフルエンザの予防  
平成 27 年 11 月 30 日 ポリテクセンター茨城健康講話
- (7) 福田 潔  
必読、ハイリスク者への運動指導⑤ 健康づくり  
平成 27 年 2 月
- (8) 福田 潔  
(チューター) M2 チュートリアル  
平成 27 年 12 月 17 日、22 日
- (9) 福田 潔  
(発表)「ワクチンの基礎と臨床、インフルエンザワクチンは本当に効果があるのか」  
平成 28 年 2 月 5 日 取手医師会臨床研究会
- (10) 福田 潔  
(論壇)「診療報酬改定・消費税・薬について徒然に思うこと」  
平成 28 年 3 月 15 日 茨城保険医新聞 P (2)

取 手 市 医 師 会



## 役員

会長	眞壁 文敏
副会長	高安 聡 石井 啓一
理事	伊藤 睦子 松崎 信夫 城賀本 満登 鈴木 武樹 海老原 聡 秋谷 正彦 塩澤 史隆 市丸 勝二 田中 勲
監事	檜山 輝男 中澤 義明
議長	寺田 永
副議長	吉岡 巖
裁定委員	村田 達也 龍田 泰成 下村 滋 小林 静江 高安 仰
職員	古田 恒二 岩倉 佳子 飯野 知奈美

## 医師会の活動内容

- 取手北相馬保健医療センター医師会病院  
医師会病院は、地域住民の方々が、必要な時、いつでも安心して医療を受けられるように、会員の先生方では導入が困難な CT や MRI などの医療機器を共同で利用できるようにと昭和 57 年 7 月に設立されました。ただ患者を待つだけの医療ではなく、保健予防活動にも積極的に取り組んでおります。
- 取手北相馬休日夜間緊急診療所  
取手市・守谷市・利根町の委託により、医師会病院が診療を行っていない夜間と休日に救急診療を行っています。医師会病院とあわせると、24 時間、365 日診療が受けられます。
- 訪問看護ステーションひまわり  
医師の指示により看護師が家庭を訪問し、在宅介護を支援しています。
- ひまわり居宅介護支援事業所  
ケアマネージャー（介護支援専門員）が、様々な介護サービスをどのように組み合わせれば利用される方にあうのかを考え、介護サービス利用計画（ケアプラン）の作成、各サービスを提供する各事業者と連絡、調整をします。
- 学校検診  
茨城県、取手市、守谷市、利根町をはじめ、近隣市町村より委託を受け、小中高校の学校検診事業を行っております。
- 住民検診  
地域住民の方の疾病予防のために各地で検診車による出張検診を行い、疾病の早期発見・早期治療をめざして活動しています。
- 予防接種  
各市町村の保健センターと協力して国で定められた予防接種及び任意の予防接種について乳幼児から成人まで毎年行っています。
- 学校医  
各小中高校に学校医を派遣しています。

- 産業医活動

茨城県南地域産業保健センターと協調し、従業員 50 人未満の事業所の皆様に対して、無料で産業保健活動を行ってきております。

## 生涯教育講演会・研究会

名称	開催日時	開催場所	主な講演及び講師
第 292 回 臨床研究会	4 月 3 日 (金) PM7:00	取手医師会病院	①「術前虫垂悪性腫瘍を疑った肉芽腫性虫垂炎の一例」 取手医師会病院外科 楊 昌洋 ②「前回のイレウスのつづき」 取手医師会病院放射線科 小槻 泰三
第 187 回 取手糖尿病研究会	4 月 7 日 (火) PM7:00	取手医師会病院	①「当院における SGLT2 阻害剤が有効であった一症例」 取手医師会病院内科 熊谷 宗士 ②「高齢者糖尿病診療の様々な側面」 つくば糖尿病センター川井クリニック 理事長 川井 紘一
第 236 回 取手循環器研究会	4 月 8 日 (水) PM7:15	取手医師会病院	「虚血性心疾患に対する外科治療」 筑波大学医学医療系心臓血管外科 坂本 裕昭
第 96 回 守谷地区医療研究会	4 月 14 日 (火) PM7:00	総合守谷第一病院	①「新生児マススクリーニングで高フェニルラニン血症を発見され、BH4 負荷試験とプテリジン分析で 6-ピルボイルテトラヒドプテリン分析で 6-ピルボイルテトラヒドプテリン合成酵素 (PTPS) 欠損に伴うテラヒドロピオプテリン (BH4) 欠乏症と診された一例」 総合守谷第一病院小児科 玉井 香菜 ②「静脈性潰瘍と動脈性潰瘍について」 守谷慶友病院血管外科 久米 博子
第 199 回 取手北相馬 在宅ケア事例検討会	4 月 16 日 (木) PM6:30	取手医師会病院	「多職種で関わった事例」 まかべ内科 院長 真壁 文敏
第 19 回 在宅学習会	4 月 16 日 (木) PM7:20	取手医師会病院	「地域包括ケアシステムについて」 守谷市地域包括支援センター 所長 樋口 友広
第 16 回 取手認知症研究会	4 月 21 日 (火) PM7:00	取手医師会病院	「認知症診断と治療の最前線」 筑波大学医学医療系神経内科 教授 玉岡 晃
取手市医師会 学術講演会	4 月 28 日 (火) PM7:30	取手医師会病院	「脊椎脊髄外科領域における診断・治療の最近の進歩～脊髄再生医療および HAL を用いたリハビリテーションを含めて～」

			筑波大学医学医療系整形外科 教授 山崎 正志
--	--	--	------------------------

第 293 回 臨床研究会	5 月 1 日 (金) PM7 : 00	取手医師会病院	①「保険医のための審査・指導～日常の留意点 について～」 筑波大学附属病院取手地域 臨床教育ステーション 教授 福田 潔 ②「脳卒中後遺症とボトックス治療」 筑波大学附属病院取手地域 臨床教育ステーション 准教授 篠田 雄一
第 200 回 取手北相馬在宅ケア 事例検討会	5 月 21 日 (木) PM6 : 30	取手医師会病院	①「CAPD 患者を通しての地域連携」 訪問看護ステーション東取手 管理者 飯泉 かおり ②「CAPD 患者のショートステイを受け入れて」 介護老人保健施設はあとぴあ 看護師 和田 香奈子
第 20 回 在宅学習会	5 月 21 日 (木) PM7 : 20	取手医師会病院	「在宅医療とフットケア」 JA とりで総合医療センター WOC 認定看護師
取手市医師会 学術講演会	5 月 26 日 (火) PM7 : 15	取手医師会病院	「増加する肺がんと外科治療」 筑波大学医学医療系呼吸器外科 教授 佐藤 幸夫
第 188 回 取手糖尿病研究会	6 月 2 日 (火) PM7 : 00	取手医師会病院	①「チアゾリジン誘導体が奏功した症例の提示」 取手医師会病院内科 熊谷 宗士 ②「糖尿病患者の高血圧治療」 つくば糖尿病センター川井クリニック 理事長 川井 紘一
第 294 回 臨床研究会	6 月 6 日 (金) PM7 : 00	取手医師会病院	①「症例検討」 取手医師会病院外科 梶原 将也 ②「症例検討」 取手医師会病院内科 許 表勝
取手市医師会 学術講演会	6 月 16 日 (火) PM7 : 15	取手医師会病院	「脳卒中の後遺症とボツリヌス治療」 筑波大学附属病院取手地域 臨床教育ステーション 准教授 篠田 雄一
第 201 回 取手北相馬 在宅ケア事例検討会	6 月 18 日 (木) PM6 : 30	取手医師会病院	「グループワーク」 取手・守谷・利根地域在宅連携協議会
取手市医師会 学術講演会	6 月 23 日 (火) PM7 : 15	取手医師会病院	「てんかんの診断と治療の最新情報」 つくばセントラル病院脳神経外科 青木 司
第 48 回	6 月 24 日 (水)	取手医師会病院	「消化器疾患の画像・病理」



取手消化器研究会	PM7:00		取手医師会病院外科 鈴木 武樹
第295回 臨床研究会	7月3日(金) PM7:00	取手医師会病院	①「症例検討」 取手医師会病院整形外科 横井 直幸 ②「衛生害虫」 取手医師会病院内科 川邊 淳夫
第237回 取手循環器研究会	7月8日(水) PM7:15	取手医師会病院	「心房細動と心室期外収縮に対する治療方針」 筑波大学医学医療系循環器不整脈学 教授 野上 照彦
第97回 守谷地区医療研究会	7月14日(火) PM7:00	総合守谷第一病院	①「認知症と周辺症状について」 総合守谷第一病院脳神経内科 野村 誠 ②「双孔式結腸人工肛門脱出に対し自動縫合器 を用いて修復した一例」 守谷慶友病院外科 大津 政路・野尻 卓也・ 吉田 清哉
第202回 取手北相馬在宅ケア 事例検討会	7月16日(木) PM6:30	取手医師会病院	「在宅における難病療養者及び家族への関わりを通して看護師としての役割を考える ～筋ジストロフィ患者の援助を通して～」 アネシス訪問看護ステーション 看護師 岡田 葵奈
第21回 在宅学習会	7月16日(木) PM7:20	取手医師会病院	「家族との関わりが困難なケースの看取り」 介護老人保健施設はあとぴあ 松田 浩一
第16回 取手リウマチ懇話会	7月17日(金) PM7:00	JAとりで 総合医療センター	「関節リウマチに対する薬物治療のUP to Date」 東京女子医科大学東医療センター整形外科・ リウマチ科 准教授 神戸 克明
院内感染対策研修会	7月28日(火) PM7:15	取手医師会病院	「予防接種を取り巻く最新の話題とロタウイルスワクチンの意義と実際」 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 薬害監視学講座 教授 森 雅亮
第189回 取手糖尿病研究会	8月4日(火) PM7:00	取手医師会病院	①「持効型インスリンの使用経験について」 取手医師会病院内科 熊谷 宗士 ②「糖尿病診療における医療連携」 JA とりで総合医療センター内分泌代謝内科 部長 今井 泰平
第29回 臨床研究会	9月4日(金) PM7:00	取手医師会病院	①「症例検討」 取手医師会病院整形外科 横井 直幸 ②「心電図児童診断の限界と問題点」 取手医師会病院健診センター センター長 平岡 昌和
第5回 取手・守谷・北相馬 緩和ケア研究会	9月8日(火) PM7:30	取手医師会病院	「せん妄とこころのつらさ」 茨城県立こころの医療センター 医長 山形 晃彦
第96回	9月9日(水)	取手医師会病院	「胸膜炎の診断と治療」

取手呼吸器勉強会	PM7:00		茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 副院長（呼吸器内科 部長） 鏑木 孝之
取手市医師会 学術講演会	9月15日(火) PM7:15	取手医師会病院	「CKD 診療における総合診療医と新・内科専門医の役割について」 日本大学医学部内科学系総合内科・ 総合診療医学分野 主任教授 相馬 正義
第203回 取手・守谷・利根地域 在宅ケア事例検討会	9月17日(木) PM6:30	取手医師会病院	「皮膚トラブルを抱えた在宅者との関わりを通して」 訪問看護ステーションたんぼぼ 看護師 長峰 由美子

第22回 在宅学習会	9月17日(木) PM7:20	取手医師会病院	「介護施設における事故予防について」 藤代なごみの郷 看護師 寄瀬 有子
第297回 臨床研究会	10月2日(金) PM7:00	取手医師会病院	①「研修報告」 取手医師会病院整形外科 吉田 綾 ②「日常生活で発症した深部静脈血栓症 ～身近な危険～」 取手医師会病院循環器科 渡邊 寛
第190回 取手糖尿病研究会	10月6日(火) PM7:00	取手医師会病院	①「当院で経験したペットボトル症候群2症例 について」 取手医師会病院内科 熊谷 宗士 ②「インスリン抵抗性と糖尿病」 つくば糖尿病センター川井クリニック 理事長 川井 紘一
第98回 守谷地区医療研究会	10月13日 (火) PM7:00	総合守谷第一病院	「日常診療で異常を見逃さない心電図読解パー フェクトマニュアル」 筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター センター長・教授（水戸協同病院 副院長） 渡辺 重行
第238回 取手循環器研究会	10月14日 (水) PM7:15	取手医師会病院	「心不全管理において心エコーの何が役に立 つか？」 筑波大学医学医療系循環器内科 准教授 瀬尾 由広
第204回 取手・守谷・利根地域 在宅ケア事例検討会	10月15日 (木) PM6:30	取手医師会病院	「困難な事例と在宅ケア」 常総病院 副院長 広瀬 克紀
第23回 在宅学習会	10月15日 (木) PM7:20	取手医師会病院	「口腔ケアはなぜ必要？～体の健康はお口の 中から～」 ふじなわ歯科医院 院長 藤縄 弘之
第17回 取手認知症研究会	10月20日 (火) PM7:00	取手医師会病院	①「認知症患者への関わり」 東京医科大学茨城医療センター 認知症認定看護師 庭瀬 美智子 ②「認知症周辺症状の介護負担の軽減を目指 して」

			慶應義塾大学保健センター准教授・ 総合守谷第一病院心療内科 西村 由貴
取手市医師会 学術講演会	10月27日 (火) PM7:15	取手医師会病院	「茨城県の心臓血管外科医療の近未来を展望 する～大動脈ネットワーク、心臓血管外科ホ ットライン、循環器生育センター、人工心臓 から納豆と抗凝固両方の話題まで～」 筑波大学医学医療系心臓血管外科 教授 平松 祐司
第49回 取手消化器研究会	10月28日 (水) PM7:00	JAとりで 総合医療センタ ー	「消化器疾患症例検討」 JAとりで総合医療センター外科 宇田川 勝

第298回 臨床研究会	11月6日(金) PM7:00	取手医師会病院	①「緩和期に対する外科手術の検討」 取手医師会病院外科 鈴木 武樹 ②「症例検討」 取手医師会病院内科 熊谷 宗士
第205回 取手・守谷・利根地域 在宅ケア事例検討会	11月19日 (木) PM6:30	取手医師会病院	「在宅看取りが困難と思われていたが、穏や かに在宅看取りに移行した症例について」 ひかり訪問看護ステーション 看護師 関口 純子
第24回 在宅学習会	11月19日 (木) PM7:20	取手医師会病院	「終末期の身の置き所のなさの緩和ケア」 利根町国保診療所 所長 中澤 義明
取手市医師会 学術講演会	11月24日 (火) PM7:15	取手医師会病院	「不眠症の診断と治療のポイント～新しいト ピックスを含めて～」 株式会社互惠会大阪回生病院睡眠 医療センター 部長 谷口 充孝
取手市医師会 学術講演会	12月3日(木) PM7:15	取手医師会病院	「地域包括ケアシステムにおける認知症ケア ネットワークの必要性」 社会福祉法人シナプス 埼玉精神神経センター・ さいたま市認知症疾患医療センター センター長 丸木 雄一
第299回 臨床研究会	1月8日(金) PM7:00	取手医師会病院	①「症例検討」 取手医師会病院外科 田部井 英憲 ②「症例検討」 取手医師会病院放射線科 小槻 泰三
第99回 守谷地区医療研究会	1月12日(火) PM7:00	総合守谷第一病 院	①「診断困難であった潰瘍性大腸炎合併大腸 癌 の二例」 総合守谷第一病院 副院長 原 健 ②「切らずに消える下肢静脈瘤 ～レーザー&硬化療法～」 守谷慶友病院血管外科 久米 博子

第 239 回 取手循環器研究会	1 月 13 日 (水) PM7 : 15	取手医師会病院	「心臓外科医から見た NOAC (新規経口抗凝固薬)」 茨城県立中央病院循環器センター センター長 重田 治
医療安全推進責任者 研修会	1 月 19 日 (火) PM7 : 00	取手医師会病院	「医療事故調査制度について」 茨城県医師会 副会長 石渡 勇
第 206 回 取手・守谷・利根地域 在宅ケア事例検討会	1 月 21 日 (木) PM6 : 30	取手医師会病院	「末期がん患者の満足できる在宅支援 ～医療者の予測を超えて長生きする肺がん患 者の症例～」 訪問看護ステーションとりで 看護師 宮下 美香

第 25 回 在宅学習会	1 月 21 日 (木) PM7 : 20	取手医師会病院	「多職種連携についてケアマネとして普段感 じていること～3人のケアマネによる10分セ ミナー3連発～」 居宅介護支援事業所ひまわり 岡部 恵子 居宅介護支援事業所もえぎ野 瀬戸 恵津子 セントケア利根居宅介護支援事業所 佐藤 二郎
生活習慣病予防 セミナー	1 月 26 日 (火) PM7 : 15	取手医師会病院	「糖尿病診療を見直そう！！」 筑波大学医学医療系内分泌代謝・糖尿病内科 教授 島野 仁
第 191 回 取手糖尿病研究会	2 月 2 日 (火) PM7 : 00	取手医師会病院	①「当院で経験した新しい持効型インスリン 製 剤一症例について」 取手医師会病院内科 熊谷 宗士 ②「糖尿病治療の1次、2次、3次予防」 つくば糖尿病センター川井クリニック 理事長 川井 紘一
第 300 回 臨床研究会	2 月 5 日 (金) PM7 : 00	取手医師会病院	①「最近の胸腺腫瘍手術症例」 取手医師会病院外科 白田 保夫 ②「ワクチンの基礎と臨床～インフルエンザ ワ クチンは本当に効果があるのか～」 筑波大学附属病院取手地域 臨床教育ステーション 教授 福田 潔
第 97 回 取手呼吸器勉強会	2 月 16 日 (火) PM7 : 15	取手医師会病院	「呼吸器疾患のターミナルケアについて ～肺がん・COPDを中心に～」 福場大学附属病院水戸地域医療 教育センター・総合病院水戸協同病院 准教授 籠橋 克紀
第 207 回	2 月 18 日 (木)	取手医師会病院	「精神疾患のある親子への支援

取手・守谷・利根地域 在宅ケア事例検討会	PM6 : 30		～他職種との連携を密にして～ 地域包括支援センターはあとぴあ 鈴木 章史・山下 千夏
第 26 回 在宅学習会	2 月 18 日 (木) PM7 : 20	取手医師会病院	「居宅と施設における訪問薬剤管理指導の違い」 今川薬局藤代店 薬剤師 貝塚 久美子
取手市医師会 学術講演会	2 月 23 日 (火) PM7 : 15	取手医師会病院	「アルツハイマー病治療薬の特徴をふまえた使い方」 独立行政法人国立病院機構千葉東病院 診療部長・神経内科医長 吉山 容正
第 50 回 取手消化器研究会	2 月 24 日 (水) PM7 : 00	総合守谷第一病院	「消化器疾患の画像・病理」 総合守谷第一病院消化器内科 原 健
第 301 回 臨床研究会	3 月 11 日 (金) PM7 : 00	取手医師会病院	①「症例検討」 取手医師会病院外科 楊 昌洋 ②「症例検討」 取手医師会病院内科 許 表勝

医療・介護従事者向け 認知症講演会	3 月 16 日 (水) PM7 : 30	取手医師会病院	①「地域包括ケアシステムにおける認知症ケア ネットワークの必要性」 社会福祉法人シナプス 埼玉精神神経センター・ さいたま市認知症疾患医療センター センター長 丸木 雄一 ②「多職種によるミニシンポジウム」
第 208 回 取手・守谷・利根 在宅ケア事例検討会	3 月 17 日 (木) PM6 : 30	取手医師会病院	「『食べる』を支える介護のヒント」 取手医師会病院 管理栄養士 小島 麻記子
第 27 回 在宅学習会	3 月 17 日 (木) PM7 : 20	取手医師会病院	「認知症介護の考え方と実践」 藤代なごみの郷 中山 真一
院内感染対策研修会	3 月 22 日 (火) PM7 : 00	取手医師会病院	「帰国後の発熱患者の診療」 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院・ 国際件戦勝センタートラベルクリニック 竹下 望

取手北相馬保健医療センター医師会病院 年報 第1号  
平成27年度版

発行 2016年8月

発行者 取手北相馬保健医療センター医師会病院 広報委員会

〒302-0032 茨城県取手市野々井1926

TEL 0297-78-6111

FAX 0297-78-6116

URL <http://www.ishikaibyouin.or.jp>